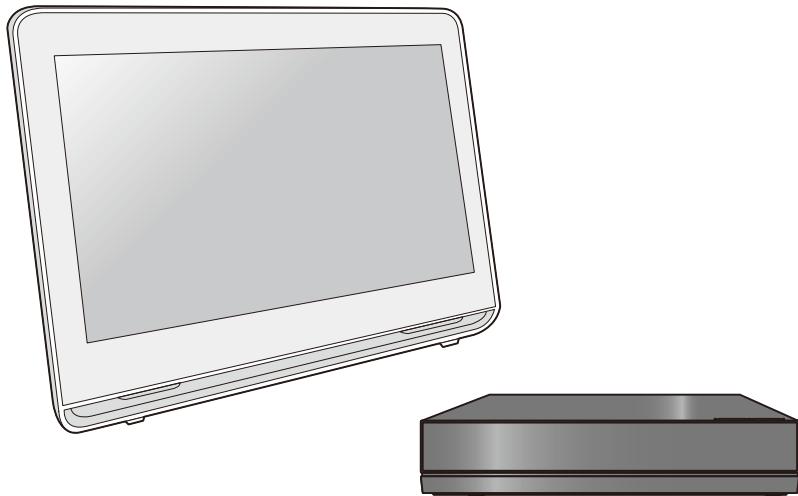


Panasonic®

取扱説明書
ホームナビゲーション
品番 HF-MC10A2DH



このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 本説明書および「取扱説明書 準備編」「取扱説明書 基本操作編」をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（「取扱説明書 基本操作編」）を必ずお読みください。

目次

はじめに

はじめに

使用上のお願い	13
モニターの無線通信	16

各部の働き

モニター	18
充電台	19
本体前面	21
本体背面	22

防水について

防水について	23
--------	----

ホーム画面について（モニター）

ホーム画面の各エリアについて	26
メニュー	27
天気情報	29
通知エリア	31
ステータス表示エリア	33

防災アシストについて

防災アシスト	35
--------	----

エコレポート

エネルギー情報を見る

エコレポートメニューを使う	36
電気の流れを見る	38
使用電力を確認する	40
エネルギーの計測情報や料金などをグラフ表示する	41

宅内の機器を操作する

宅内の機器を操作する

機器操作メニューを使う	43
機器を選んで操作する	44
機能について	45
エコキュートについて	47
蓄電池について	48
エアコンを自動運転する（エアコンタイマー）	50
シーンバーから操作する（シーン操作）	55

ドアホン連携

ドアホンやセンサーカメラを使う

ドアホンメニューを使う	57
ドアホンの着信に応答する	58
ドアホンやセンサーカメラの映像を見る	60
ドアホン親機・子機を呼び出す（室内通話）	61
ドアホン親機・子機からの呼び出しを受ける	62
電気錠・機器を操作する	63

テレビを見る

テレビメニュー

テレビメニューを使う	64
------------	----

テレビを見る

チャンネルを選んでテレビを見る	65
-----------------	----

視聴中に操作する	66
----------	----

放送中の番組を録画する

視聴中の番組を録画する	68
-------------	----

録画中に操作する	69
----------	----

予約録画する

予約録画する	70
--------	----

番組表の表示を切り換える	71
--------------	----

予約内容の確認・取り消し	72
--------------	----

再生する

録画した番組を再生する	73
-------------	----

再生中に操作する	75
----------	----

消去する

番組を消去する	78
---------	----

検索する

番組表から番組を検索する	79
--------------	----

録画した番組を検索する	80
-------------	----

お部屋ジャンプリンク

お部屋ジャンプリンク機能について	82
------------------	----

他の機器の録画番組を再生する（モニターをクライアントとして使用する）	83
------------------------------------	----

インターネット / 設定

インターネットについて

インターネットメニューを使う	85
インターネットの閲覧制限機能について	86
WEB ブラウザを使う	87
WEB ブラウザの基本操作	88
LINE でおうちと連携する	91

設定する

モニターの設定を変更する	93
家電機器設定	94
ドアホン設定	96
テレビ機能設定	97
タイマー／省エネ設定	99
ネットワーク／無線設定	100
その他の設定	102
機器からのお知らせ	106
取扱説明書	107

詳細設定

電気料金を設定する	108
水道・ガス料金を設定する	111
パソコン、スマートフォンなどと接続できるようにする（宅外リモート接続設定）	112
ネットワーク上に見つかった機器を登録する	113

スマートフォンで操作する

スマートフォンで機器を操作する	114
-----------------	-----

LINE 連携の設定をする

最新ニュースの設定をする

最新ニュース録画設定（地上デジタル）

116

通知エリアの設定をする

かぞくの伝言板設定

117

天気予報／安心アラート設定

118

ご案内の設定

119

ゴミの日設定

120

テレビと接続して楽しむ**テレビと接続する**

テレビと接続する

121

操作の前に

モニターをリモコンとして使う

124

本体の映像を他のテレビに映す

125

本体の電源を切る

126

ホーム画面について（本体）

ホーム画面から本体の機能を使う

127

全機能から選ぶ

128

ディモーラのサービスの登録について

130

テレビ放送を見る

選局してテレビ放送を見る

131

データ放送を見る

132

その他の選局方法

133

番組視聴中の便利な機能

135

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画する	137
-------------	-----

録画中のいろいろな操作	138
-------------	-----

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表（G ガイド）を使って予約録画する	139
----------------------	-----

番組表の見方	141
--------	-----

番組表の表示設定	143
----------	-----

番組表の表示設定（その他の表示設定）	145
--------------------	-----

詳細設定をする	146
---------	-----

番組表での予約の取り消し／修正	148
-----------------	-----

録画中の予約録画を止める	149
--------------	-----

注目番組一覧から予約録画する	150
----------------	-----

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）	152
-----------------------	-----

自動予約機能を使う

関連する番組を自動で予約録画する（カテゴリーまとめて予約）	153
-------------------------------	-----

新番組を自動で予約録画する（地上デジタル）（BS デジタル）	156
--------------------------------	-----

検索機能を使う

ジャンル検索や人名、ワードで検索する	158
--------------------	-----

番組を検索して予約録画する（フリーワード検索）	159
-------------------------	-----

予約内容の確認、取り消し、修正など

予約内容の確認、取り消し、修正など	161
-------------------	-----

予約録画の便利な機能

録画 / 予約録画に関するお知らせ

録画 / 予約録画に関するお知らせ	165
-------------------	-----

録画モードについて

録画モードについて	168
-----------	-----

再生する

録画した番組を再生する	169
-------------	-----

録画一覧画面	170
--------	-----

ラベルの分類について	172
------------	-----

録画一覧上での便利な機能	173
--------------	-----

見たいシーンから再生する（シーン一覧）	175
---------------------	-----

まとめ番組について	176
-----------	-----

再生中のいろいろな操作	178
-------------	-----

信号切換や再生方法の設定などをする	181
-------------------	-----

番組を編集する

番組を編集する	184
---------	-----

番組を部分消去する	186
-----------	-----

2つの番組を結合する	187
------------	-----

番組を分割する	188
---------	-----

サムネイルを変更する	189
------------	-----

マイラベルを設定する	190
------------	-----

録画モードを変換する	191
------------	-----

チャプターの作成・再生・編集

チャプターとは	193
---------	-----

チャプターマークを作成する / 削除する	194
----------------------	-----

番組を消去する

番組を消去する

197

番組をダビングする

ディーガに番組をダビングする（お引越しダビング）

198

他の機器とお部屋ジャンプリンクを利用する

お部屋ジャンプリンク機能について

199

別室のテレビなどで見る（本体をサーバーとして使用する）

200

本体と無線接続して、お部屋ジャンプリンクを使う

201

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）の設定

202

ビエラリンク（HDMI）の機能

204

文字入力

文字入力について

206

文字パネルから文字入力する

207

リモコンボタン方式で文字入力する

209

いろいろな情報を見る（メール／情報）

いろいろな情報を見る（メール／情報）

210

放送設定を変える（放送設定）

放送設定を変える（放送設定）

212

アンテナレベルを確認する

217

受信チャンネルを修正する（地上デジタル）

220

受信チャンネルを修正する（BS・CS）

222

設定を変える（初期設定）

設定を変える（初期設定）	223
設置設定	224
HDD 設定	226
映像設定	227
音声設定	228
画面設定	229
テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定	230
ネットワーク通信設定	232

ネットワーク連携する機器の設定をする

お部屋ジャンプリンク対応機器との設定を行う	236
スマートフォン、パソコンと接続する（宅外リモート接続設定）	238

その他

ブロードバンドルーターを接続する

ブロードバンドルーターを接続する	240
------------------	-----

ソフトウェアの更新について

本体のソフトウェア更新	243
モニターのソフトウェア更新	244

取り扱いについて

本体の取り扱いについて	245
モニターの取り扱いについて	247
充電台の取り扱いについて	248
インターネットの接続について	249
内蔵無線 LAN 使用上のお願い	251

受信できるデジタル放送について

受信できるデジタル放送について	254
-----------------	-----

受信チャンネルを設定する	255
--------------	-----

画面に表示されるマークについて

番組表・番組内容	256
----------	-----

予約一覧	257
------	-----

録画一覧	259
------	-----

仕様

本体	260
----	-----

モニター	264
------	-----

充電台部	266
------	-----

商標文について

著作権など	267
-------	-----

ソフトウェアに関するお知らせ	269
----------------	-----

故障かな！？ / 用語解説**故障かな！？ / 困ったとき**

修理を依頼される前に	306
------------	-----

モニター	309
------	-----

エコレポート	311
--------	-----

機器操作	312
------	-----

ドアホン	313
------	-----

機器からのお知らせ	315
-----------	-----

電源（本体）	316
--------	-----

テレビ画面や映像（本体）	317
本体	318
画面表示	319
ネットワーク	320
テレビ番組の視聴	321
録画	323
再生	324
お部屋ジャンプリンク	325
音声	327

用語解説

用語解説	328
------	-----

はじめに

使用上のお願い

設置について

- ・アンプなどの熱源となる物の上に置かない。
- ・温度変化が起きやすい場所に設置しない。
- ・本体は、「つゆつき」が起こりにくい場所に設置する。
- ・不安定な場所に設置しない。
- ・重い物を上に載せない。
- ・本体は縦に置かない。
- ・モニターの液晶画面を下にして置かない。（液晶画面の表面に傷が付く原因になります）

つゆつき（結露）について

冷えたビンなどを冷蔵庫から出してしばらく置いておくと、ビンの表面に水滴が発生します。このような現象を「つゆつき」といいます。

- ・「つゆつき」が発生しやすい状況
 - ・急激な温度変化が起きたとき（暖かい場所から寒い場所への移動やその逆、急激な冷暖房、冷房の風が直接当たるなど）
 - ・湯気が立ち込めるなど、部屋の湿度が高いとき
 - ・梅雨の時期
- ・「つゆつき」が起こったときは故障の原因になりますので、部屋の温度になじむまで（約2～3時間）、**電源を切ったまま放置してください。**

温度上昇について

本体とモニターを使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本体の移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いて3分以上待ってください。

- ・温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

モニター画面の明るさ（輝度）について

モニターを操作しない状態が約3分間続くと、モニターの輝度を落として画面の明るさを変更します。

（テレビ画面表示中、ドアホン通話中、カメラモニター中、ドアホン室内通話中、WEBブラウザ使用中は変更されません）

- ・画面をタッチしたり、ドアホン着信、室内呼の着信があった場合は元の明るさに戻ります。

番組などの消去について

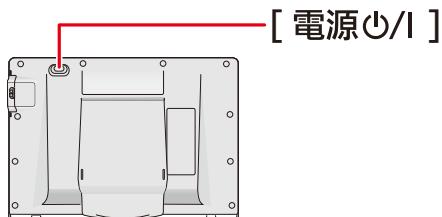
番組消去、部分消去、チャプター消去などの消去機能は、一度実行すると元に戻すことはできません。よく確認してから実行してください。

操作ができなくなったときは …

モニター

[電源 \odot/I] を 3 秒以上押す

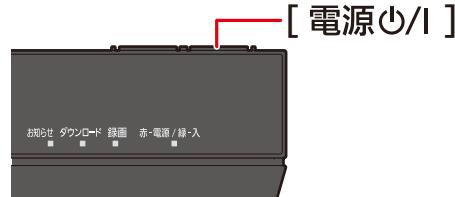
電源が切れます。



本体

[電源 \odot/I] を 3 秒以上押す

本体がリセットされます。



- → 修理を依頼される前に (P306)
- それでも切れないときは → リセットボタン (P18)

接続できる機器について

ホームナビゲーションと接続し、動作を確認した機器（以下、動作確認済み機器という）および動作確認が取れた内容（以下、動作確認内容という）については、下記サポートサイトにてご確認ください。

<https://panasonic.jp/support/hnavi/dh/>

- ご使用に当たっては、動作確認済み機器以外は接続せず、また動作確認済み機器における動作確認内容以外には使用しないでください。
動作確認済み機器における動作確認内容以外の使用・操作によって、あるいは他社の機器における操作や性能に起因して生じた損害について、当社は一切の責任を負いません。
- 動作確認済み機器および動作確認内容については、当社で動作の確認をした結果であり、全ての製品・機能での動作を保証するものではありません。
- 接続検証データは、基本的に「取扱説明書 準備編」などに従い正しく施工・設置・設定された状態での検証結果です。
個別に施工・設置・設定された状態を保証するものではありません。
- 動作確認済み機器に関する質問は、各メーカーにお問い合わせください。

本書内の表現について

- ・本書内で参照していただく項目を、**→XXXX (P00)** で示しています。
- ・ホームナビゲーションのホームサーバーを「本体」と記載しています。
- ・モニター用充電台を「充電台」と記載しています。
- ・本書における「ホーム」の記載はモニターでの説明、**ホーム** は本体操作での説明です。

本書内のマーク表示について

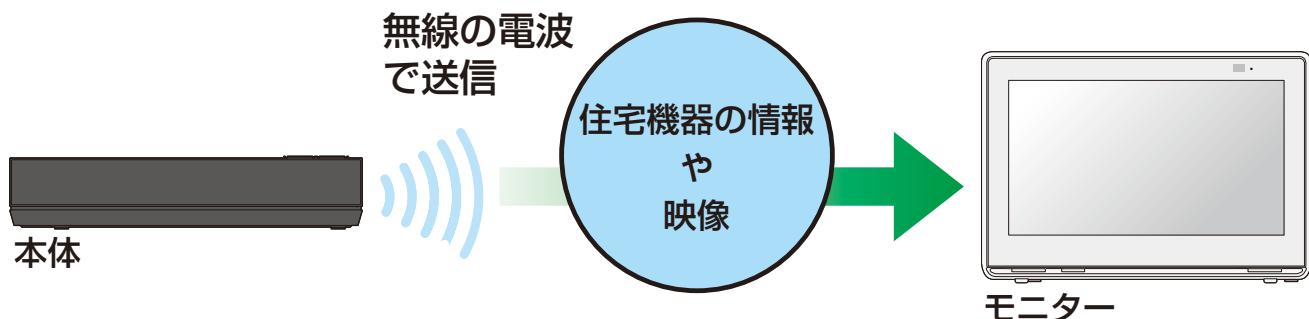
本書では、メディアの表示を以下のマークで表示しています。

メディア	表示マーク
HDD	HDD

はじめに

モニターの無線通信

本製品は、本体から住宅機器の情報や映像をモニターに送信するために、無線の電波を使用しています。



電波は、直線で届く場合と壁などの障害物で反射されて届く場合があり、本体からモニターの間に何も障害物がないときは、直線見通しで約 35 m まで電波が届きます。

ただし、壁や天井などの障害物で反射の影響を受けるため、電波の届く範囲は変動し、届きにくくなります。

パソコンでのホームページ閲覧などと比較すると、映像の送信は情報量が多くなるため、電波が届きにくい条件で使用すると、映像が途切れたり、停止しやすくなります。

どんな場合に電波が届きにくいのか？

本体とモニターの直線上に、以下のような障害物があると電波は届きにくくなります。

金属（鉄筋コンクリート、金属製家具など）／水／人

また、以下のような場所も電波が届きにくくなります。

- 本体とモニターを別の部屋で使う場合：
 - 本体とモニターの間にコンクリートや土などの壁がある
 - モニターをお風呂や台所などの水まわりの部屋で使用
- 本体とモニターを別の階で使う場合：
 - 本体とモニターの間に床暖房の設備がある
 - 本体とモニターの間に瓦などの屋根がある

電波の受信状態を確認するには

「ネットワーク／無線状態」(P100) の画面で「電波状態（受信レベル）」のインジケーターが4つ以上（受信レベル 30 以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。

- モニターのステータス表示エリア (P33) でもインジケーターの数で受信レベルの確認ができます。

電波を届きやすくするには

無線 LAN 中継機（市販品）を使う

- 無線 LAN 中継機を使うと、電波の届く範囲が拡張され、電波が届きやすくなります。
※本機は 5 GHz 帯を使用しています。中継機は 5 GHz に設定してご使用ください。

無線 LAN 中継機の設置について

- 電波の届きにくい場所を避けて、機器同士の距離が近くなるように設置してください。
- モニターを移動させて電波の受信状態を確認し、電波の状態が良好な位置に無線 LAN 中継機を設置してください。
- 無線 LAN 中継機の設定や詳細に関しては、無線 LAN 中継機の説明書をご覧ください。

モニターの「無線と映像品質の設定」について

本体からモニターに映像を送信するときに、映像が高画質なほど（録画モードが DR や 3 倍録で録画した番組など）、電波の通信状態によって映像が途切れたり、停止する可能性があります。

モニターには、本体から映像を送信する際に、画質を落として映像を送信しやすくする「無線と映像品質の設定」(P97) があります。

電波が届きにくい場合は、「自動」または「無線優先（無線が途切れにくくなります）」に設定することで、映像の途切れなどを抑えることができます。

- 初期設定は「自動」です。

モニターのステータス表示エリア (P33) の無線電波状態のアイコンを 2 秒以上タッチすると、無線 LAN の再接続の実行画面を表示できます。

中継機が接続されている場合、再接続を行うことで通信の安定性が改善する場合があります。（ホーム画面でのみ操作可能）

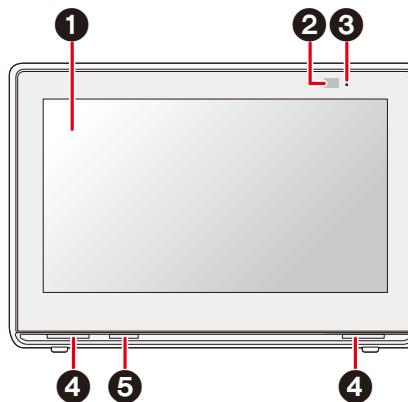
ドアホンからの電波の受信状態を確認するには

モニターのステータス表示エリア (P33) に ■■ が表示されている場合、受信レベルは安定しています。

- が表示されている場合、通話が途切れたり、映像が乱れることがあります。
- × が表示されている場合、本機とドアホンが接続されていません。ドアホンの電源が入っているか、ドアホンに不具合がないかご確認ください。
- ドアホンアイコンが表示されていない場合は、本機にドアホンが登録されていません。ドアホン登録 (P96) を行ってください。
- ドアホンの取扱説明書もお読みください。

各部の働き

モニター



① タッチパネル

静電容量方式のタッチパネルです。

② 通知ランプ

以下の場合に点滅します。

(青で) ゆっくり点滅：未読の通知がある

(青で) 速く点滅：ポップアップ表示中

③ 電源 / 充電ランプ

以下の場合に点灯・点滅します。

(緑で) 点滅：電源「入」時（その後消灯します）

(赤で) 点灯：充電中

(赤で) ゆっくり点滅：電池残量不足時

(赤で) 速く点滅：エラー発生時

- こんな表示が出たら → 「取扱説明書 基本操作編」

④ スピーカー（音孔）

⑤ マイク

ドアホン通話の送話口

⑥ 電源印

電源を切（スタンバイ）／入します。

⑦ スタンド

⑧ 充電台との充電端子

⑨ 端子ふた

① ロックつまみ

ロックつまみを下へ動かし、端子ふたを引き出してください。

→ [防水について \(P23\)](#)

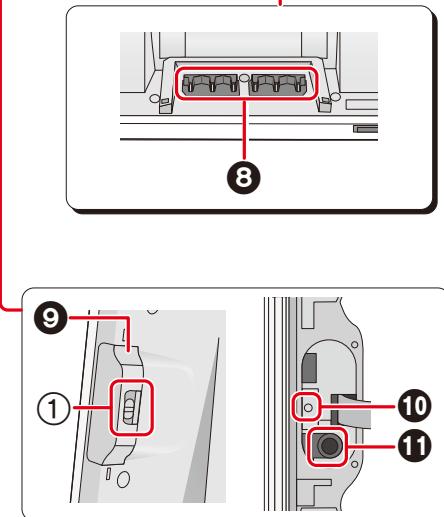
⑩ リセットボタン

電源の切／入ができないなどモニターが正常に動作しないときなどに、伸ばしたクリップなどを差し込んで、押してください。

⑪ ヘッドホン／イヤホン端子

Ø 3.5 mm ステレオミニジャック

- 3極プラグのヘッドホン、またはイヤホンをご使用ください。
- 変換プラグ（Ø 6.3 mm 標準プラグ → Ø 3.5 mm ミニプラグ）には対応していません。

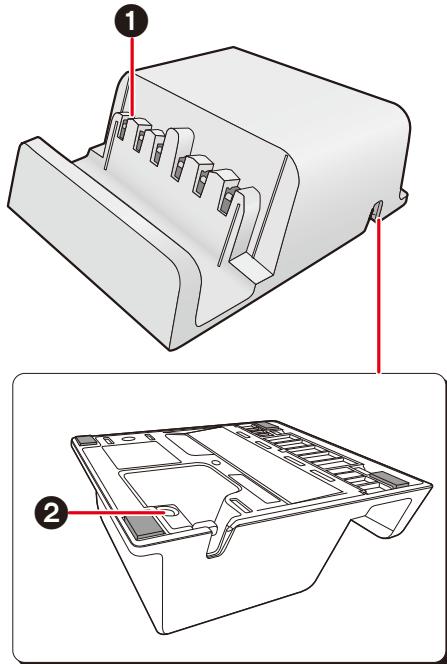


お知らせ

- モニターを充電台に置く前に、充電端子に水分や汚れがないか確認してください。水分や汚れがある場合は、乾いた布でふいてください。充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかるたり、充電できないことがあります。

各部の働き

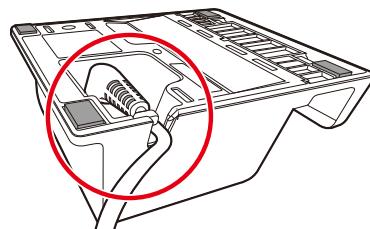
充電台



① モニターとの充電端子

② DC IN 端子

AC アダプターを接続するときは、下図のようにケーブルを凹部に引っ掛けてください。



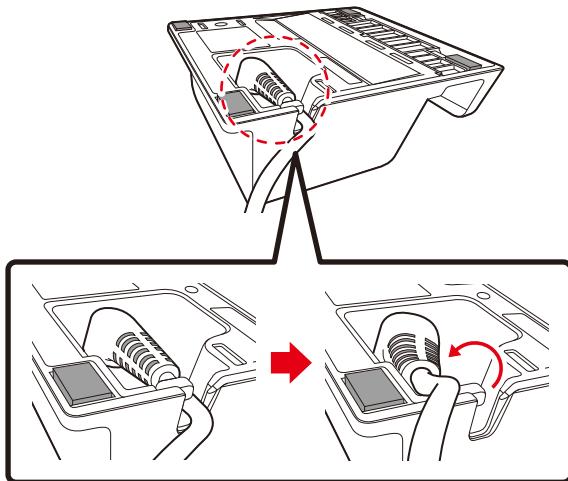
お知らせ

- モニターを充電台に置く前に、充電端子に水分や汚れがないか確認してください。水分や汚れがある場合は、乾いた布や綿棒でふいてください。充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります。
- モニターは電源「切」時でも、通信のため内蔵電池を消費しています。持ち運んでご利用時以外は充電台に置くようにしてください。

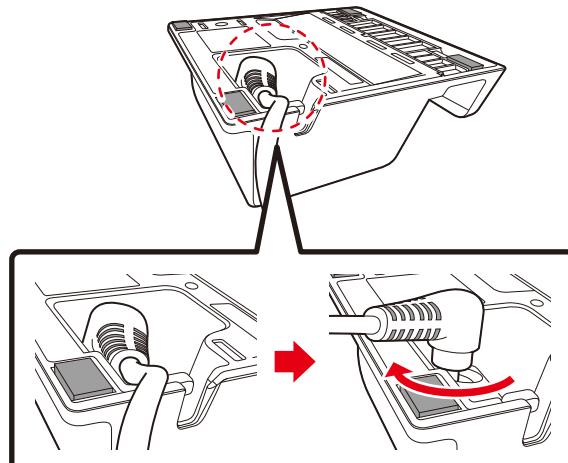
AC アダプターの取り外し方

AC アダプターを充電台から取り外すときは、以下の手順で取り外してください。

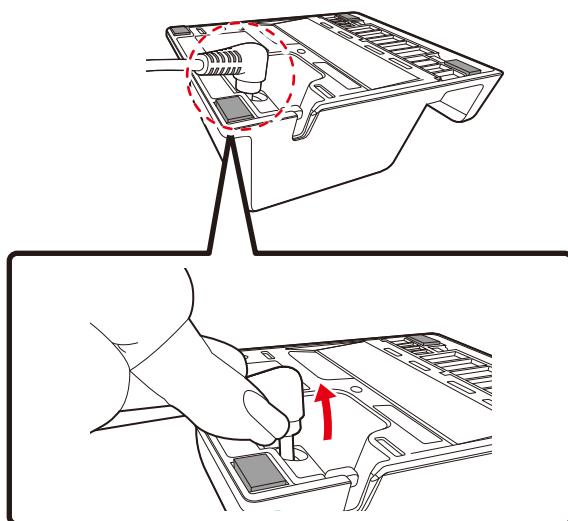
① コードの引っ掛けを外す



② DC プラグを回転させる

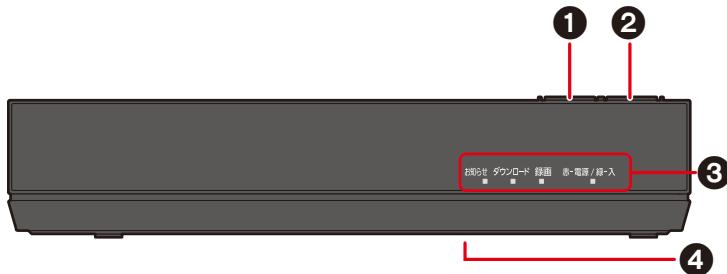


③ DC プラグを外す



各部の働き

本体前面



① リンクボタン

モニターと無線接続します。

② 電源 \odot /I

電源を切（スタンバイ）/入します。

③ ランプ

以下の場合に点灯・点滅します。

お知らせ

エラー発生時

- こんな表示が出たら ➔ 「取扱説明書 基本操作編」

ダウンロード

ソフトウェアの更新中など

録画

録画中

- 予約録画が始まる前の約3分間や録画できない状態のときは点滅します。

電源ランプ

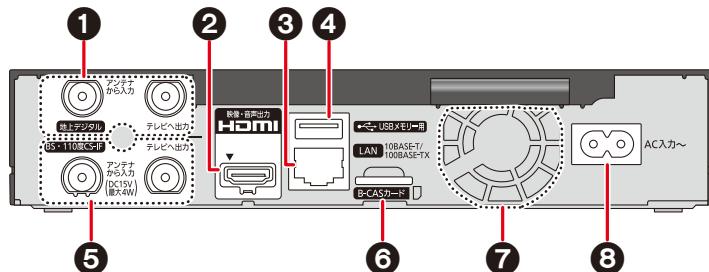
電源「切」状態で赤、電源「入」状態で緑に点灯

- 以下の場合は消灯します。
 - 「電源（赤）ランプ表示」(P229) が「切」のとき

④ 吸気孔（底面）

各部の働き

本体背面



① 地上デジタルアンテナ端子

② HDMI 映像・音声出力端子

③ LAN 端子

④ USB 端子 (USB メモリー用)

エネルギー計測データを USB メモリー
に保存することができます。

→ 計測データの USB 保存 (P95)

⑤ BS・110度CSデジタルアンテナ端子

⑥ miniB-CAS カード挿入口

miniB-CAS カードを入れます。

⑦ 内部冷却用ファン

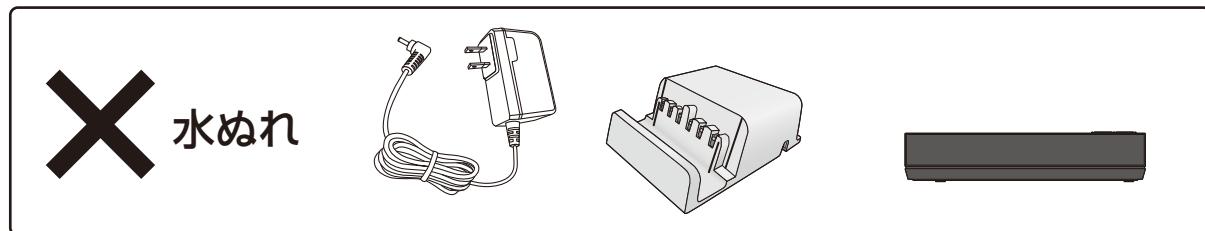
⑧ AC 入力 (～) 端子

防水について

防水について

モニターは、JIS C 0920 (IEC 60529) 「電気機械器具の外郭による保護等級 (IP コード)」の IPX6/IPX7 相当の防水仕様となっています。ご使用前に、以下の内容をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

- 付属の AC アダプター、充電台および本体は、防水仕様ではありません。



IPX6/IPX7 について

- IPX6 (噴流に対する保護等級) について**

常温の水道水にて、機器から約 3 m 離れて、内径 12.5 mm のノズルであらゆる方向から約 100 L/ 分の水を 3 分以上注水したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

- IPX7 (浸水に対する保護等級) について**

常温の水道水にて、水深 1 m に機器を静かに沈め、30 分間放置して取り出したあと、機器の機能が動作することに対応しています。

モニターの防水対象液体

対応	真水、水道水、温水
非対応 *	石けん水、シャンプー、温泉、プールの水、海水

* 対応以外の液体につけないでください。

入浴剤の使用について

硫黄、塩分を含む入浴剤は使用できません

- 入浴剤の原液や粉末が付着した場合や正常に動作しない場合は、水で洗い流したあと、乾いた柔らかい布でふいてください。

水場（浴室や台所など）での使用時のお願い

以下をお守りください。誤った使用は故障の原因になります。

- ・端子ふたをしっかり閉じる
- ・充電台を接続して使用しない
- ・ヘッドホンを接続して使用しない
- ・故意に水の中や湯ぶねの中などに入れたり、水中で操作しない

誤って湯ぶねに落とした場合は、すぐに拾って乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・浴室など湿気の多い場所に放置しない
- ・サウナやミストサウナで使用しない
- ・寒い屋外から急に浴室に入れて使用しない

モニターが冷えた状態で、浴室など湿度の高い場所に移動させて使用したときは、つゆつきが起きてモニター内部に水滴が付くことがあります。→ [つゆつき（結露）について](#) (P13)

モニターを洗うときのお願い

- ・洗剤は市販の食器用洗剤（中性）を薄めてご使用ください。原液では使わないでください。
- ・洗ったあとは、洗い残しのないように水洗いしてください。
- ・酸性・アルカリ性・塩素系洗剤・業務用洗剤やヤシの実などを使用した自然材料洗剤は使わないでください。
- ・種類の異なる洗剤を混ぜて使わないでください。
- ・洗うときは、手洗い、もしくは柔らかい布のようなものをご使用ください。研磨剤入りやナイロンたわしはモニターの表面を傷つけますので、絶対に使わないでください。
- ・食器洗い乾燥機での洗浄や乾燥はできません。
- ・ご使用いただける食器用洗剤については、下記のホームページをご確認ください。
<https://panasonic.jp/support/hnavi/dh/>

防水性を保つために

モニターを落としたり、ぶつけたり、強い圧力をかけない

モニターが変形や破損し、防水性が保てなくなります。

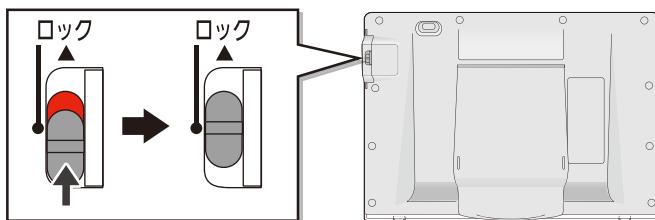
防水性を維持するため、2年に1度はモニターの内部にあるゴムパッキンなどの防水に関する部品の交換（有料）をお勧めします。お買い上げの販売店へお問い合わせください。

端子ふたの取り扱い

ふたが開いたまま使用すると内部に水が入り故障の原因になります。

ご使用前には、以下の操作でふたをロックしてください。

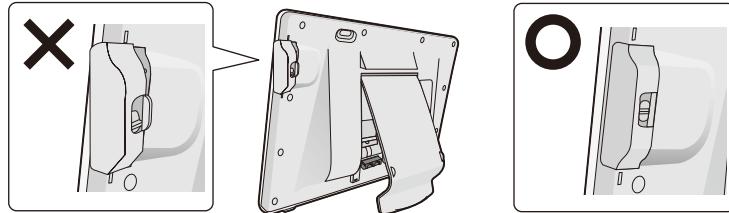
ロックつまみを、赤い部分が見えなくなる位置まで上に動かす（つまみの凸部が“ロック”的線にそろうようにする）



ふたを閉じるときは、以下のことにお気をつけください。

- 手がぬれた状態やモニターに水滴が付いたままでふたを開け閉めしないでください。
- ふたを閉じたあと、隙間がないか確認してください。

隙間がある例



水場（浴室や台所など）での使用後

モニターを乾いた柔らかい布でふき、室内に置いてください。

- 入浴剤の使用後は、まず水で洗い流してください。
- 充電台やACアダプターは防水仕様ではありません。
- 充電台との充電端子（P18）やモニターとの充電端子（P19）に水分や汚れがある場合は、モニターを充電台に置く前に綿棒や布などでふき取ってください。
- 石けん水やシャンプーなどがかかった場合は、常温の水道水を弱めの水量にして洗い流したあと、ふいてください。
- ドライヤーなどの熱風で乾かさないでください。
- 寒冷地で、水滴が付いたまま放置しておくと凍結し、ふたが開かなくなるなどの原因になります。

万一、モニター内部に水が入った場合は使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。お客様の誤った取り扱いによる故障の場合は保証対象外となります。

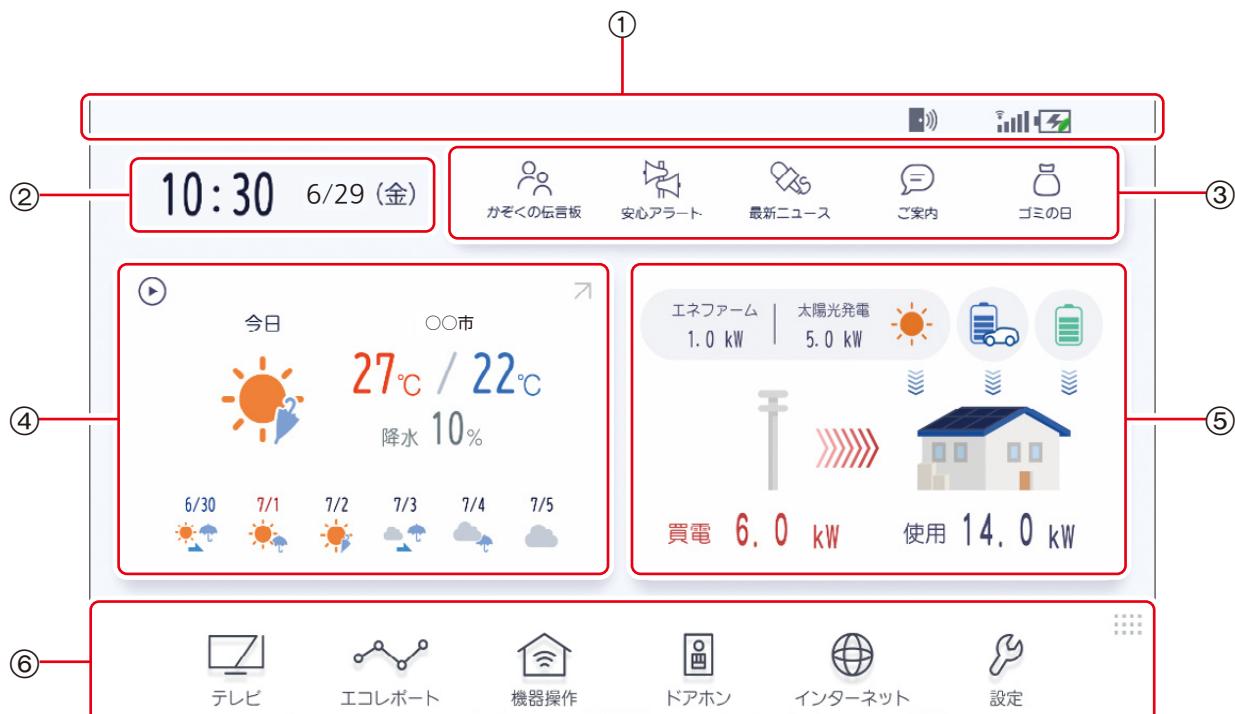
ホーム画面について（モニター）

ホーム画面の各エリアについて

ホーム画面から各操作を行うことができます。

各画面の「ホーム」ボタンをタッチするとホーム画面を表示します。

テレビ放送画面などで表示がない場合、画面に触ると「ホーム」ボタンが表示されます。



① ステータス表示エリア (P33)

② 日時情報

③ 通知エリア (P31)

④ 天気情報 (P29)

⑤ お使いの環境によって表示内容が異なります。

「エコレポート」が有効な場合、電力情報が表示されます。

→ エネルギー情報を見る (P36)

「エコレポート」が無効な場合、番組情報が表示されます。

本機から蓄電池を「充電優先モード」に設定し、蓄電池が充電優先モードになっている場合、「充電優先中」と表示されます。

(蓄電池が災害に備えるために充電優先モードになっています)

ネットワーク上で新しい機器が見つかったときは、「新しい機器が見つかりました」が表示されます。

→ ネットワーク上に見つかった機器を登録する (P113)

⑥ メニュー (P27)

お知らせ

- 初めてお使いになるときは、「ご利用ガイド」が表示されます。「ご利用ガイド」は「設定」メニューからも確認できます。→ [ご利用ガイド \(P103\)](#)
- 「ご利用ガイド」内で設定できるモニターの電源オン／オフの設定は、「設定」メニューからも設定できます。→ [自動電源オン／オフ（時刻指定）\(P99\)](#)

ホーム画面について（モニター）

メニュー

メニューアイコンから、各機能の画面を表示します。



アイコン	機能
テレビ (テレビ)	テレビ放送の視聴・録画、録画した番組の再生・消去
エコレポート (エコレポート) ※1	使用電力や発電などの情報表示
機器操作 (機器操作) ※2	エアコンや照明などの宅内機器の操作
全館空調 (全館空調) ※2	全館空調機器の操作
ドアホン (ドアホン) ※3	ドアホンでの通話、映像表示
インターネット (インターネット)	インターネットメニューの表示
設定 (設定)	本機の各機能の設定
本体リモコン (本体リモコン) ※4	本体リモコンの表示

※1 関係する機器が登録されていない場合、表示されません。

※2 操作する機器が登録されていない場合、表示されません。

※3 ドアホン登録されていない場合、表示されません。

※4 「本体リモコン表示」(P102) の設定が「入」の場合、表示されます。

メニュー表示を変更する

メニュー項目が7個以上になると、メニューの拡張表示をすることができます。
メニュー拡張アイコンをタッチしてください。



メニュー項目を並び替える

メニューの拡張表示画面でメニューの並び替えをすることができます。

- ① 並び替えたいメニューアイコンを3秒以上タッチする
 - ・並び替えモードになります。
- ② 並び替えたい位置までメニューアイコンをドラッグする



- ③ 「並び替え終了」をタッチする
 - ・メニューアイコンの表示がない箇所をタッチしても終了します。

ホーム画面について（モニター）

天気情報

お住まいの地域の天気情報を表示します。

- ・天気情報を表示するには、インターネットに接続して、お住まいの地域などを設定する必要があります。→ [天気予報 / 安心アラート設定 \(P118\)](#)



① 拡大アイコン

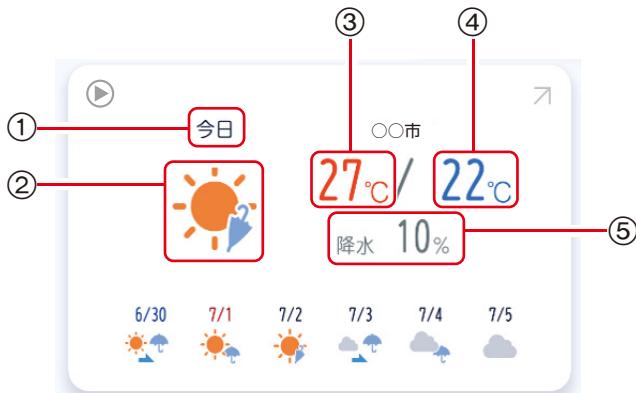
- ・タッチすると、天気情報を拡大して表示します。

② 天気予報動画アイコン

- ・タッチすると、最新の天気予報動画のホームページを表示します。
- ・本機向けサイトではないため、映像・音声が一部乱れたり、正しく操作できない場合があります。
- また、事前告知なく変更・終了する場合があります。

天気情報の見方

天気情報は以下の内容が表示されます。



① 今日 / 今夜	「今日」の場合	「今夜」の場合
② 天気	24時までの天気	17時から24時までの天気
③ 最高気温	9時から18時の予想最高気温	—
④ 最低気温	朝(0時から9時)の予想最低気温(前日17時発表)	明日朝(0時から9時)の予想最低気温
⑤ 降水確率	6-12時、12-18時、18-24時の降水確率のうち最大の確率	18-24時の降水確率

天気予報のアイコンは以下のパターンの組み合わせで表示されます。

アイコン	天気	アイコン	天気
	晴れ		雪
	晴れ（最高気温 35 ℃以上）		一時雪 (例：くもり一時雪)
	晴れ（今夜）		大雪
	くもり		暴風雪
	雨		時々 (例：晴れ時々くもり)
	一時雨 (例：くもり一時雨)		のち (例：晴れのちくもり)
	大雨		雷 (例：くもり一時雨か雷雨)
	暴風雨		

お知らせ

- ・時刻が大きくずれると天気情報が表示できない場合があります。テレビのアンテナケーブルを接続するか、定期的に「[日時設定](#)」(P102) を行ってください。
- ・天気情報エリアには、設定した地域の災害情報や避難情報も表示されます。

ホーム画面について（モニター）

通知エリア

スマートフォンからメッセージを受け取ったり、災害情報や避難情報などの様々な機能を使うことができます。

- ・「かぞくの伝言板」「安心アラート」「ご案内」「ゴミの日」をご利用になるには、本機をインターネットに接続する必要があります。
- ・「最新ニュース」をご利用になるには、本機にアンテナ線を接続する必要があります。

準備操作

- 設定をしておく → 通知エリアの設定をする (P118)
 → 最新ニュース録画設定（地上デジタル）(P116)

情報を見る場合は、アイコンをタッチしてください。



アイコン	機能
(かぞくの伝言板) *	「LINE でおうちと連携」機能を使って、スマートフォンから送ったメッセージを表示します。 → LINE でおうちと連携する (P91) → LINE 連携設定 (P115)
(安心アラート) *	災害情報や避難情報などの通知を表示します。 • 「防災アシスト」では、安心アラートの気象情報や災害情報、避難情報などの個々の情報に対して災害に対応するためのアドバイスを表示することができます。
(最新ニュース)	録画した最新のニュース番組を再生します。
(ご案内) *	ハウスメーカーなどからの情報をお知らせします。
(ゴミの日)	お客様が設定した情報を元に、設定した日などをお知らせします。 設定した日の通知時刻から 24:00までの間は、アイコンは緑色になります。

* 未読の情報がある場合、アイコンに「未」マークが表示されます。

着信時の動作について

情報を受け取ったときは、「通知受信に関する動作設定」や「着信動作設定」に従って、情報を通知します。

「かぞくの伝言板」「ご案内」「ゴミの日」の場合

「通知ポップアップ」が「入」時
画面上部に情報を通知します。
例)



「LED 点滅」が「入」時
モニター上部の通知ランプが点滅します。



「安心アラート」の場合

「通知表示」が「詳細」時
画面全体に情報を通知します。
例)



「LED 点滅」が「入」時
モニター上部の通知ランプが点滅します。



→ 防災アシストについて (P35)

「通知表示」が「ポップアップ」時
画面上部に情報を通知します。
例)



ホーム画面について（モニター）

ステータス表示エリア

本機の状態は、画面上部のステータス表示エリアに表示されるアイコンで確認することができます。



アイコン	状態
※	消音中
●録画 / II 録画	録画中 / 録画準備中または録画一時停止中
① ② ③ ④	ドアホンと通信中の受信レベル ・①②の状態でお使いください。
■×	ドアホンと非接続状態
① ② ③	テレビメニュー使用時に、画質を落とした映像を本体から受信中（「無線と映像品質の設定」(P97) が「自動」または「無線優先（無線が途切れにくくなります）」時） 画質優先時：①（表示なし） 無線優先時：②（青）から③（橙）への2段階切り換え ・無線優先時の画質は②（青）のほうがより高画質となります。
Wi-Fi	本体との接続確認中
Wi-Fi	本体と通信中（本数は受信レベルを表します） ・本数が多い場合でも、電波干渉などの影響で、映像が途切れたり停止することがあります。 ・アイコンを2秒以上タッチすると、再接続の実行画面を表示できます。中継機が接続されている場合、再接続を行うことで通信の安定性が改善する場合があります。（ホーム画面でのみ操作可能）
Wi-Fi	本体と非接続状態
■	電池の残量表示  (左は満充電、右は点滅時) ・点滅している場合、充電してください。
⚡	充電台を接続中（エコ充電（P99）「入」時）

アイコン	状態
	充電台を接続中 (エコ充電 (P99) 「切」時)
	シーン操作を実行中です。
	シーン操作の実行を終了しました。
	シーン操作の実行でエラーが発生しました。
(例) 15：10	現在時刻
	インターネット未接続状態

表示されるアイコンはホーム画面とそれ以外の画面によって異なります。

またアイコンの色もホーム画面とそれ以外の画面によって異なります。

WEB ブラウザ画面で表示されるアイコンについては →[WEB ブラウザの基本操作 \(P88\)](#)

防災アシストについて

防災アシスト

本機は、安心アラートの気象情報や災害情報、避難情報などの個々の情報に対して災害に対応するためのアドバイスを表示することができます。

「安心アラート」の詳細画面が表示されているとき

1 「防災アシスト」をタッチする



2 ご覧になりたい情報を確認する



蓄電池の充電優先を解除するには → 「充電優先中」を解除するには (P37)

アドバイス一覧を確認する

アドバイス一覧では、平常時の備えなどのアドバイスを表示することができます。

① 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

② 「安心アラート」をタッチする

③ 「アドバイス一覧」をタッチする



④ ご覧になりたい情報を確認する



エネルギー情報を見る

エコレポートメニューを使う

ご自宅の使用電力や発電の様子などの情報を表示します。

- ・ 使用電力などを計測する機器が登録されていない場合、エコレポート画面は表示されません。

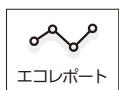
準備操作

- ・ 必要に応じて「料金設定」(P94) 「目標・アドバイス設定」(P94) 「その他の家電機器設定」(P95) をしておく

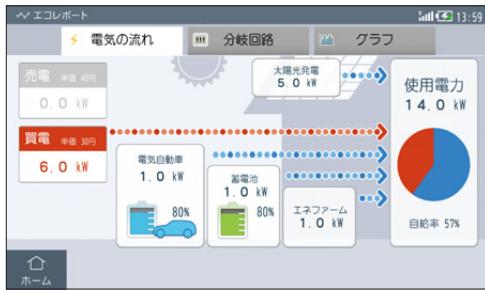
1 「ホーム」をタッチする

- ・ 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2

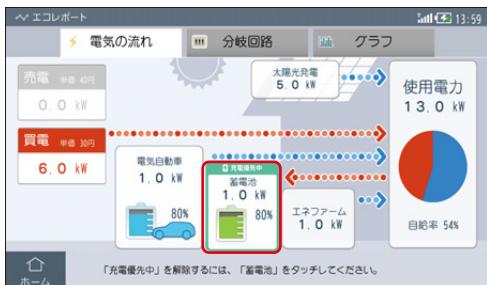


を選ぶ



お知らせ

- ・エコレポート画面で表示される売買電力の単価や料金などは目安です。正しくは、ご契約の電力会社などから通知される料金をご確認ください。
- ・本機から蓄電池を「充電優先モード」に設定し、蓄電池が充電優先モードになっている場合、「充電優先中」と表示されます。

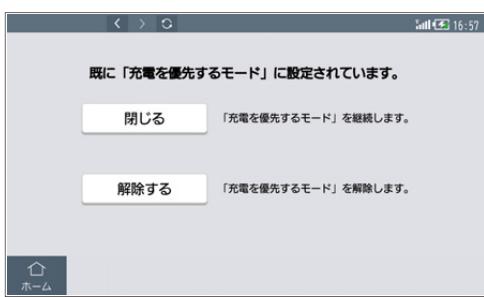


「充電優先中」を解除するには

- ①「蓄電池」をタッチする
- ②「実行」をタッチする



- ・「防災アシスト」(P35) 画面から「充電優先中」を解除するには、「充電を優先する」をタッチして、「解除する」をタッチしてください。



エネルギー情報を見る

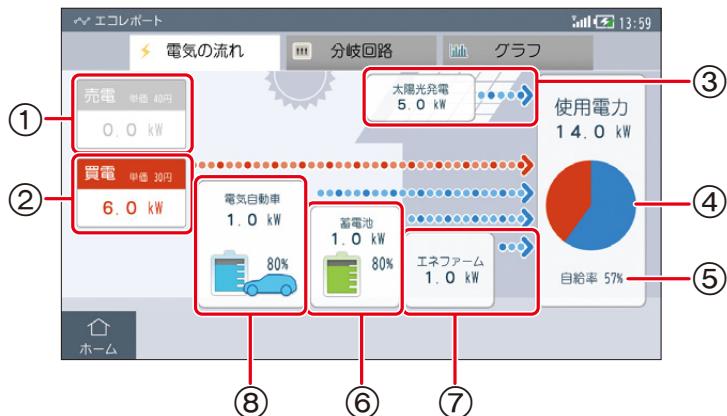
電気の流れを見る

現在の電力状況を表示します。

エコレポートにすると、「電気の流れ」画面に現在の電力状況が表示されます。

→ エコレポートメニューを使う (P36)

- ・画面が表示されていない場合は「電気の流れ」を選んでください。

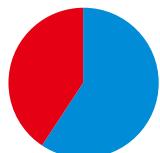


① 電力会社に売っている電力

② 電力会社から買っている電力

③ 現在発電している電力（太陽光発電）

④ 使用電力



- 赤表示：買電電力の割合
- 青表示：自給電力の割合

⑤ 自給率

- 使用電力のうち、太陽光発電や蓄電池などできかなっている電力の割合（買った電力を蓄電池に蓄えて放電している場合も自給に含みます）

⑥ 蓄電池の状況

- 左向きの矢印が充電中、右向きの矢印が放電中です。
- 数値は放電あるいは充電の電力値です。
- 蓄電池の充電容量はパーセントで表示されます。

⑦ 現在発電している電力（エネファームなど）

⑧ 電気自動車の状況

- 左向きの矢印が充電中、右向きの矢印が放電中です。
- 数値は電力値です。
- 充電容量表示に対応した充放電器／充電器設備の場合は、充電容量がパーセントで表示されます。対応していない充放電器／充電器設備の場合は、下記表示となります。

充電中



充電中以外



お知らせ

- ・画面表示は約 20 秒ごとに更新されます。
- ・売電 / 買電や機器の発電 / 放電が全くない場合、矢印は表示されません。
- ・電気料金が設定されていない場合、単価は表示されません。→ [電気料金を設定する \(P108\)](#)
- ・**!** 表示中（電力は「-- kW」と表示）は、機器が正常に動作していません。設定メニューからエラー内容を確認してください。→ [機器からのお知らせ \(P106\)](#)
- ・数値は小数点第 2 位を四捨五入した値が表示されます。ただし、単価は小数点第 1 位を四捨五入した値が表示されます。

エネルギー情報を見る

使用電力を確認する

現在の使用電力を分岐回路ごとに表示します。

- 1 エコレポートメニューにする
→ エコレポートメニューを使う (P36)
- 2 「分岐回路」を選ぶ



分岐回路ごとの使用電力量をグラフ表示する

「分岐回路」画面から選ぶと、分岐回路の使用電力量がグラフで表示されます。→ エネルギーの計測情報や料金などをグラフ表示する (P41) の手順3へ

- ・「分岐回路」画面から使用電力量のグラフを表示した場合、グラフ名称欄に分岐回路名称が表示されます。

お知らせ

- ・画面表示は約 20 秒ごとに更新されます。
- ・分岐回路名称が設定されていない場合、空白になります。
- ・① 表示中（電力は「-- kW」と表示）は、機器が正常に動作していません。設定メニューからエラー内容を確認してください。→ 機器からのお知らせ (P106)

エネルギー情報を見る

エネルギーの計測情報や料金などをグラフ表示する

電力量や水道・ガスなどの計測情報、概算料金などをグラフ表示します。

- 1 エコレポートメニューにする**
→ エコレポートメニューを使う (P36)
- 2 「グラフ」を選ぶ**
- 3 表示したいグラフに切り換える**



① グラフ名称

- グラフの種類（名称）を切り換える
- ・ グラフ一覧 ⑤ から選ぶこともできます。

② 表示期間と単位

表示（年・月・日）を切り換える

③ スケール変更画面へ

- ① 「スケール変更」を選ぶ
- ② グラフの 1 目盛りの単位を変更する
- ③ 「変更」を選ぶ

④ 積算値

グラフ表示期間の積算値を表示します。

⑤ グラフ一覧

グラフ名称の一覧を表示する

グラフの名称と表示情報について

グラフ表示情報は以下のとおりです。

グラフ名称	表示される内容
使用電力量	電力の総使用量
買電量	購入電力量
太陽光発電	太陽光発電量および売電電力量
エネファームなど	ガス発電機発電電力量
蓄電池	蓄電池放電電力量
電気自動車	充電電力量および放電電力量
買電料金	購入電力料金
売電料金	売却電力料金
電力料金収支	電力料金収支
ガス使用量	ガス使用量
ガス料金	ガス料金
水道使用量	水道使用量
水道料金	水道料金
CO2 排出量	CO2 排出量

お知らせ

- ・グラフに表示できる期間（エネルギー計測履歴保存期間）は1時間ごとのデータで35日、1日ごとのデータで450日（約15か月）、1か月ごとのデータで120か月（10年）です。
- ・必要なデータが存在しない場合、グラフ名称は表示されません。
- ・データ蓄積量が足りないグラフを表示すると、データがない期間は空白となります。

宅内の機器を操作する

機器操作メニューを使う

機器電源の切／入などの操作や、機能の設定を行うことができます。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 機器操作 を選ぶ



お知らせ

- 機器によっては、操作できない場合があります。
- お使いの機器のすべての機能が本機でサポートされているわけではありません。

宅内の機器を操作する

機器を選んで操作する

機器の種類を選ぶと、登録された宅内の機器が表示されます。



① 登録した機器の種類

- ・機器使用中は、緑の枠が表示されます。

② 次の機器を表示（機器が4種類以上あるときに表示）

- ・「<」は前の機器を表示

1 機器操作メニューにする

→ 機器操作メニューを使う (P43)

2 機器を選ぶ

- ・機器の使用状況が表示されます。

3 画面に従って操作する



- ・画面表示は、機器によって異なります。

お知らせ

- ・画面表示の更新には時間がかかる場合があります。
- ・❗が表示されている機器は正常に動作しません。設定メニューからエラー内容を確認してください。→ 機器からのお知らせ (P106)
- ・お使いのエアコンによっては、掃除機能動作中に機器使用中として表示される場合があります。

宅内の機器を操作する

機能について

機器操作画面で「機能」を選ぶと、詳細画面が表示されます。

画面に従って操作してください。

- ・操作する機器によって操作画面は異なります。
- ・機能の詳細については、お使いの機器の説明書をお読みください。
- ・蓄電池の機器操作画面については → 蓄電池について (P48)

 警告

遠隔操作をする前に安全を確認する



操作する機器やその周辺、在室する人などの状況を直接確認することができない状態で宅外または宅内から操作（以下、遠隔操作という）する場合、事前に安全を十分ご確認のうえお使いください。場合によっては、人が死亡、重傷を負ったり、財産の損害などが発生したりするおそれがあります。

お子様や身体の不自由な方・高齢者など、ご自身で調節や操作、安全の確認などができる方が在室している場合は、ご利用にならないでください。

【お願い】

- ・操作する機器の周辺に人がいることが分かっているときは、遠隔操作することを事前に知らせておいてください。操作する機器の運転や停止に驚いて転倒するなど、けがにつながるおそれがあります。
- ・シャッター動作中はシャッターの下を通らないでください。シャッターに挟まれて重大な事故になるおそれがあります。
- ・シャッターの周囲に人がいないことや、物がないことを確認できない場合は、シャッターの操作をしないでください。
- ・シャッター閉操作は、お住まいの方やシャッターの周囲にいる方がバルコニー等に閉め出されないようにご注意ください。
- ・窓の施錠を確認できない場合は、シャッターの開操作をしないでください。外部から侵入されるおそれがあります。
- ・シーン制御やタイマー設定は、お住まいの方やシャッターの周囲にいる方が周知した上で設定してください。
- ・在室している人が遠隔操作を受け付けたくない場合は、ネットワーク設定の宅外リモート接続機能を「切」にしてください。
- ・通信状況によっては、遠隔操作した内容が操作する機器に反映されないことがあります。ご利用時には、こまめに設定内容や機器の状況をご確認ください。
- ・操作に使用するスマートフォンなどの端末は、誤操作防止のため画面ロック機能の使用をお勧めします。
- ・電源プラグを持つ機器を遠隔操作する場合は、電源プラグが確実に差し込まれていること、またプラグにほこりがたまっていないことを在宅中に定期的に確認してください。
- ・操作する機器に異常がないこと、風や熱などの発生・変化による悪影響がないことを事前に確認しておいてください。
- ・操作する機器の取扱説明書を十分にご確認ください。

宅内の機器を操作する

エコキュートについて

機器操作メニューで「エコキュート」を選ぶと操作画面を表示します。

下図は一例です。機種によって表示は異なります。

機能の詳細については、お使いのエコキュートの説明書をお読みください。



お知らせ

- ・タンクの停止ボタンは手動での沸き増しを停止します。このボタンでは自動の沸き上げを停止することはできません。
- ・「ふろ自動」はタンクの湯量が充分にあることを確認してからタッチしてください。

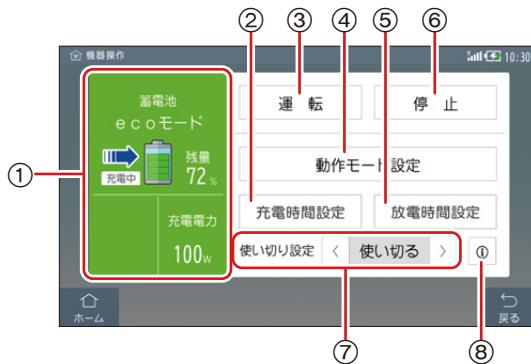
宅内の機器を操作する

蓄電池について

機器操作メニューで「蓄電池」を選ぶと設定画面を表示します。

- ・下図は一例です。
- ・ハイブリッド蓄電池の機種によっては、操作画面が表示されません。
- ・機能の詳細については、お使いの蓄電池の説明書をお読みください。

6.2kWh 蓄電池 / ハイブリッド蓄電池の例



- | | |
|---------------------|-----------------------------------|
| ① 蓄電池の状態や動作モードなどの表示 | ⑥ 充電・放電の停止 |
| ② 充電時間の設定 | ⑦ 使い切り設定 |
| ③ 運転開始 | ⑧ 商品コード、製造年月日、定格電力量、蓄電池タイプなどの情報表示 |
| ④ 動作モード設定 | |
| ⑤ 放電時間の設定 | |

動作モード設定

動作モードを設定します。

「おサイフモード」、「eco モード」、「バックアップモード」を選ぶ

(太陽光発電やエネファームなど、機器の設置状況により設定できる動作モードが異なります。設定できる動作モードのみ表示されます。)

おサイフ：深夜電力を蓄電池に充電し、電力消費量の多い日中や夕方に使用して電気代を抑制します。

eco：家庭での電力自給率が高くなるように運用します。

バックアップ：蓄電池の残容量が少なくなると充電し、常に満充電を維持して非常時に備えて運用します。(ハイブリッド蓄電池のみ)

使い切り設定

「使い切る」に設定すると、蓄電された電力を使いることができます。

「使い切る」「10% 残す」「20% 残す」「30% 残す」「40% 残す」「50% 残す」から選ぶ

- ・「40% 残す」「50% 残す」はハイブリッド蓄電池のみ設定できます。

お知らせ

- ・「充電時間設定」「放電時間設定」「使い切り設定」の設定が不要な場合は、グレー表示になります。(動作モードによってグレー表示される設定項目が変わります)
- ・本機から蓄電池を「充電優先モード」に設定し、蓄電池が充電優先モードになっている場合、「充電優先中」と表示されます。(蓄電池の種類によっては表示されません)
「充電優先中」を解除するには、画面の指示に従って操作してください。

2.5kWh 蓄電池の例



- ① 蓄電池の状態や運転モードなどの表示
 ② 運転モードの設定
 ③ 放電時間や充電時間の設定

宅内の機器を操作する

エアコンを自動運転する（エアコンタイマー）

稼働時間や温度などを設定したスケジュールに従って、宅内の全エアコンを自動運転します。

- 1 機器操作メニューにする**
→ 機器操作メニューを使う (P43)

- 2 「エアコンタイマー」を選ぶ**

- 3 「冷房」または「暖房」を選ぶ**

設定されている運転モードで稼働します。

例)



- ① 運転モード
- ② セーブ運転 → セーブ運転設定について (P51)

運転モードを切り換えるには

- 1 「運転モード切換」を選ぶ**
 - 2 運転モードを選ぶ**
 - ・初期設定は「いるとこ満足」です。
- 運転モードについて (P52)

節電モードにするには

節電を「入」にする

- ・節電モードにすると、運転モードの設定にかかわらず暖房は 17 ℃、冷房は 30 ℃に固定されます。

セーブ運転設定について

エアコンタイマー機能を使って同時に複数のエアコンを始動する場合、ご家庭での急激な電力増加を抑えるために「セーブ運転」を行うことができます。

セーブ運転は、同時に始動するエアコンの台数を制限し、始動時刻をずらして運転します。例えば、6台のエアコンを接続している場合、4台が同時刻に始動し、30分後に1台、60分後にもう1台というように、始動時刻をずらして運転します。（「セーブ運転1」の場合・下表参照）

① 「セーブ運転設定」を選ぶ

② 「セーブ運転1」または「セーブ運転2」を選ぶ

セーブ運転時に、同時刻に運転（始動）する台数はエアコンの接続台数により異なります。実際に運転（始動）を開始する時刻と台数の関係については、下表をご参考ください。

「セーブ運転1」の場合

接続台数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
同時刻に始動※する台数	1	2	3	3	4	4	4	5	6	6
30分後に始動※する台数	0	0	0	1	1	1	2	2	2	3
60分後に始動※する台数	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1

※運転開始や「節電」を「入」から「切」にした場合など

「セーブ運転2」の場合

接続台数	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
同時刻に運転開始する台数	1	2	2	2	3	3	3	4	5	5
60分後に運転開始する台数	0	0	1	1	1	2	2	2	2	3
120分後に運転開始する台数	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2

セーブ運転をやめるには

「セーブ運転設定」を「切」にする

お知らせ

- ・「セーブ運転1」でブレーカーが落ちる場合は「セーブ運転2」を選んでください。
- ・エアコンの登録台数が11台以上の場合、セーブ運転設定を使うことはできません。（「切」になります）
- ・エアコンタイマー動作中は、セーブ運転設定は変更できません。
- ・エアコン始動の優先順位は、エアコン登録時の部屋種別によります。（LDK、主寝室、洋室、和室、その他、廊下の順になります）同じ部屋種別の場合、優先順位は登録の順番となります。
- ・運転を先送りしたエアコンがすべてなくなると、セーブ運転状態から通常運転に戻ります。

運転モードについて

運転モードは、4種類のモードがあらかじめ登録されています。

- 運転モードは「スケジュール編集」で編集することができます。→ エアコン自動運転のスケジュールを編集する (P54)
オリジナルのスケジュールを作ることもできます。

冷房用

	部屋種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
いるとこ満足	LDK																									
	主寝室																									
	洋室																									
	和室																									
	廊下																									
	その他																									
ちょうど満足	LDK																									
	主寝室																									
	洋室																									
	和室																									
	廊下																									
	その他																									
どこでも満足	LDK																									
	主寝室																									
	洋室																									
	和室																									
	廊下																									
	その他																									
全館連続	LDK																									
	主寝室																									
	洋室																									
	和室																									
	廊下																									
	その他																									

暖房用

	部屋種別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
いるとこ満足	LDK	OFF						20°C				17°C														
	主寝室		17°C		20°C																				20°C	
	洋室																	OFF								
	和室																	OFF								
	廊下					17°C												OFF							17°C	
	その他																	OFF								
ちょうど満足	LDK	OFF							20°C				17°C												20°C	
	主寝室		17°C		20°C														OFF							20°C
	洋室		17°C		20												OFF							20°C		
	和室																OFF									
	廊下					17°C											OFF								17°C	
	その他																OFF									
どこでも満足	LDK	17°C					20°C				17°C				17°C									20°C		
	主寝室	17°C		20°C												17°C									20°C	
	洋室		17°C	20											17°C									20°C		
	和室														17°C											
	廊下														17°C											
	その他														17°C											
全館連続	LDK																20°C									
	主寝室																20°C									
	洋室																20°C									
	和室																20°C									
	廊下																20°C									
	その他																20°C									

エアコン自動運転のスケジュールを編集する

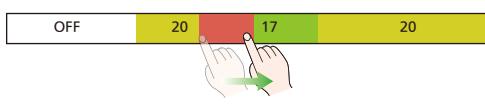
運転モードを選んで、スケジュールを編集することができます。

- ① 「エアコンタイマー」画面で、「運転モード切換」を選ぶ
- ② 「スケジュール編集」を選ぶ
- ③ 編集したい運転モードを選び、「冷房」または「暖房」を選んで「スケジュール編集画面へ」を選ぶ
 - ・スケジュールを新たに作成する場合は、「オリジナル 1」～「オリジナル 3」を選びます。
- ④ 設定したい時間の部分をドラッグまたはタッチして編集する



ドラッグ

時間と温度の設定ができます。



タッチ

温度の設定ができます。



変更した結果、隣り合う部分と温度が同じ場合は、1つのスケジュールになります。



- ① タッチで 20°C に変更

**編集した運転モードを初期状態の設定に戻すには
「スケジュール編集」画面で、「リセット」を選ぶ**

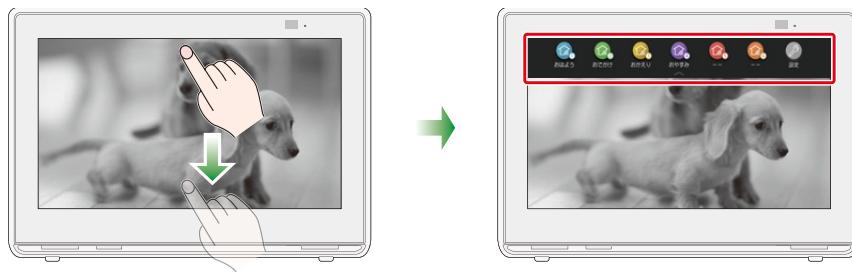
宅内の機器を操作する

シーンバーから操作する（シーン操作）

起床時やおでかけ時などのシーンに合わせて一括で機器の操作をすることができます。

シーン操作の設定をする

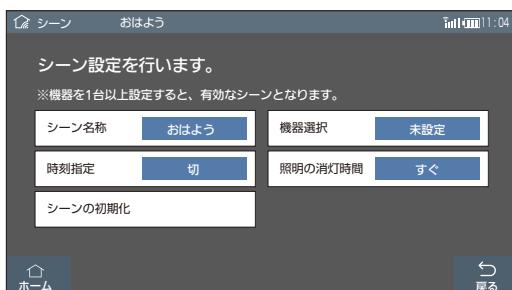
1 タッチパネル上部を指で触れたまま下にドラッグする



2 設定 を選ぶ

3 変更したいアイコンをタッチする

4 変更する項目を選び、タッチする



- ・「機器選択」で操作する機器を選択してください。

5 設定を変更する

シーン操作を実行する

1 タッチパネル上部を指で触れたまま下にドラッグする



2 アイコンをタッチする

- ・シーン操作を実行します。
- ・操作する機器によっては、実行確認画面が表示されます。その場合は、「すぐに実行」をタッチすると操作を直ちに実行します。タッチしない場合は、約 30 秒後に操作を実行します。
- ・[ステータス表示エリア \(P33\)](#) に実行状況が表示されます。

シーンバーの表示を消すには

シーンバー以外の画面をタッチする

- ・画面にタッチしないまま約 10 秒経過すると、自動的に消えます。

お知らせ

- ・ドアホン着信中などは、シーンバーを使用することができません。

ドアホンやセンサー・カメラを使う

ドアホンメニューを使う

ドアホンの着信に応答したり、ドアホンやセンサー・カメラの映像を見たりすることができます。

- ドアホン着信、親機・子機からの呼び出しはドアホンメニュー以外でも受けることができます。

準備操作

- ドアホン登録（P96）をしておく

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 を選ぶ



- 「ドアホン・カメラ」の機器一覧
- 「室内呼」の機器一覧
- 「電気錠・機器」の機器一覧

ドアホンやセンサーカメラを使う

ドアホンの着信に応答する

ドアホンの着信を受けると、ポップアップ画面が表示されます。

① 着信音量の調整



「通話」または「モニター」を選ぶ

- ・「通話」を選んだ場合、画面に向かって通話してください。
- ・「モニター」を選んだ場合、本機側の音声は相手に聞こえません。
- ・通話またはモニターせずに終了するときは、「キャンセル」を選びます。

通話中の画面



- ・音量は音量「+」「-」で調整できます。

モニター画面の映像が暗いときは

「逆光補正」を選ぶ

- ・見やすい明るさでお使いください。
- ・逆光補正機能がないドアホンをお使いの場合、ボタン表示しません。

ドアホン親機・子機に通話を転送するには

- ① 「室内呼」を選ぶ
- ② 転送したい機器を選ぶ
- ③ 機器の応答を確認し、「室内呼終了」を選ぶ

通話を終了するには

「通話終了」を選ぶ

プレストーク通話にする

周囲が騒がしいときに、声が伝わりやすくなります。

- ・プレストーク通話は、ドアホン通話のみ利用できます。

① 「プレストーク（2秒）」を約2秒タッチする

- ・が表示され、プレストーク通話に切り換わります。

② 「プレストーク」を押したまま話す

(押している間、相手の声は聞こえません)

・聞くとき（受話）

「プレストーク」から指を離す

(こちら側の声は相手には聞こえません)

お知らせ

ポップアップ画面について

- ・他のドアホン親機・子機で応答したり、30秒間応答しなかった場合は消えます。
- ・ポップアップ画面表示中はドアホン側の音声は聞こえません。
- ・ドアホン通話中、呼び出し中、転送中は、ドアホン側で来客があってもポップアップ画面は表示されません。

ドアホンやセンサーハンディカメラを使う

ドアホンやセンサーハンディカメラの映像を見る

ドアホンやセンサーハンディカメラに映った外の様子を確認することができます。

1 ドアホンメニューにする

→ ドアホンメニューを使う (P57)

2 映像を見たい機器を選ぶ



モニター画面が表示されます。

- ・ドアホンを選んだ場合、通話することもできます。

ドアホンのモニター画面について → ドアホンの着信に応答する (P58)

モニター画面を閉じるには

「モニター終了」を選ぶ

センサーハンディカメラが検知した場合

センサーハンディカメラが人や動物などの動きを検知した場合、ドアホンメニュー以外でもポップアップ画面が表示され、検知を知らせます。「ドアホン設定」で「センサーハンディ受信」が「入」のとき)



「モニター」を選ぶと、モニター画面が表示されます。

終了するには

「モニター終了」を選ぶ

お知らせ

- ・モニター中、音声は聞こえません。
- ・センサーハンディカメラの映像を見るには、ドアホン親機側でセンサーハンディを登録する必要があります。詳しくはドアホンの取扱説明書をお読みください。
- ・ドアホン使用中は、センサーハンディが検知してもポップアップ画面は表示されません。
- ・ドアホン親機の機種によっては、センサーハンディのモニター中にドアホン着信を受けることはできません。

ドアホンやセンサーカメラを使う

ドアホン親機・子機を呼び出す（室内通話）

モニターからドアホン親機・子機を呼び出して、通話します。

- 1** ドアホンメニューにする
→ ドアホンメニューを使う (P57)
- 2** 「室内呼」を選ぶ
- 3** 呼び出したい機器を選ぶ



すべての機器を呼び出すときは
「一斉呼出」を選ぶ

- ・呼び出し音のあとに呼びかけができます。
- ・「再呼出」を選ぶと、再度呼び出し音を鳴らします。

- 4** 「ドアホン室内通話中」と表示されたら、通話を開始する
- 通話中の受話音量を調整するには
音量「+」「-」で調整する
- 5** 通話が終了したら、「室内呼終了」を選ぶ

ドアホンやセンサーカメラを使う

ドアホン親機・子機からの呼び出しを受ける

ドアホン親機・子機からの呼び出しやドアホン転送を受けることができます。着信を受けると、ポップアップ画面が表示されます。



- 1 「通話」を選ぶ**
- 2 「ドアホン室内通話中」と表示されたら、通話を開始する**
 - ドアホンが転送された場合、相手が通話を終了すると、通話中画面に切り換わります。
 - ドアホンの着信に応答する (P58)

お知らせ

- 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音（ハウリング）が聞こえます。少し離れた場所で通話してください。

ドアホンやセンサーカメラを使う

電気錠・機器を操作する

ドアホン親機に接続された電気錠などの機器がある場合、ドアホンメニューから機器の操作を行うことができます。

- 1** ドアホンメニューにする
→ ドアホンメニューを使う (P57)
- 2** 「電気錠・機器」をタッチする
- 3** 操作したい機器をタッチして選ぶ



- 4** 操作ボタンをタッチする

お知らせ

- ドアホンでの通話中やモニター中の画面右下に「電気錠」や「機器」が表示されます。タッチすると機器を操作することができます。
- 接続される機器の種類によっては、機器状態を表すアイコンが表示されません。

テレビメニュー

テレビメニューを使う

テレビ放送の受信、録画、予約録画を行います。録画した番組の再生や消去もこのメニューで行います。

テレビを視聴・録画するには、「[放送受信設定](#)」(P97) が必要です。放送受信設定を促すメッセージが表示されたら、「設定開始」を選んで、設定してください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2



をタッチする

テレビを見る

チャンネルを選んでテレビを見る

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 放送波をタッチして選び、チャンネルをタッチして選ぶ



- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。
- チャンネルは、指で画面を左右に払って（フリックして）切り換えることもできます。

毎朝定番チャンネルについて

「毎朝定番チャンネル」(P98) を「入」にすると、朝（午前5時～10時）に初めて電源を入れたとき、視聴履歴を基に、よく見るチャンネルを自動で選択します。

お知らせ

- モニターでは、データ放送を見ることはできません。
- 実際の放送よりも数秒遅れてモニターに表示されます。
- 同じチャンネルを連続して8時間視聴すると、画面が一瞬途切れます。
- 無線状態によっては、視聴中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。
- NHKのBS設置の青ボタン操作メッセージが表示された場合、モニターでは操作することはできません。表示された連絡先にお電話ください。
- お買い上げ時の設置設定で、選局できないCS放送がある場合は、マニュアルチャンネル設定でチャンネル登録をしてください。→ [受信チャンネルを設定する \(P255\)](#)

テレビを見る

視聴中に操作する

「チャンネルを選んでテレビを見る」(P65) 手順 3 の画面で、項目を選んで操作することができます。

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。



- ① 無線電波状態
- ② 音量調節
- ③ 誤動作を防止する
- ④ 「予約録画する」(P70) の手順 4 へ
- ⑤ 「録画した番組を再生する」(P73) の手順 4 へ
- ⑥ お部屋ジャンプリンク (P83)

モニターの誤動作防止をする

アイコンをタッチすることで、水滴などによる、モニターのタッチパネルの誤動作防止を有効にします。

を 3 秒以上触れたままにする

誤動作防止を解除するには

- ① 画面に触れる
- ② を 3 秒以上触れたままにする

消音する

「消音」をタッチする

一時的に音を消します。

- もう一度タッチすると音がります。
- 字幕情報がある番組は字幕が表示されます。
(字幕を表示しない場合は、「消音操作での字幕表示」(P98) で変更できます)

音声・字幕・画質の設定をする

- ① 「音声・字幕・画質」をタッチする
- ② 項目をタッチして選び、設定する

・「画質・音質の設定」の場合は、「画質・音質の設定」をタッチしてください。

音声・字幕の切換

視聴する音声や字幕表示の切り換えをします。

- 音声
- 二重 / ステレオ音声
- 字幕
- 文字スーパー

画質・音質の設定

- 画質：画質を選びます。

スタンダード	標準の画質です
ダイナミック	明暗がはっきりします
リビング	明るいリビングでの使用に適しています
ナイト	暗い場所での使用に適しています
ユーザー	「画質の詳細設定」で設定できます

- 音質：視聴状況に合わせて音声を聞き取りやすくします。
(モニターのスピーカーからの出力時に有効です)

スタンダード	標準の音質です
ミュージック	低音域と高音域がはっきりします
快聴	高域部分の聞き取りにくい音声を補正します
お風呂	反響音を抑えます

- アンテナレベル：アンテナレベルが確認できます。
- 無線電波状態：受信レベルや映像伝送レベルが確認できます。

放送中の番組を録画する

視聴中の番組を録画する

視聴中の番組を本体のHDDに録画します。

- お買い上げ時は、5倍録モードで録画します。

録画モードを変更したい場合は、「[録画モード設定](#)」(P97)で設定してください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 放送波をタッチして選び、チャンネルをタッチして選ぶ



- メニュー画面が消えた場合、画面に触れると再度表示します。

4 「録画する」をタッチする



放送中の番組を録画する

録画中に操作する

録画中に項目を選んで操作することができます。

- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。

録画を止める

- ① 「録画停止」をタッチする
- ② 「はい」をタッチする

追っかけ再生する

「追っかけ再生」をタッチする

- ・録画中の番組を先頭から再生します。

お知らせ

- ・「追っかけ再生」時は、早見再生（1.3倍速）はできません。
- ・「追っかけ再生」時は、「無線と映像品質の設定」（P97）にかかわらず、「画質優先」で再生されます。

予約録画する

予約録画する

本体のHDDに予約録画します。

- お買い上げ時は、5倍録モードで録画します。

録画モードを変更したい場合は、「[録画モード設定](#)」(P97)で設定してください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

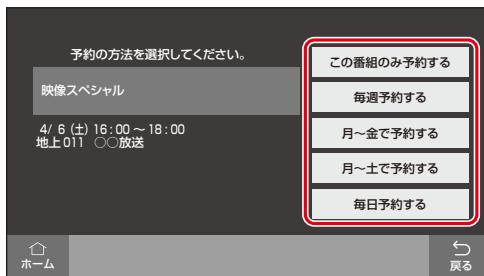
2 「テレビ」をタッチする

3 「番組表」をタッチする

4 予約したい番組をタッチして選ぶ



5 予約の方法をタッチして選ぶ

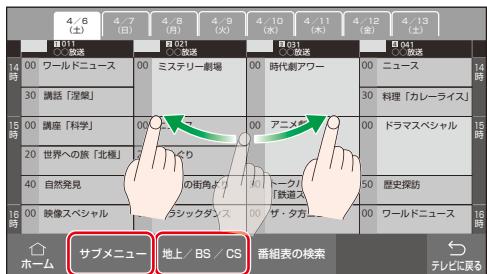


予約録画する

番組表の表示を切り換える

チャンネルの切り替え

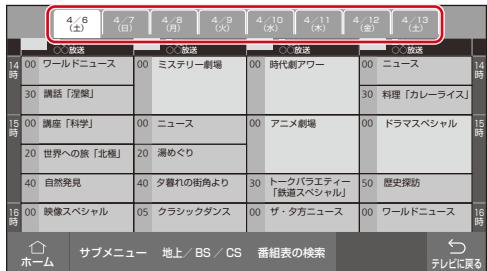
指で画面を左右に払う（フリックする）



- 「サブメニュー」をタッチすると以下の項目が表示されます。
 - 「表示チャンネル数」をタッチすると、番組表で1画面に表示するチャンネル数を変更することができます。
 - 「選局対象」をタッチすると、「マニュアルチャンネル設定」(P97) で設定されているチャンネルを表示するか、本機で見ることのできるチャンネルをすべて表示するかを設定することができます。
 - 「チャンネル録画番組表へ」をタッチすると、前回お部屋ジャンプリンクで接続した機器のチャンネル録画番組表を表示します。
 - お部屋ジャンプリンクで最後に再生した機器が、チャンネル録画番組表対応の機器以外の場合は、この項目は表示されません。
 - チャンネル録画番組を番組表形式で表示するには、接続する機器のソフトウェアの更新が必要な場合があります。
- 「地上／BS／CS」をタッチすると放送波を切り換えます。

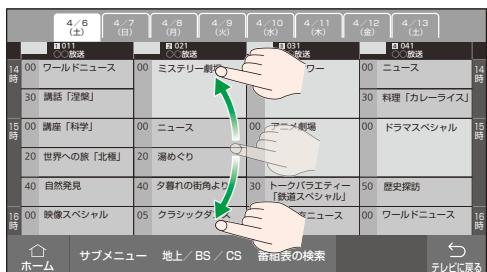
日付の切り替え

日付をタッチして選ぶ



時間の切り替え

指で画面を上下に払う（フリックする）



予約録画する

予約内容の確認・取り消し

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触ると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 「録画一覧」をタッチする

4 「予約を確認する」をタッチする



5 番組をタッチして選ぶ

- 「お知らせ」をタッチすると、予約に失敗した番組の履歴などを確認できます。番組の履歴を削除したい場合は、番組をタッチして選んだあと、「履歴削除」をタッチしてください。

6 予約を取り消す場合は、「予約を取り消す」をタッチする

お知らせ

→ 画面に表示されるマークについて (P256)

再生する

録画した番組を再生する

本体のHDDに録画した番組を再生します。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触ると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 「録画一覧」をタッチする

4 再生したい番組をタッチして選ぶ

① ラベル



- ラベルをタッチすると、ラベル内容に合った番組を表示します。

まとめ：毎日・毎週予約した番組などはまとめて表示

全番組：録画した番組をすべて表示

未視聴：録画してまだ見ていない番組を表示

ジャンル：選択したジャンルに該当する番組のみを表示

- 一度再生した番組は、前回停止した位置から再生します。

お知らせ

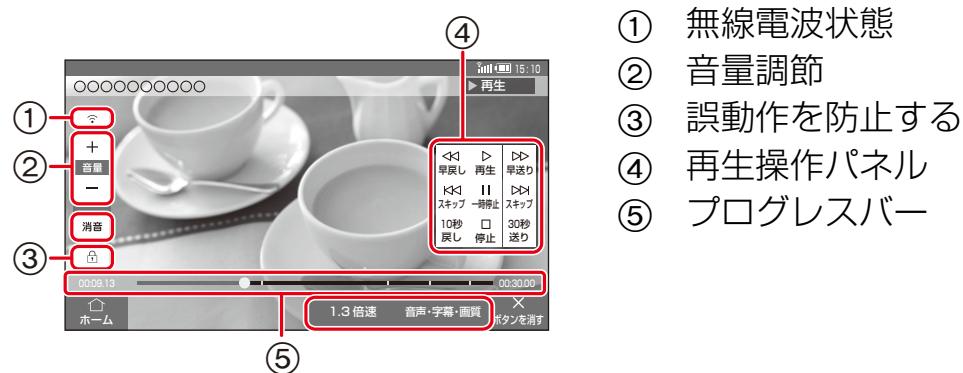
- ・再生した番組は、停止した位置を一時的に記憶しています。停止後に、本体リモコンを使ってテレビで再生した場合、その再生の停止位置に変更されます。
- ・録画中の番組は、「無線と映像品質の設定」(P97) にかかわらず、「画質優先」で再生されます。
- ・機器を設置する場所の無線状態によっては、視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。→ モニターの無線通信 (P16)

再生する

再生中に操作する

再生中に表示される画面で、項目を選んで操作することができます。

- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。



モニターの誤動作防止をする

アイコンをタッチすることで、水滴などによる、モニターのタッチパネルの誤動作防止を有効にします。

を 3 秒以上触れたままにする

誤動作防止を解除するには

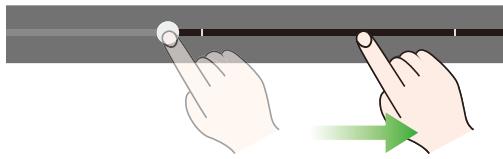
- ① 画面に触れる
- ② を 3 秒以上触れたままにする
 - ・再生中の番組を最後まで再生して録画一覧に戻ったときなども誤動作防止が解除されます。

再生操作パネル

早戻し / 早送り	タッチするごとに、または触れたままにすると速度が速くなります（5段階）
再生	再生します
スキップ	場面を飛び越します
一時停止	一時停止します
10秒戻し	約 10 秒前に戻します
停止	停止します
30秒送り	約 30 秒先へ進みます

プログレスバー

再生の進捗状況を表示したり、再生位置を変更することができます。
プログレスバーの丸部分を指で触れたまま左右に移動させる



- ・再生位置を変更します。
- ・プログレスバーに直接触れると、その位置に飛ぶこともできます。

消音する

「消音」をタッチする

一時的に音を消します。

- ・もう一度タッチすると音がります。
- ・字幕情報がある番組は字幕が表示されます。
(字幕を表示しない場合は、「消音操作での字幕表示」(P98) で変更できます)

早見再生（1.3倍速）

「1.3倍速」をタッチ、または「再生」を1秒以上触れたままにする
通常よりも速い速度で再生します。

- ・「1倍速」または「再生」をタッチすると、通常再生に戻ります。

音声・字幕・画質の設定をする

- ① 「音声・字幕・画質」をタッチする
- ② 項目をタッチして選び、設定する

・「画質・音質の設定」の場合は、「画質・音質の設定」をタッチしてください。

音声・字幕の切換

再生する音声や字幕表示の切り換えをします。

- 音声
- 二重 / ステレオ音声
- 字幕

画質・音質の設定

- 画質：画質を選びます。

スタンダード	標準の画質です
ダイナミック	明暗がはっきりします
リビング	明るいリビングでの使用に適しています
ナイト	暗い場所での使用に適しています
ユーザー	「画質の詳細設定」で設定できます

- 音質：再生状況に合わせて音声を聞き取りやすくします。
(モニターのスピーカーからの出力時に有効です)

スタンダード	標準の音質です
ミュージック	低音域と高音域がはっきりします
快聴	高域部分の聞き取りにくい音声を補正します
お風呂	反響音を抑えます

- 無線電波状態：受信レベルが確認できます。

お知らせ

- 本体から無線優先で画質を落とした映像を受信中（ 表示時 → **ステータス表示エリア** (P33)）は以下の制限があります。
 - 再生操作が遅くなる場合があります。
 - 早見再生（1.3倍速）時は、音声・字幕・画質の設定ができません。

消去する

番組を消去する

不要な番組を消去します。

- 1 「ホーム」をタッチする**
 - 表示がない場合は、画面に触ると表示します。
- 2 「テレビ」をタッチする**
- 3 「録画一覧」をタッチする**
- 4 消去したい番組の ✓ をタッチする**



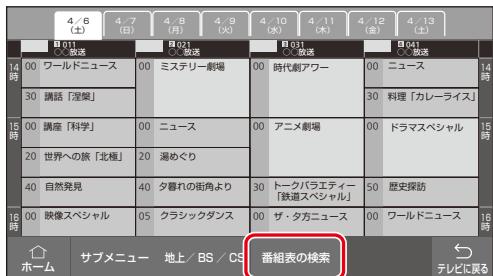
- ✓ が赤色になります。
- 5 「消去」をタッチする**
- 6 「消去実行」をタッチする**

検索する

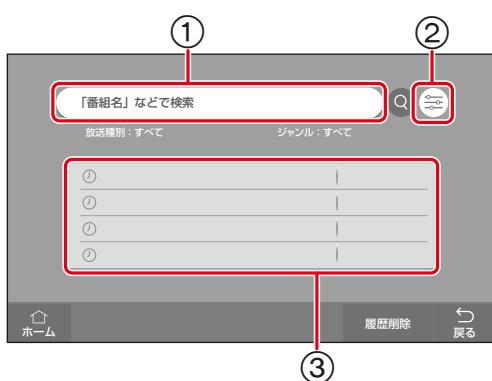
番組表から番組を検索する

番組表の中から指定した検索ワードで番組を探すことができます。

- 1 「ホーム」をタッチする**
 - ・表示がない場合は、画面に触ると表示します。
- 2 「テレビ」をタッチする**
- 3 「番組表」をタッチする**
- 4 「番組表の検索」をタッチする**



- 5 「「番組名」などで検索」をタッチする**



- ① 番組名などを入力する
- ② 詳細設定
- ③ 検索履歴

- ・ ①から以下の検索条件を設定できます。
 - ・ 放送種別
 - ・ ジャンル
- ・ 検索履歴の欄をタッチすることで、前回の検索履歴と同じ条件を設定することができます。履歴を選択して検索する場合は、履歴選択後に ② をタッチしてください。

検索履歴を削除するには
「履歴削除」をタッチする

- 6 検索ワードを入力する**
- 7 「完了」をタッチする**

検索する

録画した番組を検索する

本体に録画した番組やお部屋ジャンプリンク対応機器で録画した番組の中から、指定した検索ワードで番組を探すことができます。

1 「ホーム」をタッチする

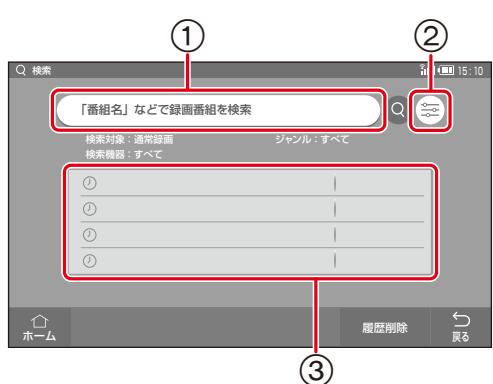
- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 「録画一覧」をタッチする

4 「検索」をタッチする

5 「「番組名」などで録画番組を検索」をタッチする



- ① 番組名などを入力する
- ② 詳細設定
- ③ 検索履歴

- ④ から以下の検索条件を設定できます。

- ・ 検索対象
- ・ 検索機器
- ・ ジャンル
- ・ 検索履歴の欄をタッチすることで、前回の検索履歴と同じ条件を設定することができます。履歴を選択して検索する場合は、履歴選択後に ④ をタッチしてください。

検索履歴を削除するには

「履歴削除」をタッチする

6 検索ワードを入力する

7 「完了」をタッチする

お知らせ

- ・お部屋ジャンプリンクの機器の番組が表示されないときは、「お部屋ジャンプリンク」で番組を更新すると表示される場合があります。
- ・チャンネル録画の検索結果が 500 件を超える場合は、最初に見つかった 500 件を表示します。
- ・チャンネル録画を検索するには、接続する機器のソフトウェアの更新が必要な場合があります。

お部屋ジャンプリンク

お部屋ジャンプリンク機能について

お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ・モニターはクライアントとして、お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されている番組の再生が行えます。(番組によっては、再生できない場合があります)
- ・他社製の機器では使用できない場合があります。
- ・お部屋ジャンプリンクは、モニターとお部屋ジャンプリンク対応機器のみでは利用できません。モニターと本体と対応機器がネットワークで通信できる状態になっている必要があります。

お部屋ジャンプリンク

他の機器の録画番組を再生する（モニターをクライアントとして使用する）

- 最初にネットワークの接続と設定をしてください。
→ ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 「ホーム」をタッチする

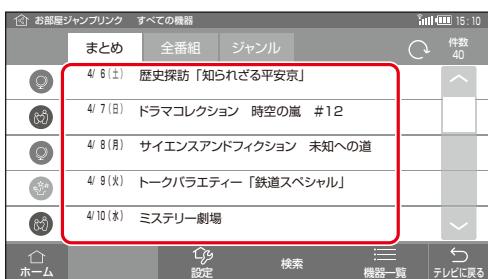
- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「テレビ」をタッチする

3 「お部屋ジャンプリンク」をタッチする

- 番組情報の更新が始まった場合は、更新が終わるまでお待ちください。
- 機器一覧が表示された場合は、機器をタッチして選んでください。
- 「すべての機器」を選んだ場合は「放送中の番組」の選択ができません。

4 再生したい番組をタッチして選ぶ



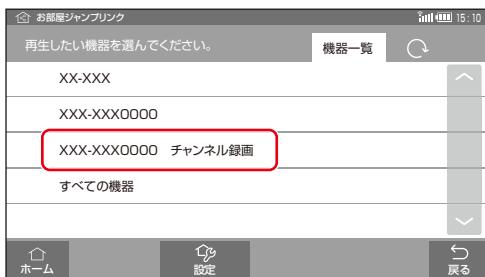
- ラベルをタッチすると、ラベル内容に合った番組を表示します。

まとめ：毎日・毎週予約した番組などはまとめて表示

全番組：録画した番組をすべて表示

ジャンル：選択したジャンルに該当する番組のみを表示

- 「機器一覧」をタッチすると、接続された機器の一覧を表示させることができます。機器名を選ぶと機器ごとの録画一覧を表示、「すべての機器」を選ぶと、接続機器の録画した番組をすべて表示します。



- チャンネル録画と表示された機器をタッチすると、チャンネル録画した番組を表示させることができます。
- 機器名を選び、「放送中の番組」をタッチすると、接続された機器で視聴できるチャンネルが表示されます。

お知らせ

- ・再生したい番組が表示されないときは、画面右上の  をタッチしてください。
- ・本体の電源が「切」のときに、「お部屋ジャンプリンク」録画一覧の番組を自動更新します。お部屋ジャンプリンク画面の「設定」の「自動更新の設定」で、自動更新の間隔を選択できます。
- ・「お部屋ジャンプリンク」録画一覧に表示できる機器は最大 10 台まで、番組数は 1 台当たり最大 4000 番組までです。
- ・音声が LPCM のときなど、正しく再生できない場合があります。
- ・接続する機器によっては、「まとめ」ラベル選択時のまとめ表示に対応していない場合があります。
- ・「チャンネル録画」で録画された番組は、「まとめ」「全番組」「ジャンル」には表示されません。チャンネル録画した番組を表示させるには「機器一覧」をタッチし、チャンネル録画と表示された機器を選んでタッチしてください。
- ・接続する機器によっては、「チャンネル録画」で録画された番組を再生できない場合があります。
- ・接続する機器によっては、「チャンネル録画」で録画された番組を番組表形式で表示することができます。ただし、表示するには接続する機器のソフトウェアの更新が必要な場合があります。
- ・標準画質（DVD 画質）で録画した番組や、本機がサポートしていない音声出力形式で録画された番組は「お部屋ジャンプリンク」録画一覧には表示されません。
- ・接続機器（ディーガ）が[表示機器一覧設定 \(P100\)](#) に表示されていない場合、接続機器側で以下の設定を行ってください。
 - ① 「お部屋ジャンプリンク機能」（または「ビエラリンク（LAN）設定」）を「入」にする
 - ・「ビエラリンク（LAN）設定」を「入」にした場合は、「ホームサーバー機能」も「入」にしてください。
 - ② モニターと本体の MAC アドレスを登録し、本機からのアクセスを「許可」にする（アクセス許可が「自動」の場合、登録は不要です）
 - ・MAC アドレス → [詳細情報表示 \(P100\)](#)
 - ・「お部屋ジャンプリンク」の番組再生中は、早見再生（1.3 倍速）はできません。

インターネットについて

インターネットメニューを使う

情報ページを見たり、インターネットを閲覧できます。

準備操作

- ・ブロードバンドルーターを宅内ネットワークに接続する
→ ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 「ホーム」をタッチする

- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2



を選ぶ

- ・インターネット画面が表示されます。
- ・メッセージが表示された場合、画面に従って操作してください。

3 項目を選ぶ

インターネットについて

インターネットの閲覧制限機能について

本機には、インターネットを見るときに、お子様などに見せたくないホームページなどの閲覧を制限するための機能が組み込まれています。

お子様などが本機を使ってインターネットをご覧になる家庭では、この制限機能の利用をお勧めします。

制限機能を使用するには、以下の設定をしてください。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定」をタッチする

3 「ネットワーク / 無線設定」をタッチする

4 「詳細設定」をタッチする

5 「ネット制限項目設定」をタッチする

6 暗証番号を設定する

- WEB ブラウザを利用するには、暗証番号の入力が必要になります。

7 「ブラウザ制限」をタッチする

8 「する」をタッチする

お知らせ

- クレジットカードの番号や氏名などの個人情報を入力するときは、そのページの提供者が信用できるかどうか十分お気をつけください。

インターネットについて

WEB ブラウザを使う

WEB ブラウザを使うと、インターネットを利用してホームページなどのウェブサイトを見るすることができます。

1 インターネットメニューにする

→ インターネットメニューを使う (P85)

2 「WEB ブラウザ」をタッチする

- ホームに設定されているページが表示されます。

3 見たいページを表示する

・表示方法について

- アドレス (URL) を入力してページを表示する (P88)
- 検索を使ってページを表示する (P88)
- ブックマークを登録したページを表示する (P90)

お知らせ

- WEB ブラウザの機能制限のため、サイトによっては正しく表示できないことがあります。
- WEB ブラウザの機能制限のため、サイトによってはブラウザが強制終了することがあります。

インターネットについて

WEB ブラウザの基本操作

アドレス（URL）を入力してページを表示する

- ①  http... をタッチする
- ② 見たいウェブサイトのアドレスを入力する → 文字入力について (P90)
- ③ 「完了」をタッチする

検索を使ってページを表示する

- ①  をタッチする
- ② 検索することばを入力する → 文字入力について (P90)
- ③ 「完了」をタッチする

表示ページをスクロールする

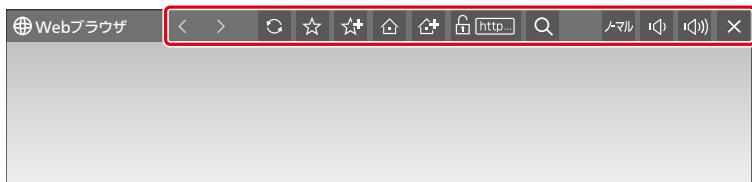
画面を上下左右に払う

表示ページを拡大する・縮小する

拡大するときは、画面に触れたまま 2 本の指の間隔を広げる（ピンチアウト）
縮小するときは、画面に触れたまま 2 本の指の間隔を狭める（ピンチイン）

ツールバーを使う

ツールバーのアイコンを選んで WEB ブラウザを操作することができます。



アイコン	操作
<	前の画面に戻る
>	先の画面に行く
⟳	表示中のページを再読み込みする
ⓧ	ページの読み込みを中止する
☆	ブックマーク一覧を表示する → ブックマークを登録したページを表示する (P90)
☆+	表示中のページをブックマークに登録する → ブックマークを登録する (P90)
⌂	ホームとして設定したページを表示する
⌂	表示中のページを WEB ブラウザ起動時またはホーム ⌂ で表示されるページに設定する
ノーマル ライト	WEB ブラウザの動作モードを設定する ノーマル：ページを標準設定で表示する ライト：ページの表示速度を改善する • ページによっては、一部機能が制限されたり改善効果がない場合があります。 • ページによっては、ライトのときの URL が別になっており、その後ノーマルに切り換えるとページが変わらない場合があります。
🔉 🔊	音量を調節する
×	WEB ブラウザの表示を終了する

お気に入りに登録する（ブックマーク）

お気に入りのページを登録しておくと、ブックマーク一覧からそのページに移動できます。

ブックマークを登録する

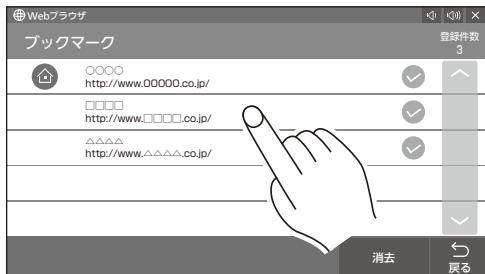
登録したいページを表示中に、ツールバーの をタッチする

ブックマークを登録したページを表示する

① ウェブサイトを表示中に、ツールバーの をタッチする

- ・ブックマーク一覧が表示されます。

② 見たいページをタッチして選ぶ



ブックマークを登録したページを消去する

① 消去したいページの をタッチする

- ・複数のページを消去する場合、消去したいページの をタッチする操作を繰り返してください。

② 「消去」をタッチする

③ 「消去実行」をタッチする

文字入力について

文字入力時にキーボードが表示されます。



① カーソル

① キーボードから文字をタッチして選ぶ

② 変換する場合は、「変換」をタッチする

③ 候補から項目をタッチして選ぶ

④ 「完了」をタッチする

文字を削除するとき

① ◀▶ をタッチして、削除する文字の後にカーソルを移動する

② 「消去」をタッチする

- ・入力した文字をすべて削除したい場合は、「消去」を 1 秒以上触れたままにしてください。

インターネットについて

LINE でおうちと連携する

LINE でおうちと連携するには、「ホームナビゲーション」を LINE に友だち登録する必要があります。

登録時には、「CLUB Panasonic」のアカウントや「機器パスワード」が必要になります。

1 インターネットメニューにする

→ インターネットメニューを使う (P85)

2 「LINE でおうちと連携」をタッチする

- ・「宅外リモート接続機能」(P100) が有効でない場合は、誘導画面が表示されます。
「宅外リモート接続機能を有効にする」をタッチしてください。

3 LINE アプリで：友だち追加画面で「QR コード」を読み取る



4 LINE アプリで：「追加」をタッチする

5 LINE アプリで：「登録はこちら」をタッチする

6 LINE アプリで：「CLUB Panasonic」にログインする



- ・「CLUB Panasonic」のアカウントを取得するには、「CLUB Panasonic 会員登録」を選択してください。(複数の LINE アカウントで使用する場合は、人数分の「CLUB Panasonic」のアカウントが必要です)

7 LINE アプリで：規約の同意やお知らせの確認をする

8 LINE アプリで：機器パスワードを入力する

- ・「機器パスワード」は手順3の画面で表示されます。

9 LINE アプリで：メッセージ内の「LINE アプリを表示」をタッチする

LINE 連携設定をするには

→LINE 連携設定 (P115)

お知らせ

- ・LINE を利用した連携サービスは、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

設定する

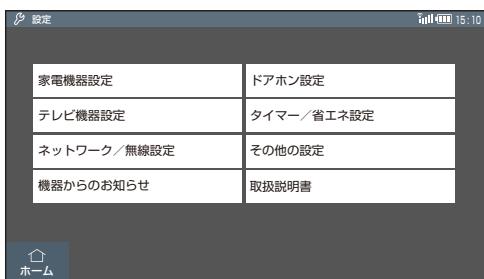
モニターの設定を変更する

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定」をタッチする

3 設定項目をタッチして選び、設定内容を変更する



- 設定メニューの詳細については、それぞれのメニューの項目をお読みください。

設定する

家電機器設定

分岐回路名称設定

分岐回路の名称を変更することができます。「エコレポート」で電力情報を表示するかどうかの設定もできます。

→ 使用電力を確認する (P40)

機器名称設定

登録されている機器の名称を変更することができます。

料金設定

電気・ガス・水道の料金を設定します。

・ 電気料金の場合、プラン（従量制、深夜電力、オール電化）に応じた設定が必要です。

→ 電気料金を設定する (P108)

→ 水道・ガス料金を設定する (P111)

目標・アドバイス設定

一日の使用電力量

初期設定：【9.0kWh】

一日の使用電力量の目標を設定します。

目標値を入力し、「設定」を選ぶ

アドバイス表示

初期設定：【入】

「入」にすると、目標達成状況や省エネに関するアドバイスが「機器からのお知らせ」に表示されます。→ 機器からのお知らせ (P106)

他の家電機器設定

CO2 換算係数

初期設定：電気：【0.430kg-CO2/kWh】
水道：【0.580kg-CO2/m³】
ガス：【2.100kg-CO2/m³】

二酸化炭素排出量の基になる係数を変更します。

- ① 「電気」、「水道」または「ガス」を選ぶ
- ② 係数を入力して、「設定」を選ぶ

計測データ初期化

グラフ表示用に保存されているデータを削除します。

計測データの USB 保存

初期設定：【切】

- ・「入」に設定すると、毎日 0：00～2：00 の間で、エネルギー計測データが USB メモリーに保存されます。本体の「USB メモリー用」端子に USB メモリーを接続してください。
- ・USB メモリーの取り外しは、上記時間帯以外に実施してください。

ブラウザ連携機器

連携機器の画面表示を行うことができます。（「[ブラウザ連携機器設定](#)」（P104）を設定している場合に有効になります）

住宅 API アクセス許可

初期設定：【切】

本機能は、携帯端末やタブレット向けに企業や個人等により開発されたアプリケーションを用いて本機を利用、操作するためのものです。

利用するアプリケーションによっては、本機のデータが正しく更新されなかったり、設定情報が失われる等の不具合が発生する可能性があります。本機能の利用に伴う問合せについては当社は対応致しかねますので、お客様の判断と責任のもとに使用して頂きますようお願いします。

機器の登録／解除

接続する機器の登録や解除を行なうことができます。

画面表示に従って、機器の登録や解除を行なってください。

- ・接続対応機器以外を登録した場合の動作は保証の対象外となります。

設定する

ドアホン設定

ドアホン登録

ドアホン親機に登録します。

① ドアホン親機を子機の登録モードにする

② モニター画面の「登録」をタッチする

- ・「ドアホン設定」画面に戻り、「登録状態：登録済」と表示されたら、登録完了です。
- ・ドアホン親機に登録された子機やセンサーハンガーも本機と接続できるようになります。
- ・ドアホンの登録を解除するときは、ドアホン親機側で解除してください。詳しくは、ドアホンの取扱説明書をお読みください。

センサーハンガー受信

初期設定：【入】

「入」にすると、センサーハンガーが人や動物などを検知したときにモニターへの通知を行います。

呼出音量の設定

初期設定：【2】

音量「+」「-」で呼出音量を設定する

- ・「呼出音量を確認する」を選ぶと、設定音量で呼び出し音が鳴ります。

設定する

テレビ機能設定

録画モード設定

初期設定：【5倍録】

モニターから録画するときの録画モードを設定します。「DR」「5倍録」「10倍録」「15倍録」のみ選べます。

- ・高画質（DR）の場合、再生時の通信状況によって映像が途切れたり停止することがあります。
- ・[録画モードと記録時間の目安（P261）](#)
- ・「DR」以外での録画について [→ DRモード切り換えについて（P166）](#)

無線と映像品質の設定

初期設定：【自動】

本体から映像を送信するときに、画質を落とす調整をすることで、映像の途切れや停止を改善します。画質の調整が行われると、チャンネルの切り換えや再生開始までに時間がかかるようになります。

- ・「自動」に設定すると、通信状況が悪いときに、自動的に「無線優先」に切り換わります。（画質の調整は2段階まで）（一度切り換わると、視聴や再生をやめるまで「無線優先」のままになります）
- ・現在の無線と映像品質の状態はステータス表示エリアで確認できます。
[→ ステータス表示エリア（P33）](#)

放送設定

選局対象

初期設定：【設定チャンネル】

番組表に表示するチャンネルを設定します。「設定チャンネル」は、「マニュアルチャンネル設定」で設定されているチャンネルのみを選局します。

放送受信設定

お住まいの地域の設定や地上デジタル放送のチャンネル設定などを行います。設定するとテレビ放送を受信することができます。

- ・画面の指示に従って設定を行ってください。

マニュアルチャンネル設定

チャンネル設定の変更を行います。 [→ 受信チャンネルを設定する（P255）](#)

衛星アンテナの電源

初期設定：【入】

本体から衛星アンテナに電源を供給する場合は「入」にしてください。

消音操作での字幕表示

初期設定：【入】

「入」にすると、モニターの消音時に字幕を表示します。

毎朝定番チャンネル

初期設定：【入】

「入」にすると、視聴履歴を基に朝（午前5時～10時）に初めて起動するときのチャンネルを自動で選択します。

メール／情報

放送メール

放送局からのお知らせや本機の機能向上のためのダウンロード情報を確認することができます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、miniB-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

テレビ制限項目設定

画面の指示に従って暗証番号を入力してください。

- ・ 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

初期設定：【無制限】

- ・ 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るとときは、暗証番号の入力が必要です。
- ・ 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

誤動作防止中の表示

初期設定：【入】

「切」にすると、誤動作防止中に画面を押したときにメッセージは表示されなくなります。

最新ニュース録画設定

最新ニュースを自動で録画するための設定を行います。 ➔ [最新ニュース録画設定（地上デジタル）\(P116\)](#)

設定する

タイマー／省エネ設定

クイックスタート

初期設定：【入】

「入」にすると、電源「切」状態からの起動は速くなりますが、待機時消費電力は増えます。

- ・「切」にすると、電源「切」時にドアホンやセンサーcameraの着信、安心アラートなどの通知を受けることはできません。

自動電源オン／オフ（時刻指定）

お客様の生活時間帯に合わせてモニターの電源を自動的にオン／オフする設定ができます。

無信号電源オフ

初期設定：【切】

「入」にすると、放送視聴ができないなどの無信号状態が 15 分継続したときに自動的に電源が切れます。

エコ充電

初期設定：【入】

「入」にすると、充電式電池の充電を約 80%に制御するため、充電式電池の寿命を延ばすことができます。

設定する

ネットワーク／無線設定

ネットワーク／無線状態

電波状態（受信レベル）や使用中の周波数帯を表示します。

- ・「受信レベル」が30以上であることが、安定した受信状態の目安です。
30より低い、または通信の途切れなどが発生する場合、「原因と改善方法」を確認してください。

詳細情報表示

ネットワークの詳細情報を表示します。

接続方法やネットワーク名（SSID）、MACアドレスなどが表示されます。

原因と改善方法

無線接続が安定しない場合の原因や改善方法を確認できます。

宅外リモート接続設定

宅外リモート接続機能

初期設定：【切】

「入」にすると、外出先のパソコンやスマートフォンなどから本機を操作することができます。

機器パスワード初期化

機器パスワードはネットワークを経由して本機を操作するときに使用します。
機器パスワードを初期化するときに選びます。（パスワードは自動で変更されます）

お部屋ジャンプリンク設定

自動更新の設定

初期設定：【切】

「お部屋ジャンプリンク」録画一覧の自動更新の間隔を選択できます。

表示機器一覧設定

「お部屋ジャンプリンク」録画一覧で番組情報を表示する機器を設定します。

録画番組の情報を削除

「お部屋ジャンプリンク」に表示されている録画番組の情報、および「お部屋ジャンプリンク」機器一覧の情報を削除します。

無線設定

無線チャンネル

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

無線詳細設定

帯域

初期設定：【20MHz】

帯域幅を設定します。

- ・「80MHz」で通信を行うと、高速で通信しますが、電波干渉が起こりやすくなるおそれがあります。そのため、通信速度が低下したり、通信が不安定になったりする場合があります。

TDLS 設定

初期設定：【入】

「入」にすると、電波状況などに応じて、モニターの通信経路を無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）もしくは本体に自動で切り替えます。

「切」にすると、モニターの通信経路の切り替えは行いません。

詳細設定

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

Cookie 削除

ウェブサイトから受け取った Cookie ファイルをすべて削除します。

ネット制限項目設定

ウェブサイトの閲覧を制限するために、暗証番号を設定します。

暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

ブラウザ制限

初期設定：【しない】

暗証番号変更

暗証番号削除

本体の確認

接続中の本体の “ダウンロード” ランプを約 10 秒点灯させます。

接続方法の変更

ネットワークの接続方法を変更します。 → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

設定する

その他の設定

システム情報表示

ソフトバージョンなどの情報を確認できます。

ソフトウェア更新

ソフトウェア自動更新

初期設定：【入】

インターネットを利用して、モニターのソフトウェアが最新かどうかの確認を行います。

→ モニターのソフトウェア更新 (P244)

- ・更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - ・モニターの電源を切る
 - ・モニターを充電台から外す
 - ・モニターのリセットボタンを押す
 - ・本体の電源コードを外す

ソフトウェア更新の実行

モニターと本体のソフトウェアが最新かどうか確認し、ソフトウェアを更新します。

日時設定

日時を設定します。

「年」、「月」、「日」、「時」、「分」を入力し、「設定」を選ぶ

本体リモコン表示

初期設定：【切】

「入」にすると、ホーム画面のメニューに「本体リモコン」ボタンが表示されます。

「本体リモコン」を使って、モニターから本体を操作することができます。

本体の診断

本機の故障と思われる症状が出たときに、機器の状態を診断することができます。

- ・すべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

設定の初期化

モニターの初期化

モニターの設定をお買い上げ時の設定に戻します。廃棄などでモニターを手放される場合以外は実行しないでください。

- ・モニターの初期化を実行すると、モニターで本体を初期化できなくなります。

モニターと本体の初期化

モニターと本体をお買い上げ時の設定に戻します。廃棄などでモニターと本体を手放される場合以外は実行しないでください。

本体 HDD のフォーマット

本体 HDD の初期化を行います。

本体 HDD に記録された情報は消去されます。

入居時に戻す

個人情報を消去し、入居時の状態に戻します。

(本体の録画番組もすべて消去されます。ただし、登録している機器の設定は初期化されません)

ご利用ガイド

本機のご利用に際しての注意事項の説明やお客様設定を行います。

施工設定

施工店様用の設定です。

① 機器登録／解除

本機で操作する機器の登録と解除を行います。

機器登録と解除は主に施工店様が実施いたします。通常は使用することはありません。

② 機器設定／動作確認

登録している機器の「機器名」「場所」「種別」「状態」の確認や設定を行います。

③ ドアホン登録

ホームナビゲーションをドアホン親機に登録します。

④ 施工結果確認

施工結果を確認することができます。結果を USB メモリーに保存することもできます。

その他の施工設定

エコレポート

初期設定：【切】

「入」に設定すると、メニューに「エコレポート」ボタンが表示され、使用電力や発電などの情報を表示することができます。

機器操作

初期設定：【切】

「入」に設定すると、メニューに「機器操作」ボタンが表示され、本機から機器操作ができるようになります。

ブラウザ連携機器設定

連携機器の登録・解除、ユーザー起動画面の設定ができます。

ユーザー起動画面の設定で、ホームの「エネルギー管理」ボタン、「全館空調」ボタンまたは「[ブラウザ連携機器](#)」(P95) で連携機器の画面が表示されます。

バックアップとリストア

設定データのバックアップとリストアを行うことができます。設定データは 1 日に 1 回モニター起動時に自動的にモニターにバックアップされます。手動でバックアップを行いたい場合に「バックアップ」を 3 秒以上長押ししてください。

「リストア」を行うとモニターにバックアップした設定データを本体に戻すことができます。本体を交換した場合に行ってください。

計測データの USB 保存

初期設定：【切】

「入」にすると、毎日 0:00 ~ 2:00 の間で、エネルギー計測データが USB メモリーに保存されます。

本体の USB 端子に USB メモリーを接続してください。

自家消費モード

初期設定：【切】

「入」に設定すると、太陽光発電の余剰電力を利用してエコキュートの沸き増しを行い、自家消費を増やすことができます。

展示モード

初期設定：【切】

通常は使用しません。

「切」でご使用ください。

設定する

機器からのお知らせ

ご使用の機器が正常に動作しなくなったときの詳しい内容や対応策を確認することができます。また、省エネのためのお知らせなどが表示されます。

1 項目を選ぶ

項目	お知らせの内容
目標・アドバイス / シーン実行履歴*	<ul style="list-style-type: none"> 週に1度の目標達成度 月に1度の省エネのアドバイスなど シーン実行の履歴表示
機器エラー・警告	<ul style="list-style-type: none"> エラーが発生した機器の設置場所、エラー内容など 蓄電池の使用期限など機器からの通知

*お客様の環境によって表示される項目は異なります。

2 確認したいお知らせを選ぶ

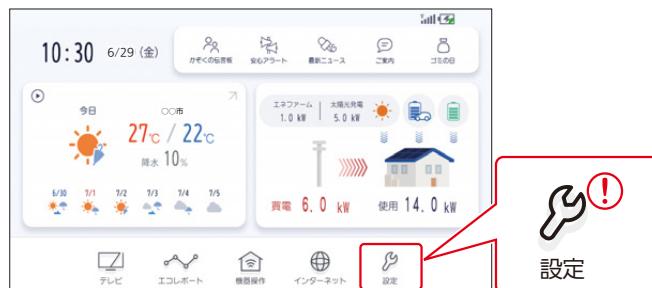


- ① 未読のお知らせ
② 機器エラー・警告の全消去

- お知らせの詳細画面が表示されます。
- 機器エラーや警告の通知がある場合は、画面の指示に従ってください。

メニューアイコンでの表示について

機器エラーなどのお知らせがある場合、設定アイコンにも表示されます。
設定メニューにして内容を確認してください。



お知らせ

- お知らせは「目標・アドバイス / シーン実行履歴」「機器エラー・警告」とも30件まで保存されます。それぞれ30件を超えると古いものから削除されます。(未読を含む)

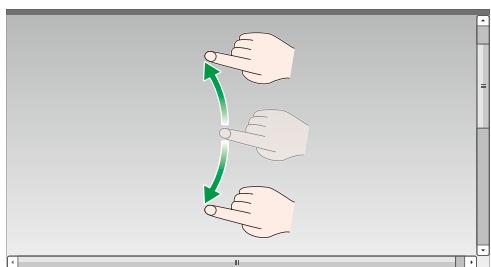
設定する

取扱説明書

取扱説明書（本書）を表示します。
本書は以下の操作でご覧ることができます。

表示ページを上下左右に移動する

指で画面を上下または左右に払う（フリックする）



操作する

ステータス表示エリアのアイコンを選んで操作することができます。



アイコン	操作
<	前の画面に戻る
>	先の画面に進む

取扱説明書の画面を終了するには

「ホーム」をタッチする

- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。

お知らせ

- ・取扱説明書は、ピンチイン、ピンチアウトによるページの拡大・縮小はできません。

詳細設定

電気料金を設定する

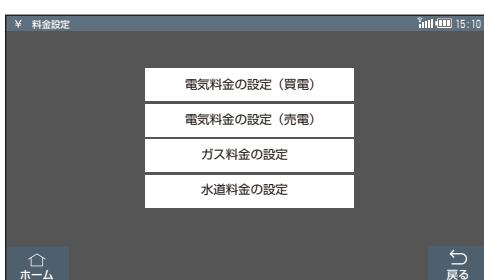
電気料金を設定します。

設定すると、以下の表示をすることができます。

- ・「電気の流れ」画面での売買電単価 → 電気の流れを見る (P38)
- ・買電料金、売電料金、電力料金収支のグラフ → エネルギーの計測情報や料金などをグラフ表示する (P41)

**1 設定メニューの「家電機器設定」から「料金設定」を選ぶ
→ モニターの設定を変更する (P93)**

2 「電気料金の設定（買電）」または「電気料金の設定（売電）」を選ぶ



電気料金（買電）を設定する

電力会社から購入する電気料金を設定します。

- ・単価は契約プランによって異なります。詳しくはご契約の電力会社にお問い合わせください。

1 「電気料金の設定（買電）」を選ぶ
・料金設定画面が表示されます。

2 ご契約の料金プランを選ぶ
・「従量制」「深夜電力」「オール電化」から選びます。

「従量制」の場合

- ① 基本料金を入力し、「次へ」を選ぶ
- ② 概算単価を入力し、「完了」を選ぶ
 - ・概算単価は以下の手順で計算してください。
 - ① 最新の電気代の請求額を調べる
 - ② 請求額から基本料金を引く
 - ③ ②を使用電力量で割る

「深夜電力」の場合

- ① 昼間料金の適用開始時間 ①、夜間料金の適用開始時間 ② を設定し、「次へ」を選ぶ



設定できる時間帯

- ① は 4 ~ 10 時（初期設定：7 時）
- ② は 20 ~ 2 時（初期設定：23 時）

- ② 基本料金を入力し、「次へ」を選ぶ
 ③ 昼間料金を入力し、「次へ」を選ぶ
 ④ 夜間料金を入力し、「完了」を選ぶ

「オール電化」の場合

- ① 昼間料金の適用開始時間 ④・終了時間 ③、夜間料金の適用開始時間 ⑤・終了時間 ⑥ を設定し、「次へ」を選ぶ



設定できる時間帯

- ③ は 17 ~ 23 時（初期設定：17 時）
- ④ は 7 ~ 10 時、13 時、16 時（初期設定：10 時）
- ⑤ は 20 ~ 2 時（初期設定：23 時）
- ⑥ は 4 ~ 10 時（初期設定：7 時）

- ② 基本料金を入力し、「次へ」を選ぶ
 ③ 昼間料金を入力し、「次へ」を選ぶ
 ④ 朝晩料金を入力し、「次へ」を選ぶ
 ⑤ 夜間料金を入力し、「完了」を選ぶ

電気料金（売電）を設定する

太陽光発電での電気を売却するときの単価を設定します。

- ・単価は「太陽光発電の余剰電力買取制度」に基づきます。詳しくはご契約の電力会社にお問い合わせください。

1 「電気料金の設定（売電）」を選ぶ

- ・料金設定画面が表示されます。

2 単価を入力する

3 「設定」を選ぶ

お知らせ

- ・基本料金は 0.00 ~ 9999.99 円まで設定できます。
- ・料金単価は 1.00 ~ 999.99 円まで設定できます。

詳細設定

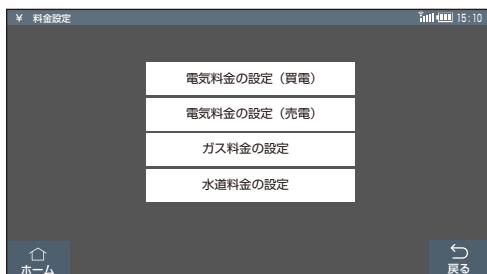
水道・ガス料金を設定する

水道・ガス料金の単価を設定します。

- ・水道料金、ガス料金のグラフが表示できます。 → エネルギーの計測情報や料金などをグラフ表示する (P41)

1 設定メニューの「家電機器設定」から「料金設定」を選ぶ
→ モニターの設定を変更する (P93)

2 「ガス料金の設定」または「水道料金の設定」を選ぶ



3 単価を入力する

- ・単価は以下の手順で計算してください。
- ① 最新の水道代またはガス代の請求額と使用量を調べる
 - ② 請求額を使用量で割る

4 「設定」を選ぶ

お知らせ

- ・水・ガスの単価には 1 m^3 当たりの料金を入力します。
- ・料金単価は 1.00 ~ 999.99 円まで設定できます。

詳細設定

パソコン、スマートフォンなどと接続できるようにする（宅外リモート接続設定）

「入」にすると、パソコンやスマートフォンなどから本機を操作することができます。

準備操作

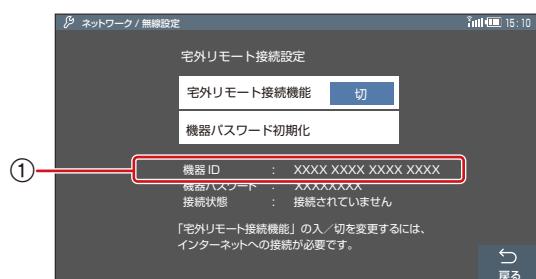
- ・インターネットへ接続しておく → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 設定メニューの「ネットワーク / 無線設定」を選ぶ

→ モニターの設定を変更する (P93)

2 「宅外リモート接続設定」を選ぶ

3 「宅外リモート接続機能」を選ぶ



① 機器 ID

宅外リモート接続機能を使ってインターネット経由でパソコンやスマートフォンなどから操作するとき、機器を特定するための番号です。

4 「入」に設定する

お知らせ

- ・「接続状態：宅内ネット接続」と画面に表示されている場合は、宅外からは操作することができません。

詳細設定

ネットワーク上に見つかった機器を登録する

ネットワーク上に新しい機器が見つかった場合に、ホーム画面に「新しい機器が見つかりました」が表示されます。その場合、本機に機器の登録をすることができます。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「**新** 新しい機器が見つかりました」をタッチする



3 画面に表示されている2次元バーコードをスマートフォンなどで読み取り、接続対応機器一覧を確認する

- 接続対応機器以外を登録した場合の動作は保証の対象外となります。



4 「次へ」を選ぶ

5 登録したい機器をタッチする

- [**新**] が表示された機器を選んでください。



- [**未**] は未登録の機器です。登録する場合は、対応機器かどうかを確認してください。
- 登録を解除したい機器がある場合は、機器をタッチして画面の指示に従って解除してください。

スマートフォンで操作する

スマートフォンで機器を操作する

宅外ネットワークを利用する

スマートフォンで、宅外から照明やエアコンの消し忘れがないか確認したり、帰宅前にエアコンの電源を入れたりすることができます。設定するには、「CLUB Panasonic」のアカウントや「機器パスワード」が必要になります。

1 インターネットメニューにする

→ インターネットメニューを使う (P85)

2 「サービス設定」を選ぶ

3 「スマホから操作」を選ぶ

4 画面の指示に従って設定する

- ・「[宅外リモート接続機能](#)」(P100) が有効でない場合は、誘導画面が表示されます。「[宅外リモート接続機能を有効にする](#)」をタッチしてください。

お知らせ

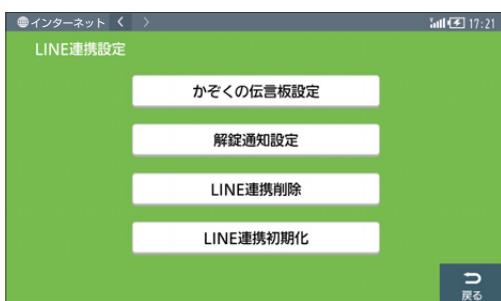
- ・ログイン後の URL をスマートフォンのブラウザに登録しておくと、次回利用するときに便利です。
- ・スマートフォンのブラウザに「<https://ekurashibox.panasonic.jp/remote/>」と入力し、宅外操作のサイトに接続することもできます。(2 回目以降のログイン時)

LINE 連携の設定をする

LINE 連携設定

「LINE でおうちと連携」機能をご利用時に、かぞくの伝言板の設定や解錠通知設定などを行うことができます。

- 1 インターネットメニューにする**
→ インターネットメニューを使う (P85)
- 2 「サービス設定」を選ぶ**
- 3 「LINE 連携設定」を選ぶ**
- 4 項目をタッチして、それぞれの項目を設定する**



- ・「[かぞくの伝言板設定](#)」(P117) では、「通知受信に関する動作設定」「伝言メッセージ消去」を設定できます。

最新ニュースの設定をする

最新ニュース録画設定（地上デジタル）

指定したチャンネルのニュースを自動で予約録画します。

- ・HDD に 10 倍録モードで録画します。
- ・はじめて設定する場合は、ホーム画面の「最新ニュース」をタッチして設定することもできます。

1 「ホーム」をタッチする

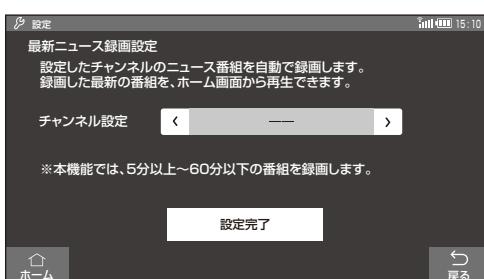
- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「設定」をタッチする

3 「テレビ機能設定」をタッチする

4 「最新ニュース録画設定」をタッチする

5 予約したいチャンネルを設定する



- ・予約しない場合は「---」を選んでください。

6 「設定完了」をタッチする

お知らせ

- ・自動で予約録画される番組は以下のようになります。
 - ・放送時間が 5 分以上で 60 分以下のニュース番組を予約録画します。
 - ・録画後 48 時間以上経過した録画番組は、自動で消去されます。
 - ・すでに予約している番組と時間が重なっている場合は、自動で予約されません。

通知エリアの設定をする

かぞくの伝言板設定

ホーム画面で表示されるかぞくの伝言板の設定を行います。

本機能を利用するには、インターネットに接続し、「LINE でおうちと連携」機能を有効にする必要があります。

準備操作

- ・インターネットへ接続しておく → ブロードバンドルーターを接続する (P240)
- ・LINE でおうちと連携する → LINE でおうちと連携する (P91)
- ・LINE 連携の設定をする → LINE 連携設定 (P115)

1 ホーム画面の「かぞくの伝言板」をタッチする



- ・「LINE でおうちと連携」を設定していない場合は、設定画面が表示されます。→ LINE でおうちと連携する (P91)
- ・設定済の場合は、表示された画面の「設定」ボタンをタッチしてください。

2 項目をタッチして、それぞれの項目を設定する



- ・通知受信時の動作を設定したい場合は、「通知受信に関する動作設定」をタッチしてください。
- ・メッセージを消去したい場合は、「伝言メッセージ消去」をタッチしてください。

通知エリアの設定をする

天気予報 / 安心アラート設定

ホーム画面で表示される天気情報の設定や安心アラートの設定を行います。天気情報の設定と安心アラートの設定は共通です。本機能を利用するには、インターネットに接続する必要があります。

準備操作

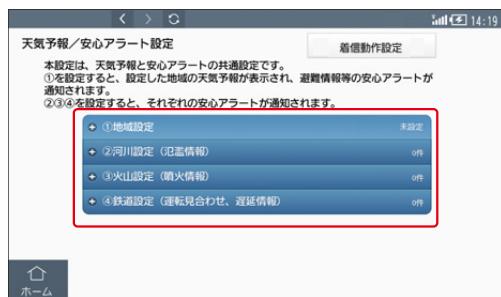
- ・インターネットへ接続しておく → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 ホーム画面の「安心アラート」または「天気情報」をタッチする



- ご利用規約の画面が表示された場合は、内容をよくご確認ください。
- 設定済の場合は、「安心アラート」をタッチして、表示された画面の「設定」ボタンをタッチしてください。

2 ①～④の項目をタッチして、それぞれの項目を設定する



- 情報の着信時の動作を設定したい場合は、「着信動作設定」ボタンをタッチしてください。

通知エリアの設定をする

ご案内の設定

ホーム画面で表示されるご案内の設定を行います。
情報が届いたときの通知方法を設定します。
本機能を利用するには、インターネットに接続する必要があります。

準備操作

- ・インターネットへ接続しておく → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 ホーム画面の「ご案内」をタッチする



- ご利用規約の画面が表示された場合は、内容をよくご確認ください。
- 設定済の場合は、表示された画面の「設定」ボタンをタッチしてください。

2 項目をタッチして、それぞれの項目を設定する



- 「詳細設定」から、ご案内機能を停止することができます。

通知エリアの設定をする

ゴミの日設定

ホーム画面で表示されるゴミの日の設定を行います。

設定すると、設定した日にホーム画面でゴミの日を通知します。

本機能を利用するには、インターネットに接続する必要があります。

準備操作

- ・インターネットへ接続しておく → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 ホーム画面の「ゴミの日」をタッチする



- ・ご利用規約の画面が表示された場合は、内容をよくご確認ください。
- ・設定済の場合は、表示された画面の「設定」ボタンをタッチしてください。

2 項目をタッチして、それぞれの項目を設定する



- ・「未設定」をタッチすると、ゴミの日の設定を追加できます。設定後は、それぞれの項目をタッチすると変更できます。
- ・情報の着信時の動作を設定したい場合は、「着信動作設定」ボタンをタッチしてください。

テレビと接続する

テレビと接続する

テレビに本体を接続すると、より便利な機能が利用できるようになります。

miniB-CAS（ミニビーキャス）カードを挿入する

デジタル放送の受信には、本体への miniB-CAS カード（付属）の常時挿入が必要です。miniB-CAS カードの挿入方法については準備編をご覧ください。本体に挿入されていない場合、デジタル放送の視聴・録画はできません。

- miniB-CAS カードの取り扱いについて詳しくは、カードが貼ってある台紙の説明をご覧ください。

テレビやアンテナと接続する

ご利用になる放送に従って、必要なアンテナ線と HDMI ケーブルを接続してください。

- すべての接続が終わったらあとは、必ず電源コードをつないでおいてください。
電源コードを抜いているとテレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

接続するご家庭のアンテナ端子に合わせて接続を行ってください。

- A. アンテナ端子が別々の場合 (P122)
 → B. アンテナ端子がひとつの場合 (P122)

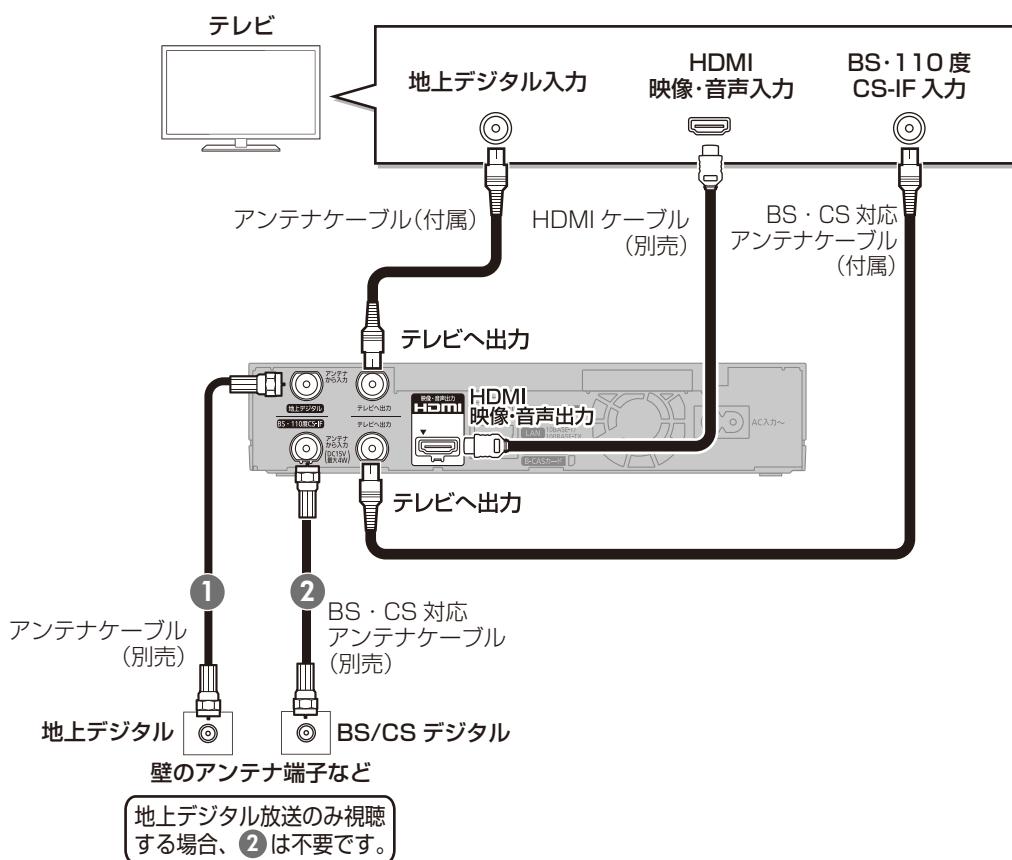
お知らせ

- アンテナ線を接続する場合は、アンテナプラグが外れないように F 型接栓をご使用になることをお勧めします。F 型接栓は、緩まない程度に手で締め付けてください。締め付けすぎると、本体内部が破損するおそれがあります。
- 分配器を使って本体とテレビに BS・110 度 CS デジタルハイビジョンアンテナを接続する場合は、アンテナに電源を供給するために全端子電流通過型の分配器を使用してください。
- 接続状態により、分波器や専用のブースターなど別売の部品や加工が必要になることがあります。接続のしかたがわからない、接続しても映らないなどの場合、販売店にご相談ください。
- HDMI ケーブルは、「ハイスピード HDMI ケーブル」をお買い求めください。HDMI 規格に準拠していないケーブルでは動作しません。当社製 HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- HDMI ケーブルが端子から外れないようにしっかり接続してください。

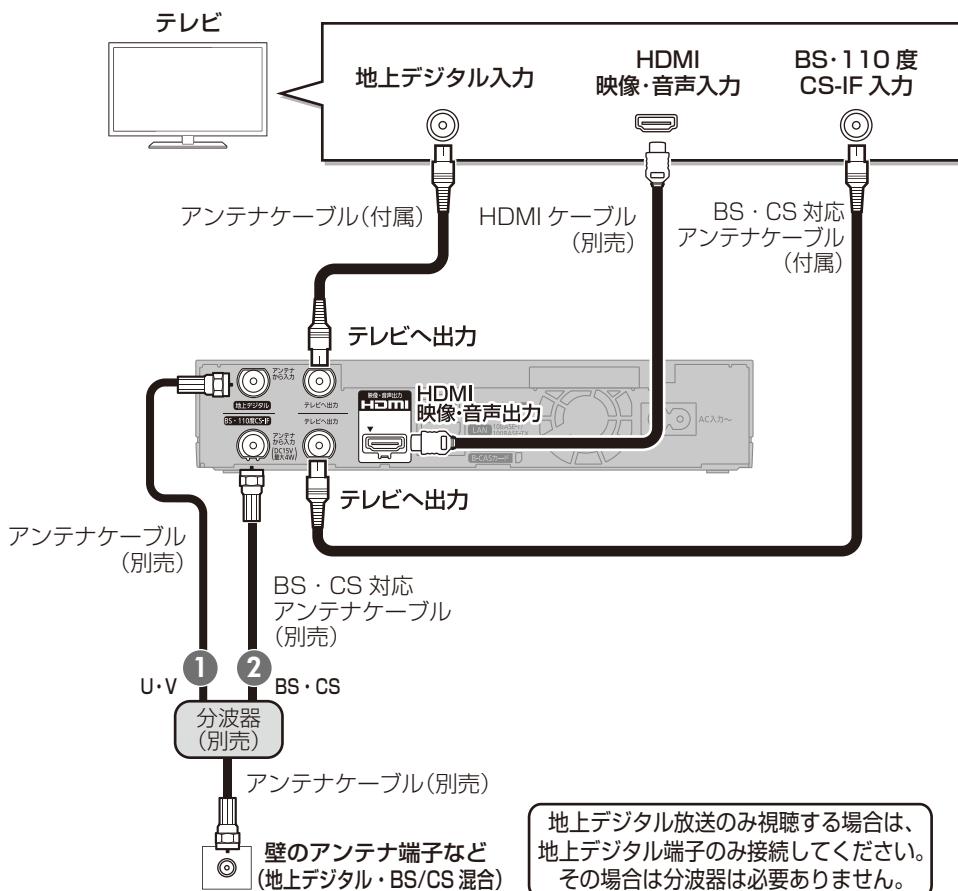
本機とテレビとの接続には、HDMI ケーブル（別売）が必要です。

本機はアナログ出力端子がありません。HDMI 端子のないテレビでは、ご利用になれません。

A. アンテナ端子が別々の場合

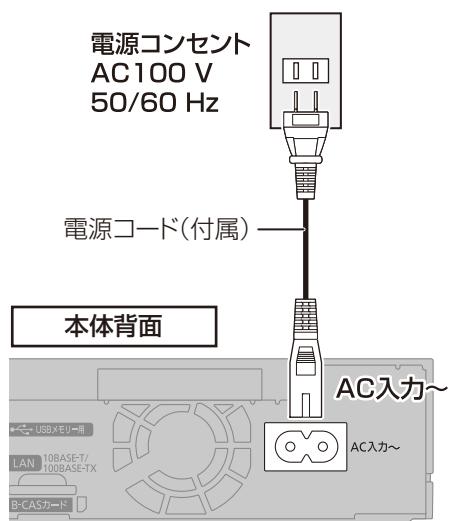


B. アンテナ端子がひとつの場合



電源コードと接続する

すべての接続が終わったあと、接続してください。



長期間使用しないとき

節電のため、電源コードを電源コンセントから抜いておくことをお勧めします。電源を切った状態でも、電力を消費しています。

詳しくは、「仕様」(P260) のページをご覧ください。

電源コードを抜いている場合

- 自動的に行われる番組表などの情報受信や時刻情報の取得はできません。
- テレビで放送の受信ができない、または映りが悪くなる場合があります。

操作の前に

モニターをリモコンとして使う

本体リモコン

テレビと接続して楽しむ場合、モニターの画面をリモコン表示に切り換えて、本体を操作します。

本体リモコンを利用するには、「[本体リモコン表示](#)」(P102) を「入」にする必要があります。

1 「ホーム」をタッチする

- 表示がない場合は、画面に触れると表示します。

2 「本体リモコン」をタッチする

3 ボタンをタッチして、本体を操作する



- 「戻る」をタッチすると、ホーム画面に戻ります。

お知らせ

- モニターの画面で本体を操作するときは、本体が見える位置から操作してください。

操作の前に

本体の映像を他のテレビに映す

- 1 他のテレビの電源を入れる
- 2 他のテレビのリモコンで、入力を HDMI に切り換える
- 3 本体リモコンの **電源** をタッチする
→ モニターをリモコンとして使う (P124)
 - ・本体の電源ランプが緑に点滅後、点灯します。



- ・テレビに映像が映っているか確認してください。

テレビに映像が表示されない場合

- ・テレビの入力を確認してください。
- ・接続を確認してください。

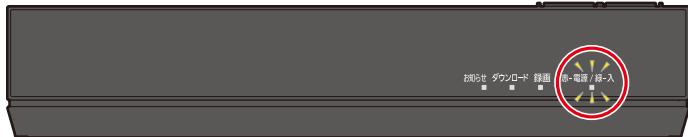
操作の前に

本体の電源を切る

本体リモコンの **電源** をタッチする

→ モニターをリモコンとして使う (P124)

- ・ 本体の電源ランプが赤に点滅後、点灯または消灯します。



ホーム画面について（本体）

ホーム画面から本体の機能を使う

1 本体リモコン（P124）の **ホーム** をタッチする

2 項目を選び、**決定** をタッチする



- ・「全機能から選ぶ」：すべての機能を一覧表示します。
- ・「設定する」：「初期設定」、「放送設定」、「ネットワーク通信設定」の設定ができます。
- ・「録画番組を見る」：録画した番組を表示します。
- ・「予約確認する」：予約した番組を表示します。

ホーム画面について（本体）

全機能から選ぶ

分類	機能
見る	<p>録画番組を見る ➔ 録画した番組を再生する (P169)</p> <p>最新録画番組を見る ➔ 最新録画番組 (P172)</p> <p>新番組おまかせ録画番組を見る 「新番組を自動で予約録画する（地上デジタル）（BS デジタル）」(P156) で録画した番組を視聴します。</p>
番組を探す・予約する	<p>予約する ➔ 番組表（G ガイド）を使って予約録画する (P139)</p> <p>予約確認する ➔ 予約内容の確認、取り消し、修正など (P161)</p> <p>カテゴリーまとめて検索 ➔ カテゴリーから探す (P154)</p> <p>新番組おまかせ録画 ➔ 新番組を自動で予約録画する（地上デジタル）（BS デジタル）(P156)</p> <p>放送局からのおすすめ（注目番組） ➔ 注目番組一覧から予約録画する (P150)</p> <p>ジャンル検索 ➔ ジャンル検索や人名、ワードで検索する (P158)</p> <p>お好み番組表 お好みチャンネルで登録された放送局のみを番組表に表示します。 ➔ お好みチャンネルから選局 (P134)</p>
ネットワーク機能を使う	<p>ディモーラからのおすすめ ディモーラのサービスに登録すると、おすすめ番組が配信されます。 ➔ ディモーラのサービスの登録について (P130)</p>

分類	機能
設定する・その他の機能	設定する 以下の設定ができます。 <ul style="list-style-type: none">初期設定 → 設定を変える（初期設定）（P223）放送設定 → 放送設定を変える（放送設定）（P212）ネットワーク通信設定（P232）
	メール／情報・診断コード <ul style="list-style-type: none">メール／情報 → いろいろな情報を見る（メール／情報）（P210）診断コード

ホーム画面について（本体）

ディモーラのサービスの登録について

ディモーラサービスに機器を登録すると、番組の予約録画などの無料機能をご利用になれます。シーン再生などの有料機能を利用するためには、CLUB Panasonic に会員登録が必要です。

ディモーラのサービスについては、下記ホームページをご覧ください。

テレビ番組情報ウェブサービス

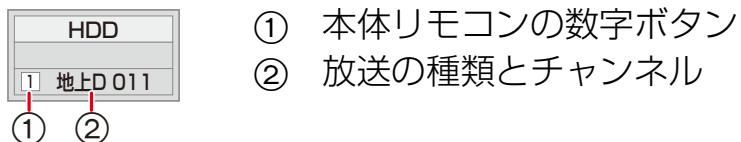
ディモーラ：<http://dimora.jp/>

テレビ放送を見る

選局してテレビ放送を見る

1 地上 BS CS をタッチする

2 1 @ ~ 12 改行 # または チャンネル をタッチして、チャンネルを選ぶ



音声の切り換え

音声 をタッチする

- タッチするごとに、番組の内容によって切り換わります。

例) マルチ音声放送

「ステレオ LR 日本語」 → 「ステレオ L 日本語」 → 「ステレオ R 日本語」 →

「ステレオ LR 英語」 → 「ステレオ L 英語」 → 「ステレオ R 英語」 →

「ステレオ LR 日本語」

お知らせ

- 録画中に放送やチャンネルを切り換えることはできません。

テレビ放送を見る

データ放送を見る

データ放送のある番組では、テレビ画面の指示に従ってさまざまな情報やサービスを利用できます。

- **データ放送は録画できません。**

録画が始まるとデータ画面が消えます。

- 情報サービスを利用するには、ネットワークの接続と設定が必要な場合があります。

ネットワークの接続と設定をする → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

1 データ放送のある番組を選局し、 をタッチする

2 見たい項目を選び、 をタッチする

- 画面の指示に従って、、、、 や数字ボタンで操作してください。

データ画面を消すには

 をタッチする

テレビ放送を見る

その他の選局方法

番組表から選局

- ① 番組表 をタッチする
- ② 放送中の番組を選び、決定 をタッチする

番組表の見方について
→ 番組表の見方 (P141)

別の放送の番組表を見るには

- 地上 BS CS をタッチする
- ③ 「今すぐ見る」を選び、決定 をタッチする

3桁チャンネル番号を入力して選局

- ① テレビ視聴中に、消去 3桁入力 をタッチする
- ② 1あ～10あ をタッチして、チャンネルを入力する
 例) 101 の場合 … 1あ → 10あ → 1あ
 • 画面が表示されている間に入力してください。

枝番号の異なる放送を選局するには

→ 枝番選局 (P136)

お好みチャンネルから選局

お好みチャンネルは、放送局のリストを表示し、そのリストの中から選局できる機能です。

① テレビ視聴中に、 をタッチする

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 をタッチしてください。

② 「お好みチャンネル」を選び、 をタッチする

③ 放送局を選び、 をタッチする

チャンネルの登録

① 登録したい放送局を視聴中に、 をタッチする

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 をタッチしてください。

② 「お好みチャンネル」を選び、 をタッチする

③ をタッチする

④ 「登録」を選び、 をタッチする

⑤ 「はい」を選び、 をタッチする

- ・リストの一番下に登録されます。(最大 48 チャンネル)

チャンネルの取り消し

① をタッチする

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度 をタッチしてください。

② 「お好みチャンネル」を選び、 をタッチする

③ 取り消す放送局を選び、 をタッチする

④ 「取消」を選び、 をタッチする

⑤ 「はい」を選び、 をタッチする

お知らせ

- ・お好みチャンネルで表示される順番を変更したい場合は、チャンネルをすべて取り消し、再度希望の順番で登録してください。
- ・かんたん設置設定や地上デジタルのチャンネル設定を行うと、地上デジタルの登録した内容は取り消されます。

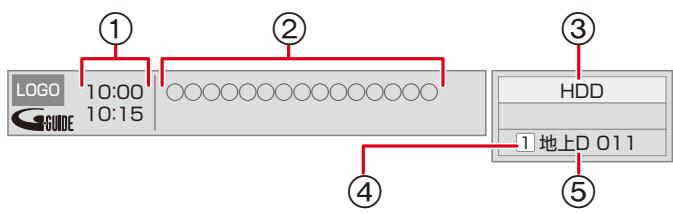
テレビ放送を見る

番組視聴中の便利な機能

見ている番組の情報を表示

画面表示 をタッチする

例



- ① 放送開始時刻と終了時刻
- ② 受信中の番組名
- ③ ドライブ判別表示
- ④ リモコンの数字ボタン
- ⑤ 放送の種類とチャンネル

表示を消すには

画面表示 を数回タッチする

音声を切り換える

音声 をタッチする

- ・ タッチするごとに、放送の内容によって切り換わります。

お知らせ

- ・ 録画中に切り換えても、記録される音声に影響はありません。

テレビ放送を見る

テレビ視聴中に放送内容などを設定する

1 テレビ視聴中に をタッチする

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度  をタッチしてください。

2 「デジタル放送メニュー」を選び、 をタッチする

3 設定項目を選び、 をタッチする

設定項目	内容
視聴制限一時解除	暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。 → 制限項目設定 (P215)
データ放送表示切	データ放送の表示を終了します。
信号切換	映像や音声などの信号を複数放送している場合は、以下の操作で切り換えることができます。 設定する項目を選び、設定する お知らせ <ul style="list-style-type: none"> 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。 <p>詳しくは → 録画モードについて (P168)</p>
アンテナレベル	アンテナレベルが確認できます。
枝番選局 (地上デジタル)	枝番号とは、同じチャンネル番号に割り当てられる放送が複数受信できた場合に、追加される番号のことです。(例:「011-0」、「011-1」) 3桁チャンネル番号を入力して選局すると主選局の放送局が選局されます。 以下の操作で、違う枝番号の放送局を選局することができます。 放送局を選び、 をタッチする 主選局を変更するには 主選局にしたい放送局を選び、  をタッチする

お知らせ

- ・視聴中の番組により表示される項目が変わります。

放送中の番組を録画する

放送中の番組を録画する

HDD

1 地上 BS CS をタッチする

2 1あ～12 改行 # または チャンネル をタッチして、チャンネルを選ぶ

3 録画モード をタッチして、録画モードを選ぶ

- ・タッチごとに、切り換わります。
- ・表示が消えると、選ばれた録画モードに切り換わります。
- ・ハイビジョン画質を選択時に サブメニュー をタッチすると、録画モードの倍率が変更できます。 → [録画モードと記録時間の倍率について \(P166\)](#)

4 ワンタッチ予約録画 をタッチする

- ・録画ランプが点灯します。

5 録画の終了方法を選び、 決定 をタッチする

お知らせ

- ・[録画モードと記録時間の目安 \(P261\)](#)
- ・[録画モードと記録時間の倍率について \(P166\)](#)
- ・予約録画が始まると、予約録画が優先され録画は終了します。
- ・長時間連続して録画すると、8時間ごとの番組に分割されます。
- ・デジタル放送の番組でも、従来のアナログ放送と同様の画質の番組があります。この番組は、ハイビジョン画質の録画モードを選んで録画しても、アナログ放送と同様の画質のままです。
- ・録画中の番組の録画モードを変えることはできません。

放送中の番組を録画する

録画中のいろいろな操作

録画を止める

① ■ 停止 をタッチする

② 「はい」を選んで、決定 をタッチする

一時停止する

■ 一時停止 をタッチする

- もう一度タッチする、または  をタッチすると録画を再開します。（番組は分割されません）
- 一時停止すると、その部分が再生時に一瞬静止画になる場合があります。

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

HDD

1 番組表 をタッチする

2 番組を選ぶ

別の放送の番組表を見るには

地上 BS CS をタッチする

現在の録画モードを変更するには

録画モード をタッチする

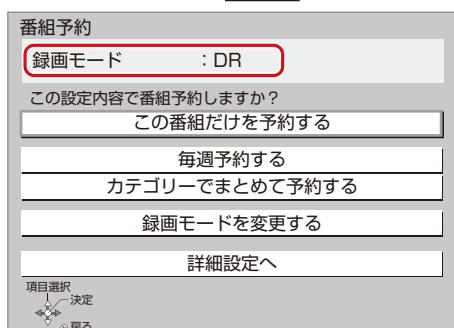
3 決定 をタッチする

- ・ 決定 の代わりに ワンタッチ予約録画 をタッチすると、現在の録画モードで簡単に予約を完了できます。（予 が表示されます）
手順 **4**～**5** の操作は不要です。

4 「番組予約へ」を選び、決定 をタッチする

- ・「関連情報」を選びと、選択している番組に関連した情報から番組を検索します。
→ 番組を検索して予約録画する（フリーワード検索）（P159）
- ・「番組詳細内容」の取得には時間がかかる場合があります。

5 項目を選び、決定 をタッチする



- ・ 予約内容を確認してください。

この番組だけを予約する

この番組のみ予約を登録

毎週予約する

毎週同じ曜日に予約を登録 → 録画の毎日・毎週予約 (P163)

カテゴリーでまとめて予約する

お好みの番組を自動で登録 → 関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約) (P153)

録画モードを変更する

録画モードを変更 (変更後、「この番組だけを予約する」または「毎週予約する」を選んで予約を登録してください)

詳細設定へ

予約する曜日の設定などの予約内容を変更 → 詳細設定をする (P146)

お知らせ

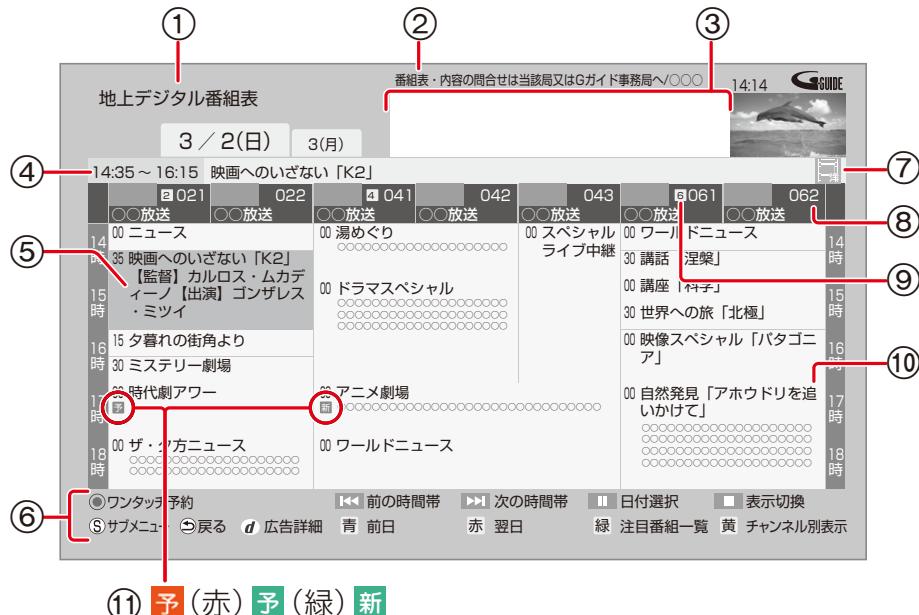
- 本機では 128 番組まで予約できます。(毎日・毎週予約は、1 番組として数えます)

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表の見方

番組表は、放送局から送られるテレビ番組情報を、新聞の番組欄のようにテレビ画面に表示するシステムです。

例) 全チャンネル表示



- ① 放送の種類
- ② 放送局からのお知らせ
- ③ パネル広告
- ④ 選択中の番組紹介
- ⑤ 選択中の番組
- ⑥ 本体リモコンのボタンの働き
- ⑦ 番組のジャンル
- ⑧ 放送局の 3 行チャンネル番号
- ⑨ 本体リモコンのチャンネルボタン番号
- ⑩ 短い番組表示
- 番組は青の線で表示されます。選ぶと、番組情報が表示されます。
- ⑪ 録画予約中の番組
- 画面に表示されるマークについて (P256)



⑪ 録画予約中の番組

→ 画面に表示されるマークについて (P256)

お知らせ

・番組表のデータ受信について

本機の番組表は、放送局から送られてくる番組表のデータと G ガイドから送られてくる番組表のデータを基に表示しています。それぞれの番組表のデータを受信するタイミングは異なります。

- ・放送局から送られてくる番組表のデータは、その放送局を視聴するとすぐに受信することができます。
- ・G ガイドから送られてくる番組表のデータは、電源「切」時に受信します。（時間帯によっては受信できるまでに 1 日程度かかる場合があります）
- ・番組表の受信時刻は、放送ごとに異なるため、一度にすべての放送の番組表が表示されないこともあります。

・番組の色分け表示について

番組データのジャンル情報に従って代表的な 5 つのジャンル（映画、スポーツ、音楽、ドラマ、アニメ / 特撮）を色分け表示しています。

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表の表示設定

放送の切り換え

地上 **BS** **CS** をタッチする

表示の切り換え

番組表の表示を変更することができます。

■ 停止 をタッチする

表示チャンネル数を変更するには

◀◀ スキップ **▶▶ スキップ** をタッチする

文字のサイズを変更するには

青 **赤** をタッチする

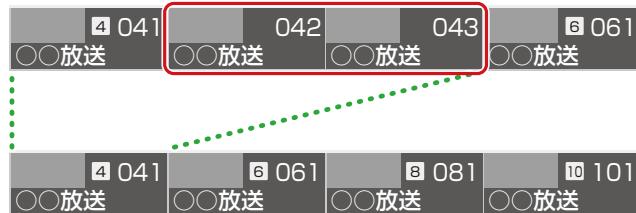
番組詳細の表示を切り換えるには

緑 をタッチする

サブチャンネル表示を切り換えるには

黄 をタッチする

例) 042、043 がサブチャンネルの場合



お知らせ

- ・サブチャンネルの表示切り換えを行うと、放送局によっては、チャンネル自体が表示されなくなる場合があります。

日付の切り替え（全チャンネル表示時のみ）

青 (前日) 赤 (翌日) をタッチする

以下の操作でも切り換えることができます。

① ■ 一時停止 をタッチする

② 日付を選び、決定 をタッチする

お知らせ

- 放送局からの番組情報を基に、通常は8日分の番組表を表示することができます。さらに、本体をインターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(P213)を「入」にすると、1ヶ月の番組情報を取得することができます。(2019年5月現在、1ヶ月の番組情報を取得できる放送局はWOWOW、スター・チャンネルのみです)

チャンネル別に表示

選んだチャンネルの番組表を日付別に一覧表示します。

① 表示したいチャンネルの番組を選ぶ

② 黄 をタッチする

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表の表示設定（その他の表示設定）

1 番組表表示中に  サブメニュー をタッチする

2 項目を選び、設定する

設定項目	内容
番組表の検索	フリーワードやジャンルなどから、番組を検索します。 → 番組を検索して予約録画する（フリーワード検索） (P159) → ジャンル検索や人名、ワードで検索する (P158)
放送切換	別の放送の番組表を表示します。 • お好み番組表は、「お好みチャンネル」で登録されている放送局が表示されます。 → お好みチャンネルから選局 (P134)
表示チャンネル数 ・全チャンネル表示時のみ	1画面に表示するチャンネル数を変更します。
表示日数切換 ・チャンネル別表示時のみ	1画面に表示する日数を変更します。
表示対象 ・全チャンネル表示時のみ	番組表で表示させる内容を変更します。 • 「設定チャンネル」は、チャンネル設定されている P01 ~ 36 までのチャンネルを表示します。 • 番組表の表示をやめると、設定は「すべて」に戻ります。
ジャンル別表示 ・全チャンネル表示時のみ	ドラマや映画、スポーツなどの見たいジャンルの番組だけを番組表上で明るく表示します。
視聴制限一時解除	暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。 → 制限項目設定 (P215)
番組データ取得	選択した局の番組情報を受信します。

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

詳細設定をする

「番組表（G ガイド）を使って予約録画する」（P139）の手順 5 などで「詳細設定へ」を選んだあとに操作します。

1 項目を選び、設定する

項目	内容
録画モード	録画モードを設定します。→ 録画モードについて（P168）
毎週予約設定	<p>「毎週予約」を設定する → 録画の毎日・毎週予約（P163）</p> <ul style="list-style-type: none"> 「自動更新」を「入」に設定すると、前回の番組を消去して録画するので、HDD 容量を効率よく録画できます。
イベントリレー	<p>「する」を選ぶと、野球延長などで延長部分が他のチャンネルで放送される場合、引き続き番組を録画します。（別番組として録画）</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎日・毎週予約を設定している場合は働きません。 他の予約と重複した場合、一方の番組が録画されないときがあります。
信号設定	<p>複数の音声や映像の信号があるときに設定します。</p> <p>① 項目を選び、設定する</p> <p>②  をタッチする</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 記録できる音声、映像、字幕情報は、録画モードによって異なります。詳しくは → 録画モードについて（P168） 選べる項目は、予約時点の番組情報に基づいています。実際に放送された番組が設定した項目を含んでいない場合、設定した内容では録画されません。
マイラベル設定	<p>録画する番組をどのマイラベルに分類させるか設定することができます。設定すると、録画一覧画面（P170） で番組を探すのに便利です。</p> <p>設定は録画後に変更することもできます。→ 分類ラベル設定（P174）</p> <p>ラベルを選び、 をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> 選択したラベルが録画一覧にない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。 マイラベル名は変更することができます。→ 分類ラベル設定（P174）

項目	内容
時間指定予約へ	録画時間や番組名などの変更をしたい場合に行います。 → 日時を指定して予約録画する（時間指定予約）（P152）

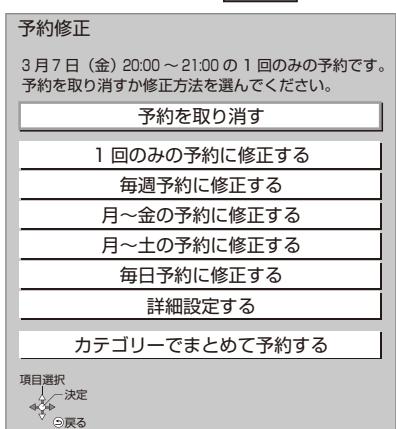
- 2 設定が終了したら、「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、をタッチする

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

番組表での予約の取り消し / 修正

1 予  が表示されている番組を選び、 をタッチする

2 項目を選び、 をタッチする



「詳細設定する」を選んだ場合

- ・「番組予約」のとき → 詳細設定をする (P146)
- ・「時間指定予約」のとき → 日時を指定して予約録画する (時間指定予約) (P152)

「カテゴリーでまとめて予約する」を選んだ場合

→ 関連する番組を自動で予約録画する (カテゴリーまとめて予約) (P153)

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

録画中の予約録画を止める

- 1 ■ 停止 をタッチする
- 2 「はい」を選び、決定 をタッチする
 - ・確認画面が表示されない場合は、本体の映像をテレビに映してください。
→ 本体の映像を他のテレビに映す（P125）

番組表（G ガイド）を使って予約録画する

注目番組一覧から予約録画する

放送局がお勧めする番組を一覧表示できます。

1 番組表表示中に **緑** をタッチする

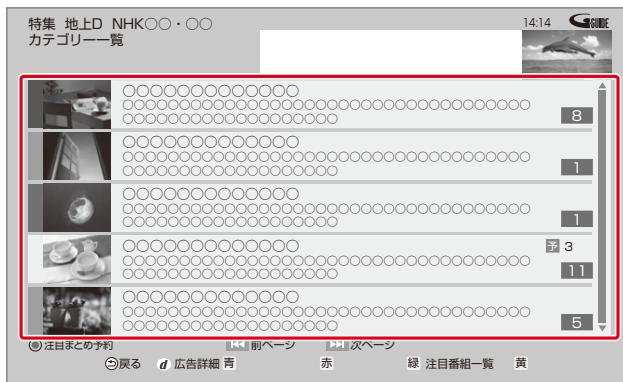
2 放送を選び、**決定** をタッチする

- 地上D、BS、CSの全チャンネルを選んだ場合、手順**4**へ進んでください。
- インターネットに接続し、「通信によるGガイド受信」(P213)を「入」に設定すると、放送局の注目番組一覧を表示します。



(2019年5月現在、注目番組の情報を取得できる放送局はNHK、WOWOW、スター・チャンネルのみです)

3 (注目番組の情報を取得できる放送局を選んだときのみ)
カテゴリーを選び、**決定** をタッチする



カテゴリー内の注目番組をまとめて予約するには

緑 をタッチする

- 予が表示され、予約は完了します。
- 録画された番組は、まとめ番組になります。

放送を変更するには

緑 をタッチする (手順**2**へ)

4 番組を選び、**決定** をタッチする

前後のページを見るには

 スキップ  スキップ をタッチする

他のカテゴリーを表示するには

 青  赤 をタッチする ( をタッチして、カテゴリーを選択することもできます)

放送を変更するには

 緑 をタッチする (手順 2 へ)

録画モードを変更するには

 録画モード をタッチして録画モードを選び、**決定** をタッチする

5 「番組予約へ」を選び、**決定** をタッチする

番組予約 → 「番組表 (G ガイド) を使って予約録画する」(P139) の手順 5

時間指定予約 → 「日時を指定して予約録画する (時間指定予約)」(P152) の手順 3

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

日時を指定して予約録画する（時間指定予約）

HDD

1  をタッチする

2  をタッチする

3 項目を選び、予約内容を設定する

項目	内容
録画日	日付を指定します。
毎週予約設定 (P146)	毎日・毎週予約を設定します。
放送種別 / チャンネル	録画する放送とチャンネルを設定します。
開始時刻 / 終了時刻	録画の開始時刻や終了時刻を設定します。 ・  または  を触れたままにすると 15 分単位で変更できます。
録画モード	録画モードを設定します。 → 録画モードについて (P168)
番組名入力	・ 文字入力について → 文字パネルから文字入力する (P207) ・ 入力しなくとも、番組表にある番組は、録画後に自動的に番組名が付きます。
マイラベル設定 (P146)	録画する番組をどのラベルに分類させるか設定します。

4 「予約を登録する」または「修正を反映する」を選び、 をタッチする

- ・画面右に  が表示されたときは、 をタッチして予約内容を確認してください。

お知らせ

- ・暗証番号に関する表示が出たとき
デジタル放送には、視聴制限のある番組があり、視聴・録画には暗証番号の入力が必要です。（→ [制限項目設定 \(P215\)](#)）視聴制限のない番組の場合は、 をタッチすると予約できます。
- ・日時が間違っている場合は、[日時設定 \(P224\)](#) を行ってください。
- ・番組追従機能 (P164) は働きません。

自動予約機能を使う

関連する番組を自動で予約録画する（カテゴリーまとめて予約）

お好みの番組に関連するカテゴリーの番組を毎日検索して自動で予約録画します。

- ・登録できる項目数は32個までです。
- ・自動で予約される番組数は128番組までです。
- ・**HDD**に予約します。

選択した番組から探す

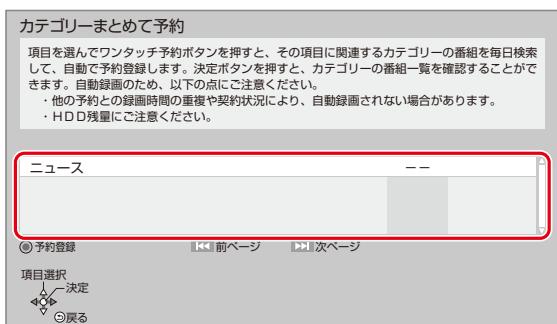
選択している番組に関連した項目から番組を自動で予約録画します。

1 番組予約画面表示中に、「カテゴリーでまとめて予約する」を選び、**決定**をタッチする

- ・番組予約画面 → 「番組表（Gガイド）を使って予約録画する」（P139）手順5
- ・選択している番組に関連するカテゴリーの番組の情報がない場合、選択できません。

2 表示されている項目を選び、**決定**をタッチする

- ・選択している番組に関連した項目が表示されます。



- ・録画モードを変更する場合は**録画モード**をタッチして、録画モードを選んでください。

3 「予約する」を選び、**決定**をタッチする

カテゴリーから探す

ドラマ、スポーツ、アニメなどの項目を選び、その項目に関連したカテゴリーの番組を自動で予約録画します。

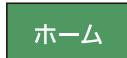
- 1 本体リモコン (P124) の  ホーム をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 決定 をタッチする
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、 決定 をタッチする
- 4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、 決定 をタッチする
- 5 「検索する」を選び、 決定 をタッチする
- 6 検索対象から項目を選び、 決定 をタッチする
- 7 項目を選び、 ワンタッチ予約録画 をタッチする

・録画モードを変更する場合は  録画モード をタッチして、録画モードを選んでください。

カテゴリーの番組一覧を表示する場合

手順 7 で  決定 をタッチする

カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し

- 1 本体リモコン (P124) の  ホーム をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 決定 をタッチする
- 3 「番組を探す・予約する」を選び、 決定 をタッチする
- 4 「カテゴリーまとめて検索」を選び、 決定 をタッチする
- 5 「登録した予約を確認する」を選び、 決定 をタッチする

予約済み番組を確認する

- 6 確認したい項目を選び、 決定 をタッチする
 - 予約番組を修正したい場合：
 - ①修正したい番組を選び、 ワンタッチ予約録画 をタッチする
 - ②項目を選び、 決定 をタッチする → 詳細設定をする (P146)
(予約番組を修正すると、カテゴリーまとめて予約の番組ではなくなります)

登録済みの項目を取り消す

- 6 登録した項目を選び、 ワンタッチ予約録画 をタッチする
- 7 「はい」を選び、 決定 をタッチする
 - すでに予約済みの予約は取り消されません。予約一覧で取り消してください。
→ 予約の取り消し (P161)

お知らせ

- 通常の番組や新番組と予約が重なった場合、カテゴリーまとめて予約は行われません。
- カテゴリーまとめて予約同士が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
 - ①開始時刻の早い番組を優先
 - ②開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
 - ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- 契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

自動予約機能を使う

新番組を自動で予約録画する（地上デジタル）（BS デジタル）

番組名に、**新**、<新>、<新番組>、<新シリーズ>が含まれるドラマまたはアニメを最大16番組まで自動で予約することができます。

- ・「夜ドラマ」は18時～23時59分の間に開始時刻が含まれるドラマが対象になります。
- ・**HDD**に5倍録モードで予約します。

1 本体リモコン (P124) の  をタッチする

2 「全機能から選ぶ」を選び、 をタッチする

3 「番組を探す・予約する」を選び、 をタッチする

4 「新番組おまかせ録画」を選び、 をタッチする

5 設定したい項目を選び、「入」にする



予約された新番組の確認

予約確認  をタッチする

- ・自動で予約された新番組の右に  が表示されます。

予約内容を修正するには

→ 予約内容の確認、取り消し、修正など (P161)

- ・「修正」を選び、「設定変更」画面を表示すると、通常の番組予約になります。
- ・新番組を毎日・毎週予約したい場合も予約内容の修正が必要です。

お知らせ

- ・「新番組おまかせ録画」で録画された番組を再生し、停止すると、次回予約の画面が表示されます。画面の指示に従ってください。
- ・新番組でも、受信した番組データによっては正しく予約できない場合があります。
- ・通常の番組やカテゴリーまとめて予約と予約が重なった場合、新番組の予約は行われません。
- ・新番組同士の予約が重なった場合、以下の優先順位で予約します。
 - ①開始時刻の早い番組を優先
 - ②開始時刻が同じときは、地上デジタルと BS デジタルでは、地上デジタル放送の番組を優先
 - ③放送波が同じときは、チャンネル番号の小さい番組を優先
- ・契約が必要なチャンネルの番組は、契約していない場合、自動登録されません。

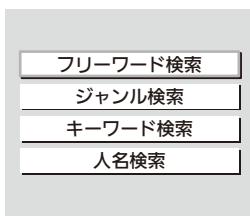
検索機能を使う

ジャンル検索や人名、ワードで検索する

1 番組表表示中に  サブメニュー をタッチする

2 「番組表の検索」を選び、 決定 をタッチする

3 検索方法を選び、 決定 をタッチする



- ・フリーワード検索 → 番組を検索して予約録画する（フリーワード検索）（P159）

4 検索条件を選び、 決定 をタッチする

- ・この操作を繰り返し、検索条件を絞り込みます。

放送ごとに表示するには

 地上  BS  CS をタッチする

別の日の検索結果を表示するには

 青 （前日）  赤 （翌日） をタッチする

（検索結果画面表示中に、 一日停止 をタッチして日付を選択することもできます）

5 番組を選び、 決定 をタッチする

6 「番組予約へ」を選び、 決定 をタッチする

→ 「番組表（G ガイド）を使って予約録画する」（P139）の手順 5 へ

検索機能を使う

番組を検索して予約録画する（フリーワード検索）

「フリーワード」「ジャンル」「出演者」の検索条件（5件まで）を登録し、1つでも条件を満たす番組を検索することができます。

- 1 番組表表示中に  をタッチする
- 2 「番組表の検索」を選び、 をタッチする
- 3 「フリーワード検索」を選び、 をタッチする
- 4  をタッチする
- 5 検索方法を選び、 をタッチする

- ・「フリーワード」は、文字入力を行い、登録してください。→ 文字パネルから文字入力する（P207）

上記手順 4～5 を繰り返し、検索したい条件を追加してください。

登録したフリーワードを変更するには

- ① 検索条件を選び、 をタッチする
- ② 「フリーワード編集」を選び、 をタッチする
- ③ 文字を入力する → 文字パネルから文字入力する（P207）

登録した検索条件を削除するには

- ① 検索条件を選び、 をタッチする
- ② 「はい」を選び、 をタッチする

検索する

- 4 必要な場合は、検索する放送種別を変更する
 - ①  をタッチする
 - ② 検索したい放送を「入」に設定し、 をタッチする

5

青 をタッチする

別の日の検索結果を表示するには

青 (前日) 赤 (翌日) をタッチする

(検索結果画面表示中に、 をタッチして日付を選択することもできます)

6

番組を選び、決定 をタッチする

7 「番組予約へ」を選び、決定 をタッチする

→ 「番組表 (G ガイド) を使って予約録画する」(P139) の手順 **5** へ

お知らせ

- ・検索結果は、放送データの取得状況によって変わりますので、キーワードなどの検索条件が一致していても検索できない場合があります。
- ・「フリーワード検索」で英数の文字入力をした場合、半角で登録されますが、検索は半角文字と全角文字を区別せずにいます。

予約内容の確認、取り消し、修正など

予約内容の確認、取り消し、修正など

①  をタッチする

② 番組を選び、以下の操作を行う

- ・番組の横に予約状況がマークで表示されます。
 - ・ が表示されたときは、予約内容を確認してください。
 - ・表示マークについて → [予約一覧 \(P257\)](#)
- ・実行されなかった予約は、翌々日の午前4時には一覧から消去されます。(消去された予約は「履歴一覧の表示」で確認できます → [履歴一覧の表示 \(P162\)](#))
- ・ をタッチして「カテゴリーまとめて予約一覧」を選ぶと、カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消しができます。→ [カテゴリーまとめて予約の確認、修正、登録の取り消し \(P155\)](#) 手順 5

予約の取り消し

①  をタッチする

② 「はい」を選び、 をタッチする

- ・「探して毎回予約」の場合、テレビ側の予約も取り消してください。

予約内容の修正

①  をタッチする

② 「修正」を選び、 をタッチする

- ・「番組予約」のとき → [詳細設定をする \(P146\)](#)
- ・「時間指定予約」のとき → [日時を指定して予約録画する \(時間指定予約\) \(P152\)](#)

毎日・毎週予約の予約状況を確認

予約の重複などを確認できます。

①  をタッチする

② 「毎週一覧」を選び、 をタッチする

- ・予約の「重複」がある場合に  をタッチすると、「予約重複確認」画面を表示します。
予約の修正をしてください → [予約番組が重なっているとき \(P165\)](#)

予約の実行を止める（一時解除）

①  をタッチする

② 「予約実行切」を選び、 をタッチする

- ・予約内容に  が表示されます。
- ・ をタッチして「予約実行入」を選ぶと、待機状態に戻ります。

視聴制限の一時解除

暗証番号を入力して視聴制限を一時解除します。→ 制限項目設定 (P215)

①  をタッチする

② 「視聴制限一時解除」を選び、 をタッチする

③  ～  で暗証番号を入力する

履歴一覧の表示

①  をタッチする

② 「履歴一覧表示」を選び、 をタッチする

- ・履歴を選択して削除することができます。

履歴の削除

「一部未実行」の番組などの履歴を削除します。

①  をタッチする

② 「履歴削除」を選び、 をタッチする

③ 「はい」を選び、 をタッチする

- ・予約一覧で削除した場合でも、履歴一覧での履歴は残っています。

予約録画の便利な機能

予約録画の便利な機能

録画の毎日・毎週予約

連続ドラマを毎日・毎週予約すると自動的に毎日または毎週録画し、毎回の放送を録りためていきます。

- 連続ドラマが終了するなど不要になった予約は取り消してください。
→ [予約の取り消し \(P161\)](#)

まとめ表示について

連続ドラマなどを毎日・毎週予約した番組は、録画一覧画面でまとめて表示（）されます。

→ [まとめ番組について \(P176\)](#)

（「自動更新」を「入」にして録画した場合は除く）

前回の番組を消去して録画するには（自動更新）

「自動更新」を設定しておくと、前回の放送分は消去されますので、HDDの容量を効率よく使えます。

→ [毎週予約設定 \(P146\)](#)

- 未視聴の場合でも自動更新されます。
- 番組にプロテクトを設定している場合や、録画一覧表示中、HDDの番組を再生中は自動更新されません。（別番組として録画され、次回からそれが自動更新されます）

番組追従機能

野球中継などの番組延長に対応

予約後に放送時間が変わっても、録画時間を自動的に変更します。(3時間までの変更に対応)



- 予約した番組が放送局側の都合により放送されなかつた場合、予約録画は実行されません。

毎日・毎週予約した番組の時間変更に対応

(開始 / 終了時刻の3時間までの変更に対応)

- 番組表の更新を基に働くため、更新状態(番組名の変更など)によっては正しく働くことがあります。この場合は、最初の予約内容のまま登録します。

番組追従機能を無効にするには

時間指定予約で予約を行ってください。→ **日時を指定して予約録画する (時間指定予約) (P152)**

お知らせ

- 番組追従機能によって予約の重複が起こった場合は、変更後の録画時間で録画の優先順位を決定します。開始時刻の早い番組が実行され、遅い番組の重複している部分は録画されません。
- 番組追従機能は当社独自の機能です。Gガイド固有の機能ではありません。

録画 / 予約録画に関するお知らせ

録画 / 予約録画に関するお知らせ

予約録画待機中の録画

予約録画の開始時刻になると予約録画が始まり、録画は終了します。

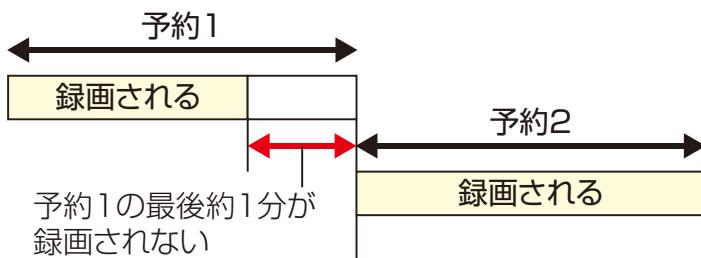
予約時の電源の切 / 入について

電源の切 / 入にかかわらず、予約録画は始まります。

予約録画中に電源を切ることはできます。(録画に影響はありません)

前の予約の終了時刻と次の予約の開始時刻が同じ場合

前の予約の終わりの約 1 分が録画されません。



- 前の予約の録画終了時刻に近づくと、視聴中のチャンネルが次の予約のチャンネルに切り換わる場合があります。

予約番組が重なっているとき

予約が重なって、録画が正しく行われない場合、確認画面が表示されます。

画面の指示に従って、予約の重複を修正することをお勧めします。

- 予約重複確認画面で、**重複** が付いた予約は、一部またはすべてが録画できません。

予約を選び、**決定** をタッチすると、予約の修正ができます。

- 予約一覧画面で、**重複** が付いた番組は、一部またはすべてが録画できません。 → [予約内容の確認、取り消し、修正など \(P161\)](#)

開始時刻の早い番組を優先して録画します。録画が終わりしだい、次の番組が途中から録画されます。

開始時刻が同じ場合、あとから予約した番組を優先して録画します。

再放送の録画について

「カテゴリーまとめて予約」では、同じ番組を二度録画するのを防ぐために、番組名に「第2話」や「#2」などの話数を含む番組（連続ドラマやアニメなど）を録画したことがある場合、その再放送は約 180 日間録画予約しません。

(ただし、途中で録画を中断した番組の再放送は録画予約します)

- 一度録画した番組の再放送も録画予約するには、「再放送の録画」(P226) を「録画する」に変更してください。

画質と記録時間について

スポーツ、音楽ライブ番組など、動きや明るさの変化が激しい番組を長時間の録画モード（4倍録～15倍録）で録画する場合、ブロック状のノイズが目立つことがあります。この場合、DR や 1.5 倍録など高画質の録画モードをお使いになることをお勧めします。

DR モード切り換えについて

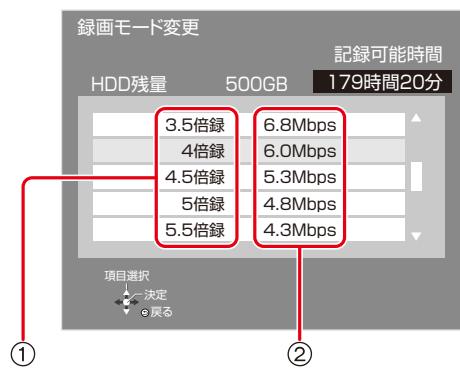
1.5～15倍録モードでの録画中に再生などを行うと、「再生を開始します。ハイビジョン画質で録画中の番組を DR モードに切り換え、録画を継続します。」といったメッセージが表示される場合があります。その場合は、いったん DR モードで録画したあと、電源「切」時に設定した録画モードに変換します。（電源「切」時に予約録画など動作中の場合、動作終了後に変換を行います）

→ 変換が終了しているか確認するには (P192)

お知らせ

- ・変換が終了していない番組をモニターで再生する場合、再生が開始するまでに時間がかかるときがあります。

録画モードと記録時間の倍率について



① 記録時間の倍率

② 情報量 (ビットレート) *

* 数値が大きいほど画質は良くなります。

ハイビジョン画質の倍率や情報量は、ハイビジョン映像 (24 Mbps) を DR モードで録画した場合との比較を表しています。

→ 録画モードと記録時間の目安 (P261)

デジタル放送の録画の回数制限について

デジタル放送のほとんどの番組には、不正なダビングを防止し著作権を保護するため、「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限があります。

コピー制限について

コピー制限のある番組を録画すると、 または  を表示します。 ~  はダビングの残り可能回数を表します。

コピー制御の仕組みに関する一般的な内容については、下記ホームページをご覧ください。

一般社団法人放送サービス高度化推進協会

<https://www.apab.or.jp>

480i 映像の記録アスペクト

記録アスペクト設定 (P226) に従って記録します。

- DR モードで記録する場合は、この設定は働きません。
- ハイビジョン画質の 16:9 映像は「4:3」にしても、16:9 映像として記録されます。

録画モードについて

録画モードについて

録画モード	DR	1.5～15倍録
画質	放送画質 放送そのままの画質で記録	ハイビジョン画質 放送データを圧縮※1して、ハイビジョン画質で長時間記録
	—	高画質  長時間
記録できる放送	地上・BS・CS デジタル放送	
サラウンドの音声	サラウンド音声	
複数の音声（マルチ音声）	複数の音声をすべて記録	音声は2つ記録※2※3
複数の映像	複数の映像をすべて記録	映像は1つだけ記録※2
字幕情報	字幕の入／切情報を含めて記録 (再生時、字幕表示の入／切ができる)	

※1 映像圧縮方式：MPEG-4 AVC/H.264

※2 記録したい映像や音声などの内容を選びたい場合、記録前に下記の設定をしてください。

- ・録画時：[信号切換 \(P136\)](#) で選ぶ
- ・予約録画時：[信号設定 \(P146\)](#) で選ぶ

※3 15倍録モードの場合、音声の種類によっては録画できる時間が短くなることがあります。

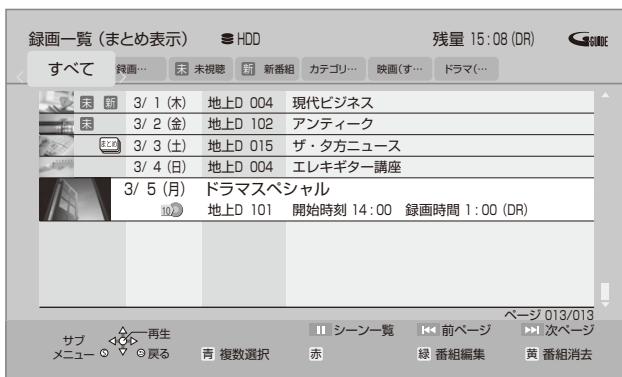
再生する

録画した番組を再生する

HDD

1 録画一覧 をタッチする

2 番組を選び、決定 をタッチする



- 番組を選んで、**決定** をタッチすると、 番組内の番組を表示できます。

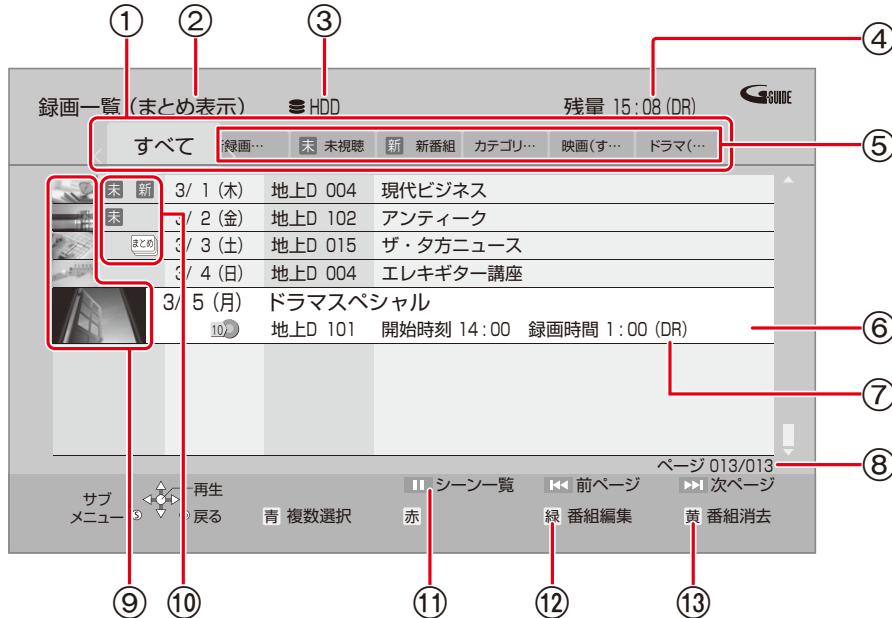
お知らせ

- 表示マークについて → **録画一覧** (P259)
- 録画中番組の再生について
 - 録画中の番組を再生できます。(追っかけ再生)
 - 録画中に録画済みの番組を再生できます。(同時録画再生)

再生する

録画一覧画面

HDD



① ラベル

をタッチすると、ラベルを切り換えることができます。

② 表示状態

表示を変えるには → 全番組表示へ (P174)

③ 選択中のメディア

④ 残量 / 録画モード

変更するには

→ 放送中の番組を録画する (P137)

手順 3

⑤ 表示変更ができるラベル

→ 分類ラベル設定 (P174)

⑥ 選択中の番組

⑦ 録画番組の録画モード

「○○→○○」が表示中は、録画モード変換が終了していません。→ 変換が終了しているか確認するには (P192)

⑧ ページ数

をタッチすると、前後のページに表示を切り換えることができます。

タッチしたままにすると、素早く切り換わります。

⑨ サムネイル

録画後すぐは「録画済」と表示（画像は電源「切」時に作成されます）

- ・ サムネイルを変更する (P189) ことができます。

⑩ 表示マーク

→ 録画一覧 (P259)

⑪ シーン一覧

→ 見たいシーンから再生する（シーン一覧）(P175)

⑫ 番組編集

→ 番組を編集する (P184)

⑬ 番組消去

→ 番組を消去する (P197)

お知らせ

- ・録画一覧に表示される DR モードの残量は、BS デジタル放送を 24 Mbps で録画したものとして計算されています。
→ [録画モードと記録時間の目安 \(P261\)](#)
- ・録画一覧は、録画した日付順に表示されます。

再生する

ラベルの分類について

HDDに録画した番組は、番組の内容によって本機があらかじめ設定しているラベルに自動的に分類されます。

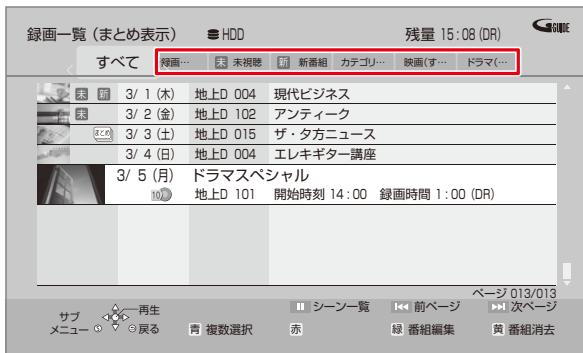
HDD	すべて	すべての番組
	最新録画番組	<p>最新の録画番組から順に18番組まで表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 表示は全番組表示になります。 再生中に録画が開始されると、録画一覧上の選択中の番組は変更されます。番組を消去するときはお気をつけください。
	未 未視聴	<p>録画してまだ見ていない番組</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生後は、「未 未視聴」から除外されます。
	新 新番組	<p>新番組おまかせ録画で録画された番組 → 新番組を自動で予約録画する（地上デジタル）（BS デジタル）（P156）</p> <ul style="list-style-type: none"> 再生後に表示される予約画面で「予約する」の操作を行うと、「新 新番組」から除外されます。
	カテゴリーまとめて番組	<p>カテゴリーまとめて予約で録画された番組 → 関連する番組を自動で予約録画する（カテゴリーまとめて予約）（P153）</p>
	ドラマ、映画などの「ジャンル」	<p>録画した番組の番組情報を基に、そのジャンルに該当する番組のみを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 番組によっては、正しく分類されない場合があります。
	マイラベル	<p>「マイラベル設定」（P146）で設定した番組のみを表示します。</p> <ul style="list-style-type: none"> マイラベルは6個準備されています。新たに追加することはできません。 マイラベル名は変更することができます。 → 分類ラベル設定（P174）

再生する

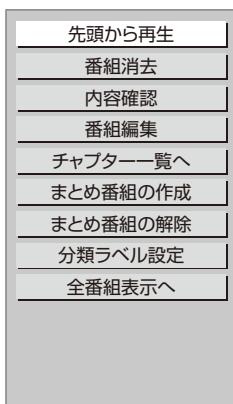
録画一覧上での便利な機能

1 録画一覧画面上で、番組を選び、 をタッチする

- 「分類ラベル設定」を行うときは、変更したいラベルを選んでから  をタッチしてください。



2 項目を選び、 をタッチする



項目	内容
先頭から再生	番組を最初から再生します。
番組消去	番組を消去します。 「消去」を選び、  をタッチする
内容確認	番組の内容が確認できます。
番組編集	→ 番組を編集する (P184)
チャプター一覧へ	→ チャプターを再生・編集する (P195)
まとめ番組の作成 まとめ番組の解除	→ まとめ番組の編集 (P177)

項目	内容
分類ラベル設定	<p>録画一覧に表示するラベルを変更します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すべて」ラベルは変更できません。 <p>表示させたいラベルを選び、決定 をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ジャンル」を選んだ場合は、この操作を繰り返します。 ・「マイラベル」は、以下の操作でラベル名を変更できます。 <p>① 設定するマイラベルを選び、決定 をタッチする</p> <p>② 「名称変更」を選び、決定 をタッチする (ラベル名を変更しない場合は、「確定」を選んでください)</p> <p>③ ラベル名を入力する → 文字パネルから文字入力する (P207)</p>
全番組表示へ まとめ表示へ	表示を切り替えます。

再生する

見たいシーンから再生する（シーン一覧）

HDD

無線ブロードバンドルーターと接続すると、録画した番組のシーン一覧を表示することができます。シーン一覧では、録画した番組の流れを確認することができます。ディモーラのサービスに登録すると、見たいシーンから再生を始めることができます。

→ ディモーラのサービスの登録について (P130)

1 録画一覧画面上で、番組を選び、 をタッチする

- ・シーン一覧が表示されます。

2 ディモーラ会員登録している場合は、見たいシーンを選び、 をタッチする

- ・選んだシーンから再生が始まります。

見どころ一覧を表示するには

上記手順 1 のあと、 をタッチする

見どころ一覧で、項目を選び、 をタッチすると、その場面の再生が始まります。

お知らせ

- ・シーン一覧は、地上デジタル放送の一部の番組のみ対応しています。(2019年5月現在)

また、シーン情報は、放送後一定期間保存していますが、保存期間が過ぎるとシーン再生はできなくなります。

詳しくは、ディモーラのホームページをご覧ください。

<http://dimora.jp/>

- ・以下の番組ではシーン一覧は表示できません。
 - ・番組結合した番組
 - ・シーン情報のない番組
- ・番組内容とは異なるシーン情報が表示される場合があります。

再生する

まとめ番組について

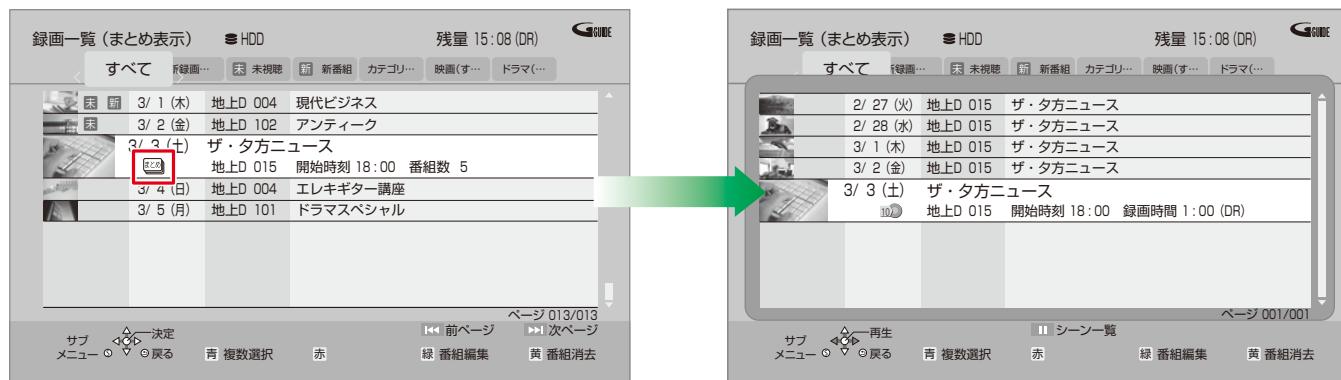
HDD

毎日・毎週予約や、カテゴリーまとめて予約で録画した番組は、録画一覧画面で  番組として表示されます。

-  番組の録画一覧での表示は、 番組内で最後に録画や記録された番組の日付で表示されます。

 番組を選び、**決定** をタッチすると、 番組内の番組を一覧表示します。

- 一覧表示で番組を選んで **決定** をタッチすると、選択した番組を再生します。



- ニュース録画機能で録画した番組は、録画一覧では  番組として表示されます。

まとめ番組内の番組を連続して再生する（まとめ再生）

 番組を選び、**▶ 再生
1.3倍速** をタッチする

まとめ番組の番組名について

「まとめ表示」での番組名は、 番組内の最後に録画された番組の番組名が付きます。

→ 番組名編集 (P184)

-  番組名を変更しても番組内の各番組の名前は変わりません。

まとめ番組の編集

① 番組を選び、 をタッチする

- ・ が表示されます。この操作を繰り返し、番組を選びます。

② すべて選んだあと、 をタッチする

③ 項目を選び、 をタッチする

項目	内容
まとめ番組の作成	選んだ番組を1つにまとめます。
まとめ番組の解除	まとまりを解除します。
まとめ番組から除外	選んだ番組を、  番組から外します。(まとめ番組一覧表示のとき)

再生する

再生中のいろいろな操作

停止

 停止 をタッチする

続き再生メモリー機能

止めた位置を一時的に記憶するため、次回再生時に止めた位置から再生します。

- **HDD** 番組ごとに止めた位置を記憶します。

一時停止

 一時停止 をタッチする

- もう一度タッチする、または  再生 をタッチすると、再生を再開します。

早送り / 早戻し (サーチ)

 早戻し/スロー または  スロー/早送り をタッチする

タッチするごとに、または触れたままにすると速度が速くなります。(5段階)

-  再生 をタッチすると、通常再生に戻ります。
- 早送り 1速時ののみ音声が出ます。

スキップ

再生中または一時停止中に  スキップ または  スキップ をタッチする

タッチした回数だけ番組や場面を飛び越します。

- チャプターマークがある場合は、その場面に飛びます。→ **チャプターとは** (P193)

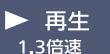
30秒先へ飛び越す

 30秒送り をタッチする

10秒前へ戻す

 10秒戻し をタッチする

早見再生（1.3倍速）

 1.3倍速 を約1秒以上触れたままにする

- もう一度  1.3倍速 をタッチすると、通常再生に戻ります。

スロー再生

一時停止中に、 または  をタッチする

タッチするごとに、または触れたままにすると速度が速くなります。（5段階）

-  1.3倍速 をタッチすると、通常再生に戻ります。

コマ送り / コマ戻し

一時停止中に、  (左または右) をタッチする

タッチするごとに1コマずつ送り（戻し）します。

- 触れたままにすると、連続してコマ送り（戻し）します。
-  1.3倍速 をタッチすると、通常再生に戻ります。

音声の切り換え

 音声 をタッチする

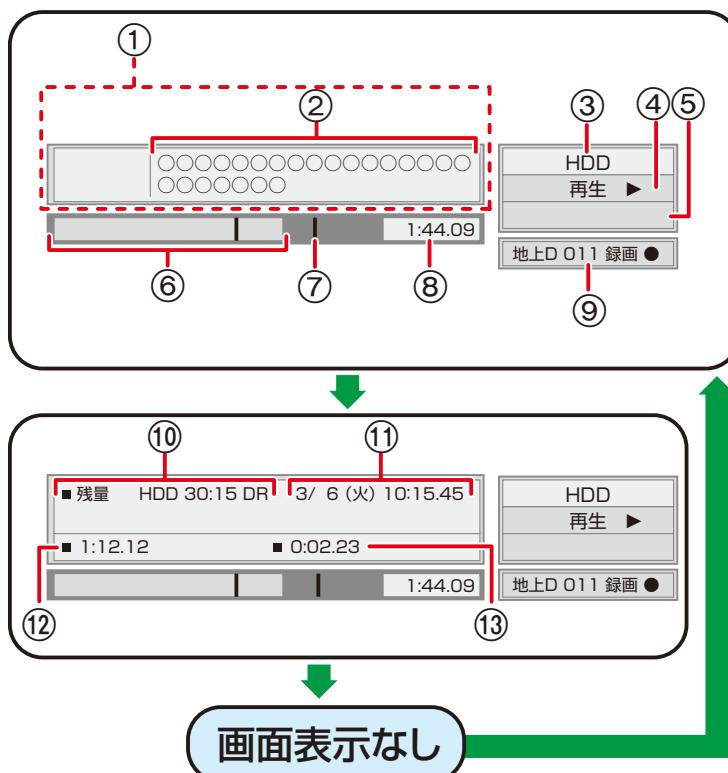
表示された再生設定画面で、音声を切り換えることができます。→ 基本設定（P181）

操作の状態の表示

画面表示 をタッチする

- タッチするごとに切り換わります。

例) **HDD**



- ① 約 5 秒間表示
- ② 再生中の番組名
- ③ ドライブ判別表示
- ④ 動作状態など
- ⑤ 番組キープ (P205) 中は「番組キープ ●」と表示
- ⑥ 現在の再生位置
- ⑦ チャプターマーク位置
- ⑧ 総再生時間
- ⑨ 裏で録画中のときに表示
- ⑩ 残量の目安 (例: **HDD** 30 時間 15 分) と現在の録画モード
- ⑪ 日付と現在時刻
- ⑫ 再生中の経過時間
- ⑬ 録画中の経過時間

残量表示は記録可能なおおよその時間を表示しています。

お知らせ

- 再生状態（停止中など）によっては、一部できない操作があります。

再生する

信号切換や再生方法の設定などをする

1 再生中に、 をタッチする

- ・サブメニュー画面が表示されない場合、もう一度  をタッチしてください。

2 「再生設定」を選び、 をタッチする

3 メニューを選び、 をタッチする

4 設定項目を選び、 をタッチする

- ・再生する番組などにより設定項目は異なります。

5 設定を変更する

お知らせ

- ・映像や音声によっては、効果が得られない場合や適切に動作しない場合があります。

基本設定

音声情報

音声属性を表示します。

信号切換

DR モードまたは 1.5 ~ 15 倍録モードの番組は音声などを切り換えます。「字幕」「字幕言語」の設定内容はデジタル放送の視聴時にも適用されます。

- ▶マルチビュー
- ▶映像
- ▶音声
- ▶二重音声
- ▶字幕
- ▶字幕言語

リピート

繰り返し再生の方法を選びます。

- ▶チャプター
- ▶番組

画質設定

設定した内容は保持されます。

映像素材

再生時の画質を選びます。

- ▶ 標準
- ▶ シネマ
- ▶ アニメ

輝度調整

- ▶ 明るさ
- ▶ 黒レベル
- ▶ 白階調
- ▶ 黒階調

色調整

- ▶ 色の濃さ
- ▶ 色あい

解像感調整

映像の鮮明さを調整します。

数値が大きいほうが、より鮮明になります。

- ▶ 解像感
- ▶ 輪郭補正

ノイズ低減

動画に発生する不要なノイズを補正します。

数値が大きいほうが、より低減されます。

- ▶ ブロックノイズ低減
- ▶ ランダムノイズ低減
- ▶ モスキートノイズ低減

プログレッシブ処理

プログレッシブ映像の最適な出力方法を選びます。

- ・「Auto」でぶれが生じるときは、「Video」にしてください。

- ▶ Auto
- ▶ Video

画質設定を標準に戻す

音声詳細設定

設定した内容は保持されます。

音質効果

▶切

▶ナイトサラウンド*

夜間など音量を絞った状態でも大音量の音声や小音量の音声などを自動的に調整して、聞き取りやすいサラウンド音声を楽しめます。

▶リ・マスター（弱 / 標準 / 強）*

デジタル放送や記録時の音声圧縮処理によって欠落した音声信号の高音域成分を復元し、より豊かな高音質を楽しめます。

（サンプリング周波数が 96 kHz 以下で記録された音声に有効）

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。
- リ・マスターとナイトサラウンドを同時に設定することはできません。

自動音量調整*

番組と CM、コンテンツ間の音量差を自動で調整します。

- 音声がひずむ場合、「切」にしてください。

シネマボイス*

センターチャンネルを含む3チャンネル以上のサラウンド音声の場合、センターチャンネルの音声レベルを 2 倍にしてセリフを聞き取りやすくします。

*「デジタル出力」(P228) が「PCM」の場合のみ働きます。

(ただし 2 チャンネルの音声になります)

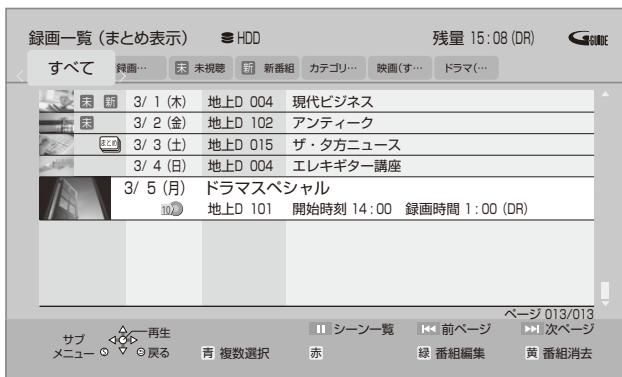
番組を編集する

番組を編集する

HDD

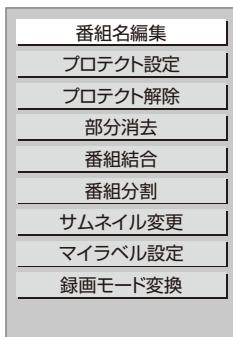
1 録画一覧 をタッチする

2 番組を選び、緑 をタッチする



3 項目を選び、決定 をタッチする

例) HDD



項目	内容
番組名編集	<p>→ 文字パネルから文字入力する (P207)</p> <p>お知らせ</p> <ul style="list-style-type: none"> 新 表示の番組は変更できません。
プロテクト設定 プロテクト解除	<p>記録内容を誤って消去しないよう、番組ごとに書き込み禁止（プロテクト）の設定ができます。</p> <p>「プロテクト設定」または「プロテクト解除」を選び、決定 をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> プロテクト設定すると が表示されます。
部分消去	→ 番組を部分消去する (P186)
番組結合	→ 2つの番組を結合する (P187)

項目	内容
番組分割	→ 番組を分割する (P188)
サムネイル変更	→ サムネイルを変更する (P189)
マイラベル設定	→ マイラベルを設定する (P190)
録画モード変換	→ 録画モードを変換する (P191)

番組を編集する

番組を部分消去する

1 「番組を編集する」(P184) 手順 3 で「部分消去」を選び、**決定** をタッチする

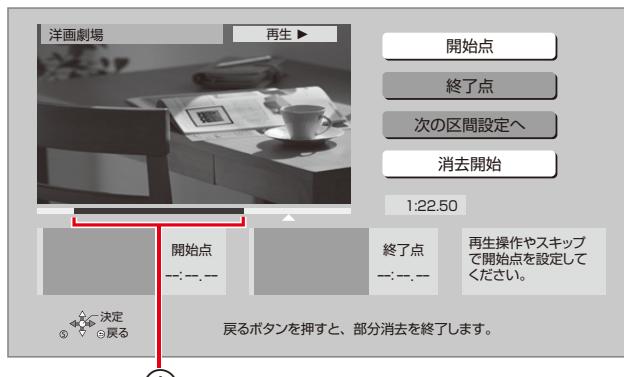
2  をタッチして、再生を始める

3 「開始点」を選び、消去する部分の開始点*で **決定** をタッチする

4  をタッチして、再生を始める

5 「終了点」を選び、消去する部分の終了点*で **決定** をタッチする

- ・続けて別の不要な部分を設定する場合、「次の区間設定へ」を選び、**決定** をタッチする。→手順 3 へ



- ・すでに設定された部分消去位置が①のように表示されます。
- ・20 区間まで設定できます。
- ・すでに設定した区間の変更はできなくなります。

6 「消去開始」を選び、**決定** をタッチする

7 「実行」を選び、**決定** をタッチする

* 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送り / 早戻し (サーチ) (P178) やスロー再生 (P179) などを使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で  をタッチし、  をタッチして場面を調整する

お知らせ

- ・部分消去した番組をモニターから再生する場合、消去した箇所が一部見えることがあります。

番組を編集する

2つの番組を結合する

同じ録画モードや素材の2つの番組同士を、1つの番組に結合することができます。

- ・1.5～15倍録モードの番組は、それぞれ同じ録画モードとして扱われます。

1 「番組を編集する」(P184) 手順 3で「番組結合」を選び、をタッチする

2 結合したい番組を選び、をタッチする

3 「結合」を選び、をタッチする

お知らせ

- ・結合した番組は以下のようになります。
 - ・録画モード：画質の高いほうの録画モード（ただし、画質は向上しません）
 - ・ダビングの残り可能回数：少ないほうの回数
 - ・番組名：最初に選択した番組名
 - ・チャプターマーク：結合した位置に作成（結合してチャプターマーク数が999を超える場合、超えた分は削除されます）
 - ・番組の結合部分：映像や音声が途切れことがあります。
- ・録画時間の合計が8時間を超える番組は結合できません。

番組を編集する

番組を分割する

1 「番組を編集する」(P184) 手順 3で「番組分割」を選び、をタッチする

2 「分割」を選び、分割する場面※でをタッチする

- ・「プレビュー」を選び、をタッチすると、分割する場面を確認することができます。

場面を選び直すには

① 「分割」を選び、をタッチして再生を始める

② 分割する場面で、をタッチする

3 「終了」を選び、をタッチする

4 「分割」を選び、をタッチする

- ・分割した番組は、 番組になります。
- ・分割すると、分割点の直前部分が一瞬再生されなくなります。

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

① 早送り / 早戻し (サーチ) (P178) やスロー再生 (P179) などを使って、目的の部分を探す

② 編集したい場面でをタッチし、 をタッチして場面を調整する

番組を編集する

サムネイルを変更する

録画一覧で表示される画像（サムネイル）を変更します。

- 1 「番組を編集する」(P184) 手順 3 で「サムネイル変更」を選び、**決定** をタッチする
- 2  をタッチして、再生を始める
- 3 「変更」を選び、お好みの場面※で **決定** をタッチする
場面を選び直すには
 - ① 「変更」を選び、 をタッチして再生を始める
 - ② お好みの場面で、**決定** をタッチする
- 4 「終了」を選び、**決定** をタッチする

※ 編集したい場面をうまく選ぶために

- ① 早送り / 早戻し（サーチ）(P178) やスロー再生 (P179) などを使って、目的の部分を探す
- ② 編集したい場面で  をタッチし、  をタッチして場面を調整する

番組を編集する

マイラベルを設定する

録画した番組をお好みのラベルに分類することができ、番組を探すのに便利です。

- 1 「番組を編集する」(P184) 手順 3 で「マイラベル設定」を選び、**決定** をタッチする
- 2 ラベルを選び、**決定** をタッチする
- 3 「マイラベル設定」を選び、**決定** をタッチする

- ・選択したラベルが録画一覧がない場合、画面にメッセージが表示されます。画面の指示に従って表示設定をしてください。
- ・マイラベルの設定を解除するには、「設定解除」を選び、**決定** をタッチしてください。
- ・マイラベル名は変更することができます。→ [分類ラベル設定 \(P174\)](#)

番組を編集する

録画モードを変換する

録画モードの変換には、番組の再生とほぼ同じ時間がかかる場合があります。

録画モードを変換すると、容量を抑えることができます。

- ・1.5～15倍録モードのみ選択できます。

1 「番組を編集する」(P184) 手順 3 で「録画モード変換」を選び、 をタッチする

2 「録画モード」を選び、 をタッチする

3 倍率を選び、 をタッチする

4 「開始方法」を選び、開始方法を設定する

- ・すぐに：

「確定」後すぐに、変換を開始します。変換中は録画や再生はできません。

- ・電源 [切] 後：

電源「切」後、予約録画の設定がされていない時間帯に変換を行います。変換中に電源を入れると、変換を中止し、次に電源を切ると、変換をやり直します。

5 「確定」を選び、 をタッチする

6 「すぐに」開始する場合：「開始」を選び、 をタッチする

変換を実行中に中止するには

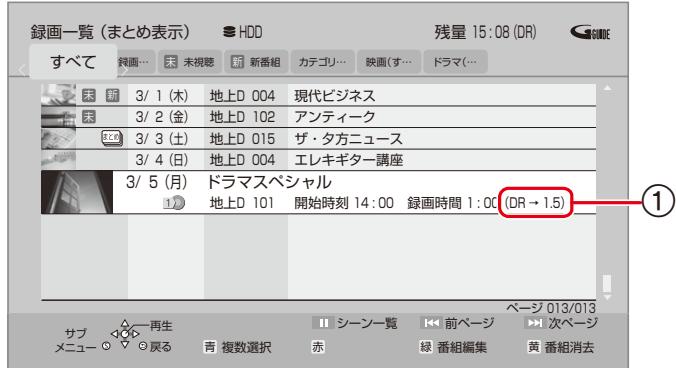
 を3秒以上触れたままにする

「電源 [切] 後」開始する場合： をタッチする

変換の設定内容を変更・取り消しするには

手順 1 のあと、「設定変更」または「設定取消」を選び、 をタッチする

変換が終了しているか確認するには



- ① 「○○→○○」が表示中は、変換は終了していません。

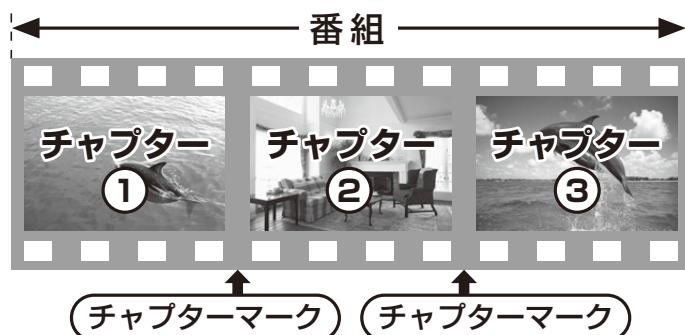
お知らせ

- 15倍録モードの番組は変換できません。
- 残量が少ない場合、変換できないことがあります。
- 番組と録画モードの組み合わせによっては、変換すると容量が増える場合があります。

チャプターの作成・再生・編集

チャプターとは

チャプターマークで区切られた区間のことです。スキップ (P178) すると、チャプターマークを作成した場面に飛びることができます。



チャプターの自動作成について

- 「自動チャプター」(P226) を「入」にすると、デジタル放送の録画時にCMなどの場面で自動的にチャプターマークを作成します。
- 録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

お知らせ

- チャプターマークが最大数まで作成された番組は、続き再生メモリー機能やサムネイル変更ができなくなります。

チャプターの作成・再生・編集

チャプターマークを作成する／削除する

HDD

チャプター一覧からチャプターマークの作成や削除を行うことができます。

- 1 録画一覧 をタッチする
- 2 番組を選び、 をタッチする
- 3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 をタッチする
- 4 緑 をタッチする

作成

- 5 チャプターマークを作成したい場面で 決定 をタッチする
 - ・画面に「チャプターマークを作成しました。」と表示されます。

削除

- 5 一時停止中に  または  をタッチして、削除したい場面に飛ぶ
- 6 決定 をタッチする
- 7 「はい」を選び、決定 をタッチする



チャプターマークを削除すると



前後のチャプターが結合されます。

チャプターの作成・再生・編集

チャプターを再生・編集する

HDD

- 1 録画一覧 をタッチする
 - 2 番組を選び、 をタッチする
 - 3 「チャプター一覧へ」を選び、決定 をタッチする
- 再生する
- 4 チャプターを選び、決定 をタッチする

編集する

4 チャプターを選び、 をタッチする5 編集する項目を選び、 をタッチする

項目	内容
チャプター消去	<p>指定したチャプターの録画内容を消去し、番組の部分消去を行います。 (元に戻すことはできません)</p>  <p>チャプター②を消去すると</p>  <p>番組が部分消去されます。</p> <p>「消去」を選び、 をタッチする</p> <ul style="list-style-type: none"> チャプターをすべて消去すると、その番組自体も消去されます。
チャプター結合	<p>選択中のチャプターと次のチャプターの間のチャプターマークを削除して、1つにつなぎます。</p>  <p>チャプターマークを削除すると</p>  <p>前後のチャプターが結合されます。</p> <p>「結合」を選び、 をタッチする</p>

番組を消去する

番組を消去する

HDD

1 録画一覧 をタッチする

2 番組を選び、**黄** をタッチする

- **まとめ** 番組内の番組を消去する場合、**黄** をタッチする前に、**決定** をタッチして、**まとめ** 番組内の番組を表示してください。

3 「消去」を選び、**決定** をタッチする

お知らせ

- **まとめ** 番組内の番組を消去して、残り 1 番組になった場合、**まとめ** 番組は解除されます。
- **HDD の番組消去について**
 - ・ 消去が完了しても、HDD の残量表示に反映されるまで時間がかかる場合があります。
- **消去後の残量について**
 - ・ 消去すると、消去した分、残量が増えます。

番組をダビングする

ディーガに番組をダビングする（お引越しダビング）

お引越しダビングに対応したディーガとネットワーク接続すると、本機に録画された番組をディーガにダビングすることができます。

- ・操作は接続した機器で行ってください。
- ・ディーガに録画された番組を本機にダビングすることはできません。
- ・操作方法は、接続した機器の取扱説明書をご覧ください。

ネットワークの接続と設定をする → ブロードバンドルーターを接続する (P240)

他の機器とお部屋ジャンプリンクを利用する

お部屋ジャンプリンク機能について

お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されたコンテンツの再生などを、ネットワーク接続した機器から行う機能です。コンテンツが記録された機器をサーバー、コンテンツを再生する機器をクライアントといいます。

- ・テレビと接続してお使いの場合、本体はサーバーとしてお使いいただけます。
- ・お部屋ジャンプリンク対応機器に記録されたコンテンツを再生する場合、モニター側で行ってください。
→ [他の機器の録画番組を再生する（モニターをクライアントとして使用する）（P83）](#)
- ・サーバーとクライアントの組み合わせにより、再生できるコンテンツなどは異なります。
- ・他社製の機器では使用できない場合があります。

ネットワークの接続と設定をする → [ブロードバンドルーターを接続する（P240）](#)

お知らせ

- ・モニターでホーム画面表示中や番組視聴・再生中などは、本機能を利用できません。
- ・モニターの電源ボタンを押して電源オフにすると、本機能を利用することができます。

他の機器とお部屋ジャンプリンクを利用する

別室のテレビなどで見る（本体をサーバーとして使用する）

HDD

お部屋ジャンプリンク対応機器から、本体の HDD に録画した番組の再生、受信した放送の視聴ができます。

テレビなどのクライアント機器側で操作する

- 画面に従って、以降の操作をしてください。

お知らせ

- 2台以上の機器で同時に操作することはできません。

「ビデオを見る」のとき

- 編集はできません。（当社製機器の場合、番組の消去のみできます）

「放送を見る」のとき

- 「チャンネル設定」で登録しているチャンネルのみ視聴できます。

→ [受信チャンネルを修正する（地上デジタル）（P220）](#)

→ [受信チャンネルを修正する（BS・CS）（P222）](#)

- 視聴する番組は、実際の放送よりも数秒遅れます。
- 他社製機器によっては、放送番組を視聴することができない場合があります。

映像が途切れたり、停止する場合

- ネットワーク通信速度が低い可能性があります。「レート変換モード」を「オート」または「入」に設定すると、番組の画質を調整し、改善される場合があります。

→ [「レート変換モード」を変更するには（P237）](#)

さらに「画質モード」（P232）で調整することができます。ただし、画質を調整すると、早送り・早戻しができなくなります。

- 無線 LAN 使用時に映像の途切れなどが起こる場合、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を変えて、通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は、有線で接続してください。
- 無線 LAN はすべてのご利用環境での動作を保証するものではありません。距離や障害物により十分な通信速度が出なかったり接続できない場合があります。

他の機器とお部屋ジャンプリンクを利用する

本体と無線接続して、お部屋ジャンプリンクを使う

無線ブロードバンドルーターを使わずに、本体とお部屋ジャンプリンク対応機器を無線接続してお部屋ジャンプリンク機能を利用することができます。本体は、サーバーとして使用することができます。

ただし、以下の機能は利用できません。

- ・モニターを使っての他の機器とのお部屋ジャンプリンク

1 本体の「無線／無線親機設定」(P233) で以下の画面を表示する



2 接続機器側で、手順 1 の画面情報を基にネットワーク設定をする

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）の設定

ビエラリンク（HDMI）（HDAVI Control™）とは

本体と HDMI ケーブル（別売）を使って接続したビエラリンク対応機器を自動的に連動させて、リモコン 1 つで簡単に操作できる機能です。各機器の詳しい操作については、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

- すべての操作ができるものではありません。

- 1 「設定を変える（初期設定）」(P223) 手順 1 ~ 5 のあと、手順 6 で「テレビ／機器／ビエラリンクの接続設定」を選び、**決定** をタッチする
- 2 「ビエラリンク設定」(P230) を選び、**決定** をタッチする
- 3 「ビエラリンク制御」(P230) を「入」にする
 - お買い上げ時の設定は「入」です。
- 4 「ビエラリンク録画待機」(P230) を「入」にする
- 5 接続した機器側（テレビなど）で、ビエラリンク（HDMI）が働くように設定する
- 6 すべての機器の電源を入れ、一度テレビの電源を切／入したあと、テレビの入力を「HDMI 入力」に切り換えて、画像が正しく映ることを確認する
 - 接続や設定を変更した場合にも、この操作をしてください。

お知らせ

- ビエラリンク（HDMI）は、HDMI CEC（Consumer Electronics Control）と呼ばれる業界標準の HDMI によるコントロール機能をベースに、当社独自機能を追加したものです。他社製 HDMI CEC 対応機器との動作保証はしておりません。
- 本体はビエラリンク（HDMI）Ver.5 に対応しています。ビエラリンク（HDMI）Ver.5 とは、従来の当社製ビエラリンク機器にも対応した当社基準です。
- 「ビエラリンク録画待機」(P230) が「入」の場合など、本体の電源を切ってもテレビの無信号自動オフ機能は働きません。

テレビ（ビエラ）側から録画や録画予約、番組キープをしたときの本体の動作

録画モード・録画先

- ・録画（「見ている番組を録画」など）：
 - ・本体であらかじめ設定された録画モードで HDD に録画
- ・録画予約 / 番組キープ：
 - ・DR モードで HDD に録画

録画予約の登録の確認

- ・本体の予約一覧画面で予約内容を確認できます。予約が登録されていない場合、テレビ側で予約の録画先が正しいか確認してください。

探して毎回予約の取り消し

- ・「探して毎回予約」で予約した場合は、テレビ側の予約も取り消してください。

録画ができない場合

- ・本体に契約された miniB-CAS カードを挿入してください。

ビエラリンク（HDMI）を使う

ビエラリンク（HDMI）の機能

詳しい操作方法はテレビの取扱説明書をご覧ください

表示マークについて

本体リモコン : モニターの画面をリモコン表示に切り換えて操作することができます。
 → モニターをリモコンとして使う (P124)

テレビのリモコン : テレビのリモコンで操作できます。

Ver.X 以降 : 接続している機器が表示のバージョン以降のビエラリンク（HDMI）に対応している場合に操作できます。
 (テレビによっては、対応していない機能もあります)

電源オフ連動

テレビのリモコン Ver.1 以降

テレビの電源を切ると、自動的に本体の電源も切れます。

お知らせ

- 消去、 での録画などの実行中は切れません。

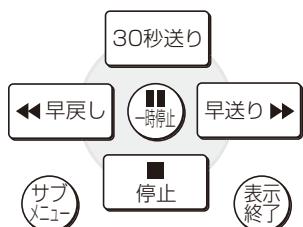
テレビのリモコンで本体を操作

テレビのリモコン Ver.1 以降

テレビのリモコンで、本体を操作することができます。

- 【サブメニュー】を押すと、再生中は下記の画面で操作することができます。

画面 de リモコン



番組ぴったりサウンド（オートサウンド連携）

本体リモコン テレビのリモコン Ver.3 以降

テレビとアンプと接続している場合、番組情報に応じて、最適なサウンドに自動で切り換わります。

設定を有効にするには

「オートサウンド連携」(P230) を「入」にする

番組キープ

テレビのリモコン Ver.3 以降

視聴中の番組を HDD に一時的に記録して、あとから続きを視聴することができます。
(番組キープ終了後は削除されます)

- ・「番組キープ ●」が表示されます。



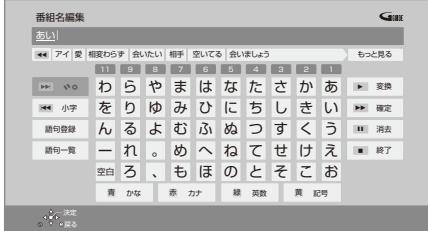
お知らせ

- ・チャンネルや入力の切り換え、または電源を切った場合、番組キープは終了し、一時的に記録した番組も削除されます。
- ・以下の場合、一時的な記録は終了します。ただし、その時点までの記録内容を見ることができます。
 - ・予約録画開始時刻になったとき
 - ・番組キープが8時間を超えたとき、または HDD の容量がなくなったとき
- ・本体が番組を録画できない状態のときは、番組キープを実行することはできません。
- ・ビエラリンク (HDMI) Ver.5 のテレビでも、番組キープに対応していない場合があります。

文字入力

文字入力について

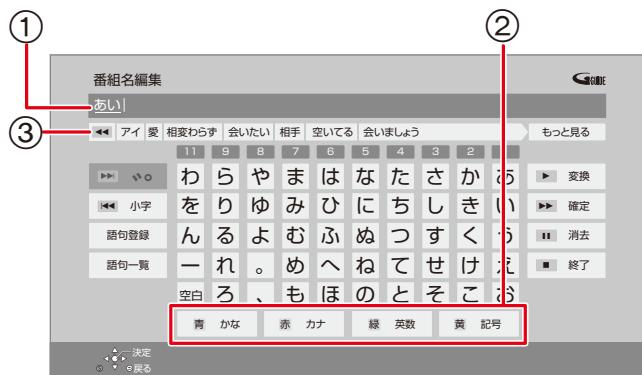
表示された画面によって2種類の文字入力方法があります。

表示画面		
例	番組名、マイラベル名、フリー ワード検索など	データ放送など
入力方式	文字パネル方式  文字パネルから文字入力する (P207)	リモコンボタン方式  リモコンボタン方式で文字入力する (P209)

文字入力

文字パネルから文字入力する

番組名、マイラベル名、フリーワード検索などを入力する方法です。



- ① 入力文字表示欄
- ② 入力できる文字の種類
- ③ 予測変換候補の表示

1 青 赤 緑 黄 で文字の種類を選ぶ

- ・漢字を入力する場合、まず「かな」を選びます。

2 入力する文字を選び、決定 をタッチする

- ・予測変換候補から選ぶこともできます。
 - ・この手順を繰り返し、文字を入力します。
 - ・ひらがなの場合は、確定するかまたは漢字変換してください。
(予測変換候補から選んだ場合、確定や漢字変換の必要はありません)
- ひらがなを漢字変換する (P208)

3 入力が終わったら、■停止 をタッチする

4 「はい」を選び、決定 をタッチする

数字で入力する

1 あ. ~ 9 も、 11 でも文字を入力できます。

例：ひらがな「す」を選ぶ場合

- ① 3 さ をタッチする
 - ・「さ」行に移動します。
- ② 3 さ を2回タッチし、決定 をタッチする
 - ・「す」が入力文字表示欄に表示されます。

ひらがなを確定する



をタッチする

ひらがなを漢字変換する

▶ 再生
1.3倍速

をタッチしたあと、変換候補を選び、**決定** をタッチする

-  をタッチすると、入力画面に戻ります。
- JIS 第1水準、JIS 第2水準の漢字コードが入力可能です。

文字を消す

II
一時停止

をタッチする

よく使う語句の登録 / 呼び出し / 消去

語句を登録する

- ① 語句を入力したあと、「語句登録」を選び、**決定** をタッチする
- ② 「登録」を選び、**決定** をタッチする

語句を呼び出す

- ① 「語句一覧」を選び、**決定** をタッチする
- ② 語句を選び、**決定** をタッチする

語句の消去

- ① 「語句一覧」を選び、**決定** をタッチする
- ② 語句を選び、**黄** をタッチする
- ③ 「消去」を選び、**決定** をタッチする

文字入力

リモコンボタン方式で文字入力する

データ放送などで入力する方法です。

本体リモコンの数字ボタンを使って、携帯電話と同じような操作で入力できます。
(番組名はこの方法では入力できません)



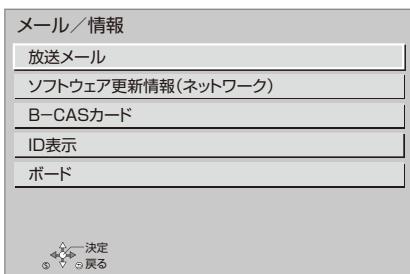
1 ~ で文字を入力する

- タッチするたびに、文字が変わります。(例：「い」を入力するときは を2回タッチする)
- 濁点や半濁点を入力するときは、文字に続けて をタッチしてください。

いろいろな情報を見る（メール／情報）

いろいろな情報を見る（メール／情報）

- 1 本体リモコン（P124）の **ホーム** をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** をタッチする
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** をタッチする
- 4 「メール／情報・診断コード」を選び、**決定** をタッチする
 - ・診断コードを見る場合 → 「本体と接続したテレビ画面で診断を行う場合」（P308）手順⑤
- 5 「メール／情報」を選び、**決定** をタッチする
- 6 項目を選び、**決定** をタッチする



放送メール

放送局からのお知らせ（最大31通まで保存）や、本機の機能向上のためのダウンロード情報（最新の1通のみ保存）を確認することができます。

- 確認したいメールを選び、**決定** をタッチする

お知らせ

- ・ほとんどのメールは、お客様自身で消去できません。
- ・メールが最大保存数を超えると、日付の古い順に消去されます。

ソフトウェア更新情報（ネットワーク）

ネットワークからダウンロードした日付を確認できます。

B-CAS カード

契約されている各委託放送事業者への問い合わせなど、miniB-CAS カードの番号が必要な場合に使用します。

ID 表示

本体のソフトウェアに関する情報などを見るときに使用します。

その他の情報を見るには

- 青 : 本体のソフト情報を表示
- 赤 : データ放送時のルート証明書情報を表示

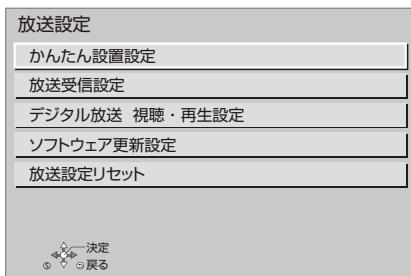
ボード

110 度 CS デジタル放送から送られてくる、番組情報などのお知らせを確認します。

放送設定を変える（放送設定）

放送設定を変える（放送設定）

- 1 本体リモコン（P124）の **ホーム** をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** をタッチする
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** をタッチする
- 4 「設定する」を選び、**決定** をタッチする
- 5 「放送設定」を選び、**決定** をタッチする
- 6 メニューを選び、**決定** をタッチする



- 7 設定項目を選び、**決定** をタッチする
 - さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- 8 設定内容を変更する

かんたん設置設定

本体をテレビに接続した状態で、本体リモコンを使用してかんたん設置設定を行います。

放送受信設定

受信対象設定

使わない放送を操作できないようにします。

- 地上デジタルは設定できません。

BS/CS

お買い上げ時の設定：【使う】

チャンネル設定

地上デジタル / BS/CS

→ 受信チャンネルを修正する（地上デジタル）（P220）

→ 受信チャンネルを修正する（BS・CS）（P222）

番組表設定

G ガイド地域設定

かんたん設置設定を行うと、自動的に設定されます。

→ かんたん設置設定（P212）

G ガイド受信確認

番組表の受信スケジュールを確認できます。

通信による G ガイド受信

お買い上げ時の設定：【切】

「入」に設定すると、インターネットを利用して1ヵ月の番組表や注目番組を取得することができます。

- ネットワークの接続と設定が必要です。→ ブロードバンドルーターを接続する（P240）
- 「入」にすると、常時接続状態になります。
- 2019年5月現在、番組情報を取得できる放送局はNHK、スター・チャンネル、WOWOWのみです。

地域設定

データ放送が正しく受信できていない場合に地域の修正を行います。

県域設定

郵便番号

地域設定削除

- お買い上げ時の状態に戻ります。

受信アンテナ設定

→ アンテナレベルを確認する (P217)

地上デジタル**アッテネーター**

お買い上げ時の設定：【切】

物理チャンネル選択

物理チャンネルを指定してアンテナレベルを確認します。

→ 物理チャンネルについて (P218)

衛星**アンテナ電源**

お買い上げ時の設定：【入】

アンテナ出力

お買い上げ時の設定：【入】

BS・110度CSアンテナ出力端子からの信号出力の設定をします。

トランスポンダ選択**衛星周波数**

(放送局からの案内がないかぎり、変更しないでください)

B-CASカードテスト

NGの場合、電源を切り、電源コードを抜いたあと、miniB-CASカードを抜き差しして、電源を入れ直して、もう一度テストしてください。

デジタル放送 視聴・再生設定

字幕設定

デジタル放送の字幕や、番組からのお知らせなど（文字スーパー）を表示させるための設定です。設定しても番組によって無効になる場合があります。

字幕

お買い上げ時の設定：【切】

字幕言語

お買い上げ時の設定：【日本語】

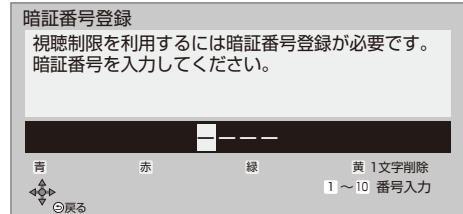
文字スーパー

お買い上げ時の設定：【切】

文字スーパー言語

お買い上げ時の設定：【日本語】

制限項目設定



- 画面の指示に従って **1 あ ～ 10** をタッチし、暗証番号を入力する
- 10 秒間操作がないと、元の画面に戻ります。
- 暗証番号を入力後、下記の設定を行ってください。

視聴可能年齢

お買い上げ時の設定：【無制限】

- 視聴制限のある番組の視聴できる年齢の上限を設定できます。上限を超える番組を見るとときは、暗証番号の入力が必要です。
- 年齢制限を超える番組は、番組表などで「・・・」と表示されます。

ブラウザ制限

お買い上げ時の設定：【しない】

暗証番号変更

暗証番号削除

設定した年齢を超えるなど視聴に制限のある番組を選ぶと、暗証番号入力画面が表示されます。

- 暗証番号を入力すると、番組が映ります。

選局対象

お買い上げ時の設定：【すべて】

デジタル放送で  をタッチして順送りできるチャンネルを設定できます。

- ・「設定チャンネル」を選ぶと、チャンネル設定で設定されている P01～36までのチャンネルを選局します。

ソフトウェア更新設定

ダウンロード予約

お買い上げ時の設定：【自動】

デジタル放送からの情報を本体に取り込むことにより、ソフトウェアを最新のものに書き換えます。

→ 本体のソフトウェア更新 (P243)

- ・「自動」にすると、電源「切」時に自動的にダウンロードします。
- ・「手動」にすると、情報が届いたときにメールで知らせます。 → 放送メール (P210)

放送設定リセット

設定項目リセット

「アンテナ電源」(P214) 「アンテナ出力」(P214)をお買い上げ時の設定に戻します。

個人情報リセット

日時設定以外の初期設定と放送設定の項目をお買い上げ時の設定に戻します。また、本体に記録されているお客様の個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）や、予約内容も消去します。廃棄などで本体を手放される場合以外には、実行しないでください。

お知らせ

- ・双方向データ放送をご利用の場合、本体からの操作により、放送局に登録された情報はこの操作では消去されません。消去方法はそれぞれのサービスにお問い合わせください。
- ・HDDの番組などは、この操作では消去されません。消去するには、HDDのフォーマット (P226)を行ってください。

放送設定を変える（放送設定）

アンテナレベルを確認する

マンションなどの共同アンテナやCATVをご利用の場合は、設定不要です。

映りが悪いときは、入力レベルが最大になるよう、アンテナの向きを調整してください。

- 受信中のアンテナレベルは、 をタッチして、「デジタル放送メニュー」の「アンテナ レベル」を選んでも確認できます。表示されない場合は、もう一度 をタッチしてください。
- アンテナの説明書もご覧ください。

アンテナレベルについて

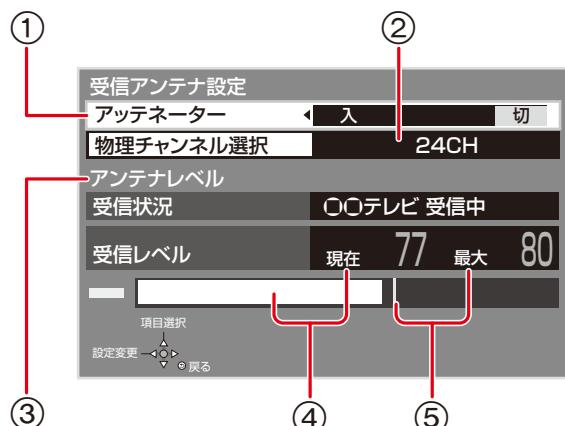
アンテナレベルは、アンテナの設置方向の最適値を確認するための目安であり、チャンネルによって異なります。表示されている数値は、受信している電波の強さではなく質（信号と雑音の比率）を表します。天候、季節、地域やアンテナシステムの条件などにより変動する場合がありますので、十分な余裕をとることをお勧めします。

- 1 本体リモコン (P124) の  をタッチする**
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 をタッチする**
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、 をタッチする**
- 4 「設定する」を選び、 をタッチする**
- 5 「放送設定」を選び、 をタッチする**
- 6 「放送受信設定」を選び、 をタッチする**
- 7 「受信アンテナ設定」を選び、 をタッチする**
- 8 修正したい放送を選び、 をタッチする**
 - 「地上デジタル」 (P218)
 - 「衛星」 (P219)

地上デジタル

手順 1 ~ 8 のあと

9 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する



① アンテナ

アンテナレベルが大きくなるほうを選択してください。

② 物理チャンネル選択

③ アンテナレベル

44 以上が目安です。

④ 現在の入力レベル

⑤ 最大感知レベル

物理チャンネルについて

地上デジタル放送は、UHF の電波を使って行われています。この電波は、放送局ごとに割り当てられており（13 CH ~ 62 CH）、このチャンネルを物理チャンネルと呼んでいます。

- 上記画面で「物理チャンネル選択」を選び、**決定** をタッチし、**1 あ** ~ **10** で物理チャンネルを入力し、**決定** をタッチすると、そのチャンネルのアンテナレベルを確認することができます。

お知らせ

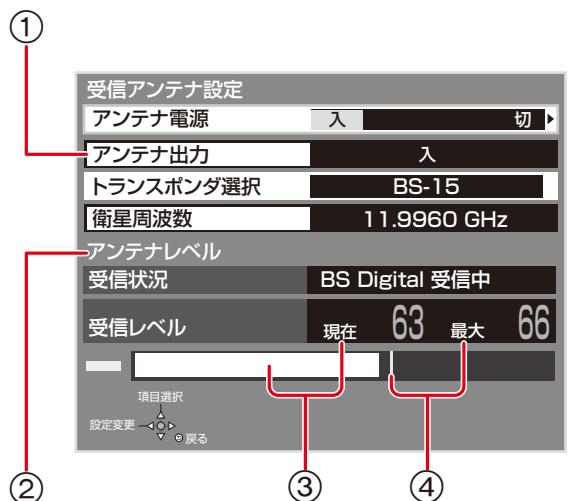
- 映像が不安定になったり、「アンテナレベルが不足しています。アンテナ環境を確認してください。」の表示が出る場合は、以下をお試しいただいたあと、「チャンネル設定」の「再スキャン」を行ってください。→ 「再スキャン」（P221）
 - アンテナを切り換える
 - ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
 状態が改善されないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

衛星

手順 1 ~ 8 のあと

9 「アンテナ電源」を選び、「入」を選ぶ

- ・衛星アンテナのコンバーターへ電源を供給します。
- ・テレビの映りが悪くなる場合があるため、テレビ側のアンテナ電源の設定も「入（オン）」にしてください。

10 入力レベルが最大になるように、アンテナの向きを調整する**① アンテナ出力**

通常は「入」のまま使用してください。「切」にすると電源「切」時に、テレビなどで BS・110 度 CS デジタル放送の番組を視聴できなくなります。

② アンテナレベル

50 以上が目安です。

③ 現在の入力レベル**④ 最大感知レベル****「他の衛星受信中」の表示が出たとき**

BS・110 度 CS デジタル以外の衛星放送を受信しています。再度アンテナの向きを調整してください。

お知らせ

- ・「トランスポンダ選択」「衛星周波数」は、変更すると視聴できなくなることがあります。放送局などからの案内がないかぎり、変更しないでください。

放送設定を変える（放送設定）

受信チャンネルを修正する（地上デジタル）

- 1 本体リモコン（P124）の **ホーム** をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** をタッチする
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** をタッチする
- 4 「設定する」を選び、**決定** をタッチする
- 5 「放送設定」を選び、**決定** をタッチする
- 6 「放送受信設定」を選び、**決定** をタッチする
- 7 「チャンネル設定」を選び、**決定** をタッチする
- 8 「地上デジタル」を選び、**決定** をタッチする
- 9 修正する方法を選び、**決定** をタッチする

引っ越しなどで受信地域が変わった場合に、受信できる局を自動で探すとき
 → 「初期スキャン」（P220）

受信状況が変わった場合に受信できる局を追加するとき
 → 「再スキャン」（P221）

チャンネル割り当てを修正したいとき
 → 「マニュアル」（P221）

初期スキャン

手順 1～9 のあと

- 10 お住まいの地域を選び、**決定** をタッチする
- 11 受信帯域を選び、**決定** をタッチする
- 12 正しく設定されていることを確認したあと、 をタッチする

再スキャン

手順 1 ~ 9 のあと

10 正しく設定されていることを確認したあと、 をタッチする

マニュアル

手順 1 ~ 9 のあと

10 修正したい行 (Po) を選び、 をタッチする

地上デジタルチャンネル設定			
Po	CH	チャンネル名	種類
1	011	NHK総合・東京	テレビ
2	021	NHKEテレ東京	テレビ
3	---	---	
4	041	日本テレビ	テレビ
5	051	テレビ朝日	テレビ

- 「Po」欄の「1」～「12」は本体リモコンの数字ボタンの番号です。(変更できません)

「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、 をタッチしてください。

11 表示チャンネル (CH) を修正し、 をタッチする

- 「CH」欄の数字はテレビの画面に表示される番号です。
「-----」の場合、チャンネル設定されていません。

12 修正が終わったら、 をタッチする

チャンネルの順番を入れ換えるには

- ①  をタッチする
- ② 入れ換えをしたい行 (Po) を選び、 をタッチする
- ③ 入れ換え先の行 (Po) を選び、 をタッチする
- ④ 入れ換えが終わったら  をタッチする

放送設定を変える（放送設定）

受信チャンネルを修正する（BS・CS）

- 1 本体リモコン（P124）の  をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 をタッチする
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、 をタッチする
- 4 「設定する」を選び、 をタッチする
- 5 「放送設定」を選び、 をタッチする
- 6 「放送受信設定」を選び、 をタッチする
- 7 「チャンネル設定」を選び、 をタッチする
- 8 修正したい放送を選び、 をタッチする
- 9 修正したい行（Po）を選び、 をタッチする

BS チャンネル設定			
Po	CH	チャンネル	種類
1	101	NHK BS1	テレビ
2	102	NHK BS1	テレビ
3	103	NHK BS プレミアム	テレビ

- ・「Po」欄の「1」～「12」は本体リモコンの数字ボタンの番号です。（変更できません）
- 「13」以降を表示するには、「13」が表示されるまで、 をタッチしてください。

- 10 表示チャンネル（CH）を修正し、 をタッチする
 - ・「CH」欄の数字はテレビの画面に表示される番号です。
「——」の場合、チャンネル設定されていません。

- 11 修正が終わったら、 をタッチする

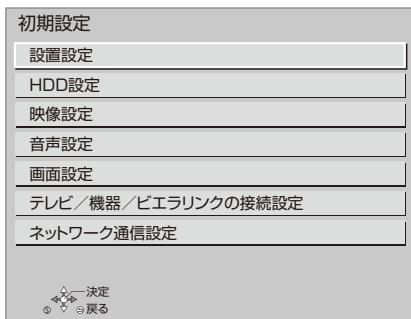
チャンネルの順番を入れ換えるには

- ①  をタッチする
- ② 入れ換えをしたい行（Po）を選び、 をタッチする
- ③ 入れ換え先の行（Po）を選び、 をタッチする
- ④ 入れ換えが終わったら  をタッチする

設定を変える（初期設定）

設定を変える（初期設定）

- 1 本体リモコン（P124）の **ホーム** をタッチする
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** をタッチする
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** をタッチする
- 4 「設定する」を選び、**決定** をタッチする
- 5 「初期設定」を選び、**決定** をタッチする
- 6 メニューを選び、**決定** をタッチする



- 7 設定項目を選び、**決定** をタッチする
 - ・さらに項目がある場合は、この操作を繰り返してください。
- 8 設定内容を変更する

設定を変える（初期設定）

設置設定

自動電源【切】

初期設定：【2 時間】

操作しないとき、節電のため自動的に電源を切る時間を設定します。

時間を設定すると、本体の動作（録画など）が終了してから 2 時間後または 6 時間後に、電源が切れます。

リモコンモード

初期設定：【リモコン 2】

本体の近くに当社製レコーダーがなどがあるときに、リモコンの操作で機器に影響が出ないように設定します。

画面に従って設定してください。

- この設定は、お使いになる当社製レコーダーのリモコンを使って設定してください。

日時設定

デジタル放送から送られてくる情報を取得し、自動的に日時を修正しますので、通常は日時設定の必要はありません。

初期設定リセット

設定をお買い上げ時の設定に戻します。

- ただし、以下の設定は戻りません。
 - 日時
 - LAN 接続形態
 - 無線／無線親機設定
 - IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定
 - お部屋ジャンプリンク設定の本機の名称

ソフトウェア更新（ネットワーク）

本体をインターネット接続している場合、本体のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

- 更新中は他の操作はできません。また、故障の原因となるので、以下の操作は行わないでください。
 - 本体の電源を切る
 - 電源プラグをコンセントから抜く

ソフトウェア自動更新

初期設定：【入】

自動でソフトウェアの更新や確認を行います。（更新は電源「切」時に行います）

ソフトウェア更新の実行

手動で本体のソフトウェアの更新します。

設定を変える（初期設定）

HDD 設定

記録設定

記録アスペクト設定

初期設定：【オート】

480i の映像をハイビジョン画質で記録する場合のアスペクトを設定します。

自動チャプター

初期設定：【入】

デジタル放送録画時に CM などで自動的にチャプターを作成する設定をします。

- ・録画する番組や録画モードによっては、正しく作成されない場合があります。

再放送の録画

初期設定：【録画しない】

カテゴリーまとめて予約で一度録画した番組の再放送を録画するかどうかを設定します。

→ 関連する番組を自動で予約録画する（カテゴリーまとめて予約）（P153）

HDD 設定

HDD 管理

HDD のフォーマット

HDD の初期化を行います。

設定を変える（初期設定）

映像設定

スチルモード

初期設定：【オート】

一時停止中の画像の表示方法が選べます。

- ・「フィールド」は、動きのある映像や「オート」時にぶれが生じるときに設定してください。
- ・「フレーム」は、「オート」時に細かい絵柄などが見えにくいときに設定してください。

シームレス再生

初期設定：【入】

部分消去した箇所などを滑らかに再生します。

- ・「切」にすると、精度よく再生しますが、画像が一瞬止まる場合があります。

設定を変える（初期設定）

音声設定

デジタル出力

AAC

初期設定：【Bitstream】

音声の出力方法を選びます。

- PCM 設定時は、ダウンミックス 2ch の音声となります。
- 接続する機器が Bitstream に非対応のときは、ダウンミックス 2ch PCM（例：テレビなど）の音声となります。
- 正しく設定しないと雑音が発生し、耳を傷めたり、スピーカーを破損するおそれがあります。

音声ディレイ

初期設定：【0 ms】

映像と音声のズレを、音声出力を遅らせて調整します。

設定を変える（初期設定）

画面設定

画面表示動作【オート】

初期設定：【入】

操作の表示をテレビ画面に自動で表示します。

テレビ画面の焼き付き低減機能

初期設定：【入】

通常は「入」に設定しておくことをお勧めします。「入」に設定すると、以下のような動作を行います。

- ・10分以上操作を行わないと、テレビの焼き付きを低減するために、自動的に画面を切り換えます。
- ・黒帯部分を明るくします。（「出力解像度」（P231）が「480p」以外のとき）

電源（赤）ランプ表示

初期設定：【入】

電源「切」時に、本体の電源ランプの点灯・消灯の設定をします。

設定を変える（初期設定）

テレビ / 機器 / ビエラリンクの接続設定

ビエラリンク設定

ビエラリンク制御

初期設定：【入】

ビエラリンク（HDMI）に対応した機器と HDMI 端子で接続時、連動操作の設定をします。

ビエラリンク録画待機

初期設定：【切】

ビエラの電源が「入」のときに、本体がすぐに録画できる状態に設定します。

オートサウンド連携

初期設定：【入】

ビエラリンク（HDMI）Ver. 3 以降に対応したビエラとアンプと接続時、自動的に適したサウンドに切り替えます。

HDMI 接続設定

出力解像度

初期設定：【オート（※）】
接続した機器が対応している項目に「*」が表示されます。「*」の付いていない項目を選ぶと、映像が乱れことがあります。
※最高解像度を表示します。

RGB 出力レンジ

初期設定：【スタンダード】
RGB 入力のみに対応した機器（DVI 機器など）との接続時に有効です。

Deep Color 出力

初期設定：【切】
Deep Color 対応テレビとの接続時に設定します。

コンテンツタイプフラグ

初期設定：【オート】
接続したテレビがこの設定に対応している場合、再生する内容によってテレビが最適な方法に調整し出力します。

設定を変える（初期設定）

ネットワーク通信設定

- ・本体の MAC アドレスは画面の下部に表示されます。

宅外リモート接続設定

→ スマートフォン、パソコンと接続する（宅外リモート接続設定）（P238）

宅外リモート接続機能

初期設定：【切】

機器パスワード初期化

機器 ID 確認

機器登録解除／使用情報の送信設定

ディモーラの機器登録を解除します。

お部屋ジャンプリンク設定

本機の名称

アクセス許可方法

初期設定：【自動】

レート変換モード

初期設定：【切】

画質モード

初期設定：【5 倍録画質】

「レート変換モード」が「オート」または「入」時のみ有効です。

機器一覧

詳細設定

通常は設定不要です。

- 「詳細設定」の項目は、**決定** を3秒以上触れたままにすると表示されます。画面の指示に従って設定してください。
- 不明な場合、設置された方に確認するか、ルーターなどの説明書をご覧ください。

LAN 接続形態

初期設定：【無線親機】

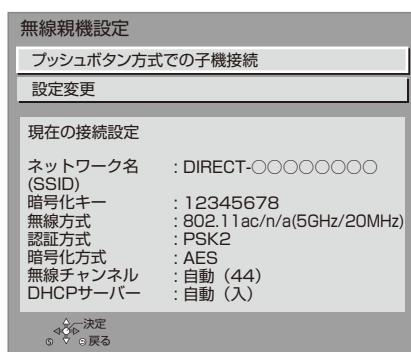
ネットワーク接続の方法を選びます。

- 「無線親機」にすると、本体をアクセスポイントに設定することができます。

無線／無線親機設定

無線接続時の設定をします。また接続済みの場合は、設定内容や電波の状態を確認することができます。

- 「[LAN 接続形態](#)」(P233) が「無線」または「無線親機」時のみ有効です。
(例) 「無線親機」時に表示



画面の情報を基に、接続機器（無線子機）側で接続設定を行ってください。

無線親機設定

「[LAN 接続形態](#)」(P233) が「無線親機」時の設定です。

プッシュボタン方式での子機接続

無線子機を追加で登録することができます。（モニターを含む最大13台まで）

プッシュボタン方式

PIN コード方式

設定変更

ネットワーク名 (SSID)

暗号化キー

無線方式

無線方式を選びます。ただし、選択された無線方式に無線子機が対応していない場合は接続できない場合があります。詳しくは無線子機の説明書をご覧ください。

無線チャンネル

初期設定：【自動】

他機器との電波干渉があるときに、無線チャンネルを変更してください。

DHCP サーバー

初期設定：【自動】

通常は「自動」を選んでおいてください。

設定リセット

本体が無線親機のときの設定をリセットします。

無線設定

「[LAN 接続形態](#)」(P233) が「無線」時の設定です。

無線ネットワーク検索

プッシュボタン方式

PIN コード方式

手動設定

接続するネットワーク名 (SSID) を入力します。

IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定

接続テスト

ネットワークの接続状態を確認します。

- ・ネットワーク接続をしたあと、または「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」の各設定を終えたあとに必ず行ってください。
- ・「NG」が表示された場合、接続と設定を確認してください。
- ・「宅内機器使用可」は、宅内のネットワーク接続機器が使用できる状態です。

IP アドレス自動取得

初期設定：【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

IP アドレス

サブネットマスク

ゲートウェイアドレス

ルーターに DHCP* サーバー機能がない場合、ルーターの DHCP サーバー機能を「有効」にしていないときのみ設定してください。

- ・「IP アドレス自動取得」(P235) を「切」にしたあと設定します。
- ・パソコンを確認して、「IP アドレス」にはパソコンと違った値を、「サブネットマスク」、「ゲートウェイアドレス」にはパソコンと同じ値をそれぞれ入力してください。

* サーバーやブロードバンドルーターが、IP アドレスなどを本体に自動的に割り当てる仕組みのことです。

DNS-IP 自動取得

初期設定：【入】

通常は「入」を選んでおいてください。

プライマリ DNS

セカンダリ DNS

手動で「プライマリ DNS」、「セカンダリ DNS」を設定する必要がある場合のみ設定してください。

- ・「DNS-IP 自動取得」(P235) を「切」にしたあと設定します。
- ・パソコンを確認して、「プライマリ DNS」にはパソコンの「優先 DNS サーバー」の値を、「セカンダリ DNS」にはパソコンの「代替 DNS サーバー」の値をそれぞれ入力してください。

プロキシサーバー設定

ブロードバンド環境でお使いになり、プロバイダーから指示があるときに設定してください。

標準に戻す

プロキシアドレス

プロキシポート番号

初期設定：【0】

接続テスト

ネットワーク連携する機器の設定をする

お部屋ジャンプリンク対応機器との設定を行う

- 無線接続で無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）との通信が暗号化されていない場合、お部屋ジャンプリンクは利用できません。

- 1 本体リモコン (P124) の  ホーム をタッチする**
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、 決定 をタッチする**
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、 決定 をタッチする**
- 4 「設定する」を選び、 決定 をタッチする**
- 5 「ネットワーク通信設定」を選び、 決定 をタッチする**
- 6 「お部屋ジャンプリンク設定」を選び、 決定 をタッチする**
- 7 「アクセス許可方法」を選び、 決定 をタッチする**
- 8 「手動」または「自動」を選び、 決定 をタッチする**
 - 「自動」の場合、本体にアクセスのあった機器をすべてアクセス許可します。

手順 8 で「手動」を選んだ場合

- 9 「機器一覧」を選び、 決定 をタッチする**
- 10 アクセスを許可したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 決定 をタッチする**
- 11 「アクセス許可」を選び、 決定 をタッチする**
 - 最大 16 台まで登録できます。

登録している機器のアクセス許可を取り消すには （「アクセス許可方法」が「手動」の場合のみ）

- ① 手順 10 で、取り消したい機器の機器名または MAC アドレスを選び、 をタッチする
- ② 「アクセス許可取消」を選び、 をタッチする

接続した機器側で表示される本体の名前を変更するには

- ① 手順 6 のあと「本機の名称」を選び、 をタッチする
- ② 項目を選び、 をタッチする
 - 一覧から選んで変更
 - 文字入力して変更
→ 文字パネルから文字入力する (P207)

「レート変換モード」を変更するには

映像が途切れたり停止するのを改善するには、「オート」または「入」に設定してください。

- ① 手順 6 のあと「レート変換モード」を選び、 をタッチする
- ② 「オート」「入」または「切」を選び、 をタッチする

ネットワーク連携する機器の設定をする

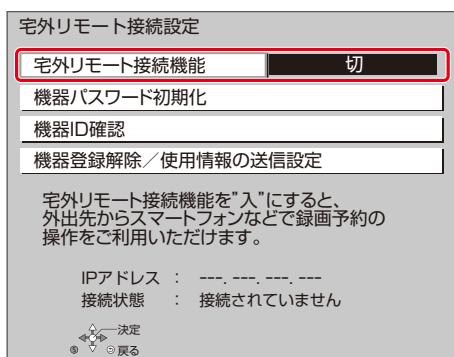
スマートフォン、パソコンと接続する（宅外リモート接続設定）

外出先から、スマートフォンやパソコンなどで録画予約などの操作をご利用になるには、対応サービスへの加入が必要です。詳しくは、下記ホームページをご覧ください。

当社ホームページ：

ディモーラ：<http://dimora.jp/>

- 1 本体リモコン (P124) の **ホーム** をタッチする**
- 2 「全機能から選ぶ」を選び、**決定** をタッチする**
- 3 「設定する・その他の機能」を選び、**決定** をタッチする**
- 4 「設定する」を選び、**決定** をタッチする**
- 5 「ネットワーク通信設定」を選び、**決定** をタッチする**
- 6 「宅外リモート接続設定」を選び、**決定** をタッチする**
- 7 「宅外リモート接続機能」を選び、**決定** をタッチする**



- ・機器 ID とは、スマートフォンやパソコンなどから操作するとき、機器を特定するための番号です。
- ・「個人情報リセット」(P216) や「初期設定リセット」(P224) をすると機器パスワードは自動で変更されます。

8 「入」を選び、**決定** をタッチする

「接続されていません」が表示されているとき

以下を確認してください。

- ・ネットワークの接続と設定 → ブロードバンドルーターを接続する (P240)
- ・「IP アドレス／DNS／プロキシサーバー設定」(P235)

機器パスワードを初期化するには

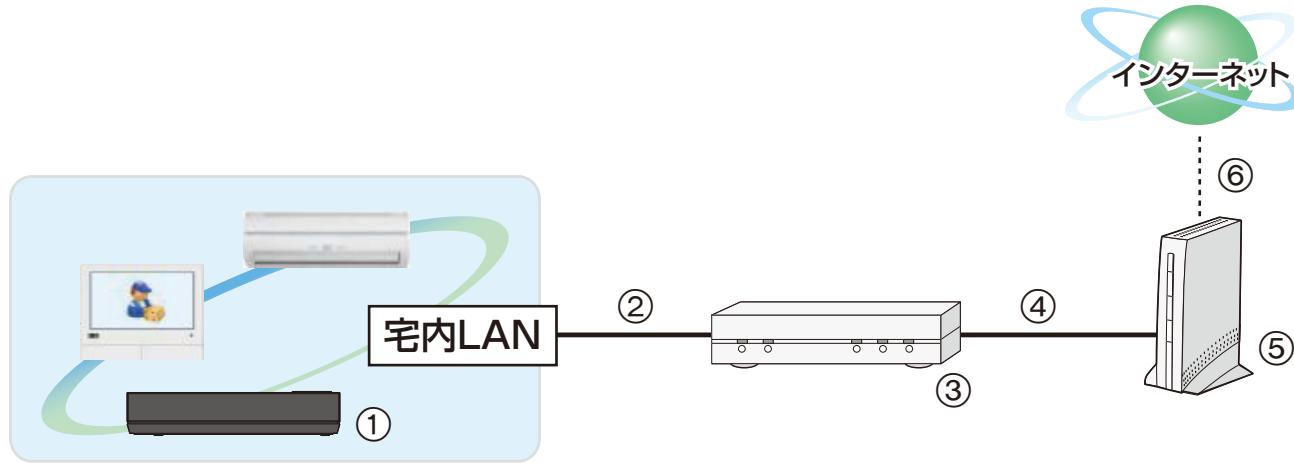
- ① 手順 6 のあと「機器パスワード初期化」を選び、**決定** をタッチする
- ② 「する」を選び、**決定** をタッチする

ブロードバンドルーターを接続する

ブロードバンドルーターを接続する

ブロードバンドルーターを宅内ネットワークに接続すると、インターネットを通じて、ホームページなどのウェブサイトを見たり、宅外のスマートフォンやパソコンなどから操作することができます。

- ・インターネットの接続には、プロバイダーとの契約が必要です。
- ・ブロードバンドルーターの接続方法については、ブロードバンドルーターの説明書をお読みください。



- ① 本体
- ② LAN ケーブル（別売）
- ③ ハブまたはブロードバンドルーター
- ④ LAN ケーブル（ストレート）（別売）
- ⑤ 通信端末（モデムなど）
- ⑥ ブロードバンド接続環境

無線ブロードバンドルーターを使って、本体とモニターを無線で接続するときは、以下の手順で設定してください。

- ・接続方法を変更すると、登録している機器に接続できなくなる場合があります。

- ① 「ホーム」をタッチする
- ② 「設定」をタッチする
- ③ 「ネットワーク / 無線設定」をタッチする
- ④ 「詳細設定」をタッチする
- ⑤ 「接続方法の変更」をタッチする
- ⑥ 「その他」をタッチする
- ⑦ 「無線 LAN アクセスポイントと接続」をタッチする
- ⑧ 接続方法をタッチして選ぶ
- ⑨ 画面に従って、設定する

モニターと本体を無線ブロードバンドルーターを経由せずに、直接接続に戻すには
上記手順 ⑤ のあと

- ① 「接続方法を変更する」をタッチする
- ② 画面に従って、設定する

⚠ 警告

遠隔操作をする前に安全を確認する



操作する機器やその周辺、在室する人などの状況を直接確認することができない状態で宅外または室内から操作（以下、遠隔操作という）する場合、事前に安全を十分ご確認のうえお使いください。場合によっては、人が死亡、重傷を負ったり、財産の損害などが発生したりするおそれがあります。

お子様や身体の不自由な方・高齢者など、ご自身で調節や操作、安全の確認などができる方が在室している場合は、ご利用にならないでください。

【お願い】

- ・操作する機器の周辺に人がいることが分かっているときは、遠隔操作することを事前に知らせておいてください。操作する機器の運転や停止に驚いて転倒するなど、けがにつながるおそれがあります。
- ・シャッター動作中はシャッターの下を通らないでください。シャッターに挟まれて重大な事故になるおそれがあります。
- ・シャッターの周囲に人がいないことや、物がないことを確認できない場合は、シャッターの操作をしないでください。
- ・シャッター閉操作は、お住まいの方やシャッターの周囲にいる方がバルコニー等に閉め出されないようにご注意ください。
- ・窓の施錠を確認できない場合は、シャッターの開操作をしないでください。外部から侵入されるおそれがあります。
- ・シーン制御やタイマー設定は、お住まいの方やシャッターの周囲にいる方が周知した上で設定してください。
- ・在室している人が遠隔操作を受け付けたくない場合は、ネットワーク設定の宅外リモート接続機能を「切」にしてください。
- ・通信状況によっては、遠隔操作した内容が操作する機器に反映されないことがあります。ご利用時には、こまめに設定内容や機器の状況をご確認ください。
- ・操作に使用するスマートフォンなどの端末は、誤操作防止のため画面ロック機能の使用をお勧めします。
- ・電源プラグを持つ機器を遠隔操作する場合は、電源プラグが確実に差し込まれていること、またプラグにほこりがたまっていないことを在宅中に定期的に確認してください。
- ・操作する機器に異常がないこと、風や熱などの発生・変化による悪影響がないことを事前に確認しておいてください。
- ・操作する機器の取扱説明書を十分にご確認ください。

お知らせ

LAN ケーブルをご使用時に

- ・ カテゴリー 5 (CAT5) 以上の LAN ケーブルのご使用をお勧めします。
- ・ 有線 LAN で公衆通信回線に接続する場合、電気通信事業法の認定を受けた端末設備（有線 LAN ルーター、回線端末装置）に接続してください。

ブロードバンドルーターなどをご使用時に

- ・ ハブやルーターについてはそれぞれの説明書をご覧ください。
- ・ 「インターネットの接続について」(P249) をお読みください。

ソフトウェアの更新について

本体のソフトウェア更新

以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

電源「切」の状態で、デジタル放送から送られてくる情報を本体に取り込むことにより、自動的にソフトウェアを最新のものに書き換えます。

- ・ソフトウェア更新のお知らせが表示された場合は、画面の指示に従ってモニターの電源をオフにしてください。
- ・お買い上げ時は、本体が更新を自動で行う設定になっています。
→ ソフトウェア更新設定 (P216)

ネットワークからのダウンロード

本体をネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、本体のソフトウェアが最新かどうかの確認や、ソフトウェアの更新をすることができます。

→ ソフトウェア自動更新 (P225)

ソフトウェアのダウンロード実行中は、本体の“ダウンロード”ランプが点灯しています。“ダウンロード”ランプが消灯するまで操作できません。

お知らせ

- ・ダウンロードの実行中は、故障の原因になりますので、絶対に電源コードを抜かないでください。
- ・オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

ソフトウェアの更新について

モニターのソフトウェア更新

以下の方法でソフトウェアの更新を行うことができます。

オンエアーダウンロード

デジタル放送から送られてくる情報を本体に取り込むと、モニターの電源「入」時にお知らせが表示されます。（「[ソフトウェア自動更新](#)」（P102）が「入」のとき）画面の指示に従ってソフトウェアを更新してください。

- ・ソフトウェア更新のお知らせが表示された場合は、画面の指示に従ってモニターの電源をオフにしてください。
- ・ソフトウェアの更新は「[ソフトウェア更新の実行](#)」（P102）から行うこともできます。

ネットワークからのダウンロード

モニターをネットワーク接続している場合、インターネットを利用して、モニターの電源「入」時に最新のソフトウェアかどうかの確認を行います。（「[ソフトウェア自動更新](#)」（P102）が「入」のとき）

- ・電源「入」時にお知らせが表示された場合、画面の指示に従ってソフトウェアを更新してください。
- ・ソフトウェアの更新は「[ソフトウェア更新の実行](#)」（P102）から行うこともできます。

お知らせ

- ・ソフトウェアの更新は、モニターを充電台に接続し、ACアダプターが接続されていないと実行されません。
- ・故障の原因になりますので、ダウンロード実行中やソフトウェア更新中に以下のことはしないでください。
 - ・本体の電源コードを外す
 - ・モニターの電源を切る
 - ・モニターを充電台から外す
 - ・充電台のACアダプターを外す
 - ・モニターのリセットボタンを押す
- ・オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

取り扱いについて

本体の取り扱いについて

録画内容の補償に関する免責事項について

何らかの不具合により、正常な録画や編集・エネルギー情報の記録ができなかった場合の内容の補償、録画・編集した内容（データ）・エネルギー情報の損失、および直接・間接の損害に対して、当社は一切の責任を負いません。また、本体を修理した場合（HDD 以外の修理を行った場合も）においても同様です。あらかじめご了承ください。

本体の移動

- ① 電源を切る
(本体の電源ランプの点滅が終了するまで待つ)
- ② 電源プラグをコンセントから抜く
- ③ HDD の回転が完全に止まってから（3 分程度待ってから）、振動や衝撃を与えないように動かす（電源を切っても、HDD はしばらくの間は惰性で回転しています）

お手入れ

本体をお手入れするときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- ・化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

温度上昇について

使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。

底面などを触るときは、温度が高くなっている場合がありますのでお気をつけください。
移動やお手入れなどをするときは、電源を切って電源コードを抜いてから 3 分以上待ってください。

- ・温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体を廃棄 / 譲渡するとき

本体にはお客様の操作に関する個人情報（メールやデータ放送のポイントなど）が記録されています。廃棄や譲渡などで本体を手放される場合は、「[個人情報リセット](#)」(P216) を実行し、記録された情報を必ず消去してください。

- ・本体に記録される個人情報に関しては、お客様の責任で管理してください。
- ・本体を廃棄する際は、各自治体の指示に従ってください。

HDD（ハードディスク）について

振動・衝撃やほこりに弱い精密機器です

設置環境や取り扱いにより、部分的な損傷や、最悪の場合、録画や再生ができなくなる場合もあります。特に動作中は振動や衝撃を与えたる、電源プラグを抜いたりしないでください。また、停電などにより、本機の内容が損なわれる可能性があります。

一時的な保管場所です

本体はHDDにある番組をメディアに保存（バックアップ）することはできません。そのため、録画した番組などを保存目的で録りためておくのには適していません。

- HDDが故障した場合は、記録内容（データ）の修復はできません。

取り扱いについて

モニターの取り扱いについて

モニターの移動

モニターを移動するときは、滑らせて移動すると設置場所に傷を付けるおそれがあるため、モニターを持ち上げて移動してください。

お手入れ

充電台から外した状態で、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤は、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。
- ・化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。なお、液晶画面には使用しないでください。

お知らせ

- ・液晶画面や画面の周りを固い布でふいたり、強くこすったりすると表面に傷が付く原因になります。
→ [モニターを洗うときのお願い \(P24\)](#)

モニターの充電端子のお手入れ

- ・充電端子は、乾いた布でふいてください。充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかるかたり、充電できないことがあります。

取り扱いについて

充電台の取り扱いについて

お手入れ

モニターから外した状態で、乾いた柔らかい布でふいてください。

- ・汚れがひどいときは、水に浸した布をよく絞ってから汚れをふき取り、その後、乾いた布でふいてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤は、外装ケースが変質するおそれがありますので使用しないでください。
- ・化学雑巾をご使用の際は、その注意書きに従ってください。

充電台の充電端子のお手入れ

- ・充電端子は、乾いた布や綿棒でふいてください。充電端子が汚れていると、充電時間が長くかかったり、充電できないことがあります。

取り扱いについて

インターネットの接続について

接続する機器、環境について

回線業者やプロバイダーとの契約をご確認のうえ、指定された製品を使って、接続や設定をしてください。

- ・接続する機器の説明書もご覧ください。
- ・契約により、本体やパソコンなどの端末を複数台接続できない場合や、追加料金が必要な場合があります。
- ・使用する機器や接続環境などによっては正常に動作しないことがあります。
- ・本体は公衆無線 LAN への接続には対応しておりません。

ハブまたはブロードバンドルーター

- ・有線接続の場合、100BASE-TX 対応の物をお使いください。
- ・無線接続の場合、802.11ac または 802.11n (2.4 GHz / 5 GHz 同時使用可) 対応の物をお使いください。
- ・ルーターのセキュリティ設定によっては、本体からインターネットに接続できない場合があります。

免責事項について

- ・機器登録時や会員登録時のパスワードが第三者に知られた場合、不正に利用される可能性があります。パスワードはお客様ご自身の責任で管理してください。当社では不正利用された場合の責任は負いません。
- ・当社が検証していない接続機器、ソフトウェアなどとの意図しない組み合わせによる誤動作やハングアップなどから生じた損害に関して、当社では責任を負いません。
- ・本体がお手元にない場所から問い合わせの際、本体自体の接続や現象などの目視確認が必要な内容については、お答えできません。
- ・ルーターのセキュリティ設定をする場合は、お客様ご自身の判断で行ってください。ルーターのセキュリティ設定により発生した障害に関して、当社では責任を負いません。また、ルーターの設定・使用方法などに関する問い合わせには、当社ではお答えできません。

ネットワーク機能を快適に利用するために

個人情報の取り扱いについて

本機の機能およびサービスを提供するため、機器 ID・機器パスワードおよび利用履歴情報は当社の適切なセキュリティ環境のもと、安全に保管・管理します。利用履歴などの情報については、個人が特定できない状態で集計し、製品やサービスの向上などに利用させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

不正利用を防ぐために

- 機器パスワードは

- 他人に見られたり、教えたりしないでください。
- 第三者が本体の設置・設定を行った場合は、必ず変更してください。
- 修理依頼する場合は機器パスワードを初期化してください。

→ 機器パスワードを初期化するには (P239)

- 第三者に譲渡したり廃棄する場合は、機器パスワードを初期化してください。
- 当社では、ネットワークのセキュリティに関する技術情報についてはお答えできません。
- スマートフォンやパソコンを紛失した場合は、第三者による不正な使用を避けるため、直ちに加入されていた通信事業者、対応サービス提供者へ連絡してください。
- 利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。無線ネットワーク環境の自動検索時に利用権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

対応サービスについて

サービスは対応サービス提供者が提供します。詳しくはホームページをご覧ください。

→ スマートフォン、パソコンと接続する (宅外リモート接続設定) (P238)

- 本体の接続に必要なインターネット接続機器（モデム、ルーターやハブなど）や、電話通信事業者およびプロバイダーとの契約・設置・接続・設定作業・通信などの費用は、すべてお客様のご負担となります。
- 一部のサービスは有料です。また、現在無料のサービスでも、将来有料になることがあります。
- 宅外リモート接続機能のご利用には、対応サービスに加入していただく必要があります。
- 定期的なメンテナンスや、不測のトラブルで一時的にサービスを停止したり、予告ありなしにかかわらず、サービス内容の変更・中止や操作メニュー画面の変更をする場合があります。あらかじめご了承ください。

取り扱いについて

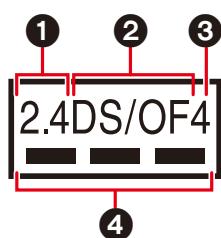
内蔵無線 LAN 使用上のお願い

使用周波数帯

内蔵無線 LAN は 2.4 GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に留意してご使用ください。

周波数表示の見方

周波数表示は、本体背面に記載しています。



- ① 2.4 GHz 帯を使用
- ② 変調方式が DSSS と OFDM 方式
- ③ 電波与干渉距離 40 m 以下
- ④ 2.400 GHz ~ 2.483 GHz の全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であることを意味する

無線 LAN 機器使用上の注意事項

この機器の使用周波数帯域では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）、ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

- ① この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていない事を確認してください。
- ② 万一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに場所を変更するか、または電波の使用を停止したうえ、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
- ③ その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きた時は、まず、お買い上げの販売店へお問い合わせください。

機器認定

内蔵無線 LAN は、電波法に基づく技術基準適合証明を受けていますので、無線局の免許は不要です。ただし、内蔵無線 LAN に以下の行為を行うことは、電波法で禁止されています。

- ・分解 / 改造する
- ・モニターおよび本体記載の定格銘板を消す
- ・5 GHz 帯無線 LAN を使って屋外で通信を行う

使用制限

内蔵無線 LAN の使用に当たり、以下の制限がありますのであらかじめご了承ください。

制限をお守りいただけなかった場合、および内蔵無線 LAN の使用または使用不能から生ずる付随的な損害などについては、当社は一切の責任を負いかねます。

- **日本国内でのみ使用できます。**
- **利用権限のない無線ネットワークには接続しないでください。**
無線ネットワーク環境の自動検索時に利用する権限のない無線ネットワーク (SSID*) が表示されることがあります、接続すると不正アクセスと見なされるおそれがあります。
- **磁場・静電気・電波障害が発生するところで使用しないでください。**
次の機器の付近などで使用すると、通信が途切れたり、速度が遅くなることがあります。
 - ・電子レンジ
 - ・デジタルコードレス電話機
 - ・その他 2.4 GHz 帯の電波を使用する機器の近く (Bluetooth® 対応機器、ワイヤレスオーディオ機器、ゲーム機など)
- 802.11ac または 11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター (アクセスポイント) をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。また暗号化方式は「AES」にしてください。
- **電波によるデータの送受信は傍受される可能性があります。**

* 無線 LAN で特定のネットワークを識別するための名前のことです。この SSID が双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

取り扱いについて

内蔵デジタルコードレス使用上のお願い

本機には、1.9 GHz 帯を使用するデジタルコードレス電話の無線局の無線設備で、時分割多元接続方式広帯域デジタルコードレス電話を示す右記のマークが表示されています。

1.9-D

この機器の使用周波数帯では、PHS の無線局のほか異なる種類のデジタルコードレス電話の無線局が運用されています。

- ① この機器は同一周波数帯を使用する他の無線局と電波干渉が発生しないように考慮されていますが、万一、この機器から他の無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、お買い上げの販売店にご連絡いただき、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
- ② その他、何かお困りのことが起きたときは、まず、お買い上げの販売店へご連絡ください。

J-DECT ロゴは、DECT Forum の商標です。

J-DECT のロゴは ARIB STB-T101 に準拠した 1.9GHz 帯の無線通信方式を採用した機器であることを示しています。

同一ロゴを搭載する機器間での接続可否を示すものではありません。

J-DECT

受信できるデジタル放送について

受信できるデジタル放送について

地上デジタル放送

UHF 帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声、さらにデータ放送が特長です。

BS デジタル放送

放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送やデータ放送が特長です。

- WOWOWなどの有料放送には、加入申し込みと契約が必要です。

110 度 CS デジタル放送

通信衛星（Communications Satellite）を使って行う放送で、ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。ほとんどの番組は有料です。

- 110 度 CS デジタル放送の放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。

お知らせ

- **miniB-CAS カードを挿入しないと、デジタル放送は映りません。**
- 有料放送の視聴や録画をするには、放送会社と契約した miniB-CAS カードが必要です。付属の miniB-CAS カードで契約してください。
- ラジオ放送やデータ放送は記録できません。

受信できるデジタル放送について

受信チャンネルを設定する

受信チャンネルの設定は、お買い上げ時の設置設定で行います。詳しくは「取扱説明書 準備編」をご覧ください。

設定後、受信チャンネルを修正したいときはモニターを操作して「放送受信設定」をやり直してください。→ [放送受信設定 \(P97\)](#)

手動で受信チャンネルを修正したい場合はモニターを操作して「マニュアルチャンネル設定」を行ってください。

① 「ホーム」をタッチする

- ・表示がない場合は、画面に触れると表示します。

② 「設定」をタッチする

③ 「テレビ機能設定」をタッチする

④ 「放送設定」をタッチする

⑤ 「マニュアルチャンネル設定」をタッチする

⑥ 修正したい放送をタッチする

⑦ 修正したい行をタッチする

- ・「1」～「12」の表示はチャンネルの数字ボタンの番号です。「13」以降のチャンネルは数字ボタンでは切り換えできません。

⑧ チャンネルを修正し、「設定完了」をタッチする

お知らせ

- ・本体リモコンを操作して受信チャンネルの設定をする場合

→ [受信チャンネルを修正する（地上デジタル）\(P220\)](#)

→ [受信チャンネルを修正する（BS・CS）\(P222\)](#)

画面に表示されるマークについて

番組表・番組内容

本体と接続したテレビ画面で表示されるマークです。

	録画予約している番組 ※1、※2		ステレオ放送の番組
	「カテゴリーまとめて予約」で予約された番組 ※1、※2		5.1chなどのサラウンド放送の番組
	「新番組おまかせ録画」で予約された番組 ※1、※2		二重音声信号で、「主+副」の音声の番組
	テレビ放送（映像+音声）の番組		字幕（日本語/英語）の情報が含まれている番組
	データ放送の番組		有料放送の番組（放送会社との契約が必要です）
	番組とは別のデータ放送を行っている番組		視聴年齢制限がある番組（表示される年齢は4~20才まであります）
	番組内容に関連したデータ放送を行っている番組		3D映像の番組（番組によっては表示されない場合もあります） ・本機では3D再生はできません。
	「ダビング10」または「1回だけ録画可能」のコピー制限のある番組		著作権が保護されているため「録画禁止」の番組
	複数の映像または音声（マルチ音声）を含んだ番組		番組の映像信号情報 上：画面の横縦比（16:9、4:3） 下：信号方式 (デジタルハイビジョン放送 - 1080i、720p) (デジタル標準テレビ放送 - 480p、480i)
	モノラル音声の番組		

※1 マークはモニター画面でも表示されます。

※2 予約の実行が「切」になっている場合、上記マークの色はグレーに変わります。

画面に表示されるマークについて

予約一覧

モニター、本体と接続したテレビ画面で表示されるマークです。(一部モニターでは表示されないマークがあります)

録画可能	全編の録画が可能な番組		番組表を使って毎日・毎週予約した番組で、予約した番組と同じ名前の番組が見つけられずに、予約を実行した場合に表示されます。
変更可	予約登録後に放送時間が変更になったが、全編の録画が可能な番組		
番組予約	番組表を使って予約した番組		
検索中	時間変更追従を実行中（時間確認中）		テレビ（ビエラ）側から「探して毎回予約」で予約した番組
時間指定	時間指定予約で予約した番組		HDDの残量不足や予約の重複などで録画できない場合があるときなどに表示されます。 [決定] をタッチして、予約内容を確認してください。
曜日指定	曜日指定した毎日・毎週予約のときに表示		
毎週	毎日・毎週予約の番組		予約時間が重なっている番組
毎日			毎日・毎週予約していた番組が終了したときに表示されます。予約を登録し直すことをお勧めします。
月～土			引っ越しなどをして、お住まいの地域が変更になった場合に、予約登録したチャンネルが見つからなかつた番組
月～金			「新番組おまかせ録画」で自動的に予約された番組

毎週更新		カテ ゴリ-	「カテゴリーまとめて予約」で自動的に予約された番組
毎日更新	毎日・毎週予約で自動更新をする番組	注目 番組	注目番組一覧から予約した番組
月~土 更新	(前回録画した内容に上書きして録画します)	まとめ 予約	「注目まとめ予約」で予約した番組
月~金 更新		DR 切換	1.5 ~ 15 倍録モードで録画中に DR モードに切り換えて録画している番組
残量 不足	HDD の残量不足で録画できない番組	一部 未実行	予約録画中に停止されたなど一部が実行されなかった番組
番組数 FULL	HDD の番組数がいっぱいですで録画できない番組	FULL 中斷	HDD がいっぱいですで録画が中断された番組
予約 実行切	予約の実行が「切」になっている番組	COPY X 中斷	録画禁止信号により録画が中断された番組
未実行	予約録画が実行されなかった番組	お知 らせ	1か月より先の番組予約です。 1か月以内になったときに録画可能かどうかが表示されます。
	録画中の番組	ニュース 予約	ニュース録画機能で登録された番組

画面に表示されるマークについて

録画一覧

本体と接続したテレビ画面で表示されるマークです。

	録画してまだ見ていない番組		書き込み禁止（プロテクト）の設定をした番組
	「新番組おまかせ録画」で録画された番組		データが壊れているなど再生できない番組
	ニュース録画機能で録画された番組		HDD に録画中の番組
	録画したコピー制限のある番組		HDD に録画が終了した番組 ・番組の画像（サムネイル）は電源「切」時に作成されます。
	録画したコピー制限のある番組		録画中の番組
	2つ以上の番組がまとめられた、まとめ番組		ニュース録画機能で録画された2つ以上の番組

仕様

本体

電源：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：

動作時：約 13 W

待機時（標準待機時）：

電源ランプ点灯時・約 4 W^{※1※2}

※1 地上デジタルアッテネーター：「入」

BS・110 度 CS デジタルアンテナ電源：「切」

BS・110 度 CS デジタルアンテナ出力：「切」

外部接続端子（LAN、USB）：未接続

※2 LAN 接続形態：無線親機

HDMI 出力解像度：1080i

待機時（電源「切」時）でも、番組表データの受信など本体が動作している場合の消費電力は増えます。

本体

外形寸法：

幅 204 mm × 高さ 43 mm × 奥行き 145 mm（突起部含まず）

幅 204 mm × 高さ 44 mm × 奥行き 156 mm（突起部含む）

質量：約 0.6 kg

許容周囲温度：5 ℃～ 40 ℃

許容相対湿度：10 %～80 %RH（結露なきこと）

放送方式

デジタルハイビジョン：

地上デジタル放送方式（日本）、衛星デジタル放送方式（日本）

アンテナ受信入力

地上デジタルアンテナ入力端子：1 系統

BS・110 度 CS デジタル -IF アンテナ入力端子：1 系統

地上デジタル入力：

90 MHz～770 MHz 75 Ω（VHF：1～12 CH、UHF：13～62 CH、CATV：C13～C63 CH）

BS・110 度 CS デジタル -IF 入力：

1032 MHz～2071 MHz（IF 入力周波数）75 Ω

電源供給：DC 15 V、最大 4 W

アンテナ出力

地上デジタルアンテナ出力端子：1 系統

BS・110 度 CS デジタル -IF アンテナ出力端子：1 系統

入出力端子（映像・音声を除く）

LAN 端子：1 系統 (10BASE-T/100BASE-TX)

USB 端子：背面 1 系統 (USB メモリ用)

記録圧縮方式

映像：

MPEG-2 (DR モード)、MPEG-4 AVC/H.264 (1.5 倍録～15 倍録モード)

音声：

MPEG-2 AAC (最大 5.1ch 記録)

HDMI 映像・音声出力

出力端子：1 系統 (19 ピン type A 端子)

映像解像度：480p/1080i

デジタル音声出力：PCM、MPEG-2 AAC 対応 (PCM 2ch/Bitstream 最大 5.1ch)

内蔵無線 LAN モジュール

規格：

IEEE802.11ac/ IEEE802.11n / IEEE802.11a^{※3}/

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) (5 GHz 帯は屋内使用限定)

セキュリティー：

暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK

WEP (64 bit / 128 bit)

※3 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

録画モードと記録時間の目安

画質	録画モード		内蔵 HDD (500 GB)
放送画質	DR	BS デジタル	HD 放送 (≤ 24 Mbps) 約 44 時間 50 分
			SD 放送 (≤ 12 Mbps) 約 89 時間 40 分
	地上デジタル		HD 放送 (≤ 17 Mbps) 約 62 時間 45 分

画質	録画モード	内蔵 HDD (500 GB)
ハイビジョン 画質	1.5 倍録	約 67 時間 15 分
	1.6 倍録	約 71 時間 44 分
	1.8 倍録	約 80 時間 42 分
	2 倍録 (HG)	約 89 時間 40 分
	2.3 倍録	約 103 時間 7 分
	2.5 倍録	約 112 時間 5 分
	2.7 倍録	約 121 時間 3 分
	3 倍録 (HX)	約 134 時間 30 分
	3.5 倍録	約 156 時間 55 分
	4 倍録 (HE)	約 179 時間 20 分
	4.5 倍録	約 201 時間 45 分
	5 倍録 (HL)	約 224 時間 10 分
	5.5 倍録	約 246 時間 35 分
	6 倍録	約 269 時間
	7 倍録	約 313 時間 50 分
	8 倍録 (HM)	約 358 時間 40 分
	9 倍録	約 403 時間 30 分
	10 倍録	約 448 時間 20 分
	11 倍録	約 493 時間 10 分
	12 倍録	約 538 時間
	15 倍録 (HZ)	約 672 時間 30 分

お知らせ

- 15倍録モードでの録画では、録画する番組がサラウンド音声やマルチ音声の場合、実際に録画できる時間が残量表示よりも短くなることがあります。残量に余裕がある状態（録画される時間の1.3倍以上の残量がある状態）で録画することをお勧めします。
- 表の数値は目安です。記録する内容によっては変化することがあります。
- DRモード以外で録画する場合、映像の情報量に合わせてデータの記録量を変化させる方法（可変ビットレート方式：VBR）を採用しているため、残量表示と実際に記録できる時間が異なることがあります。
- DRモードの録画時間は放送（転送レート）によって異なります。残量表示は、地上デジタル放送を17Mbps、BSデジタル放送を24Mbpsで録画したものとして計算されています。そのため、残量表示と実際の残量は異なる場合があります。
- 情報量の少ない（ビットレートの低い）番組を高画質の録画モードで長時間記録すると、容量いっぱいに記録することができない場合があります。
- 録画モードに記載されているHG、HX、HE、HL、HM、HZの表記は、当社製ブルーレイディスクレコーダーの録画モードとの目安です。

記録できる最大番組数

(使い方によっては、記録できる番組数は少なくなります)

HDD：1000（長時間連続して記録すると、8時間ごとの番組に分けて記録されます）

予約可能番組数

128（予約可能期間：1年間）

最大チャプターマーク数

(記録状態により異なります。自動的に作成されるチャプターマークを含む)

HDD：1番組当たり約999個

仕様

モニター

電源：専用充電台より供給 /DC 7.4 V (充電式電池端子)

消費電力：

(付属の充電台と専用 AC アダプター使用時)

動作時 (充電完了時)：約 9.5 W

動作時 (充電中)：約 13 W

充電時 (クイックスタート「切」)：約 11 W

充電時 (クイックスタート「入」)：約 15.5 W

待機時 (クイックスタート「切」)：約 0.3 W

待機時 (クイックスタート「入」)：約 4.5 W

リチウムイオン充電式電池 (内蔵)：

電圧：7.4 V

容量：3100 mAh (最小)

本体

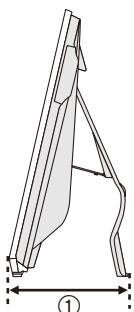
外形寸法：

幅 255 mm × 高さ 180 mm × 奥行き 39.0 mm (突起部含まず)

幅 255 mm × 高さ 182 mm × 奥行き 40.1 mm (突起部含む)

スタンド使用時奥行き：

① 99 mm



質量：約 0.85 kg

許容周囲温度：5 °C～35 °C

許容相対湿度：10 %～80 %RH (結露なきこと)

液晶モニター：

10 V型（V型は有効画面の対角寸法を基準とした大きさの目安です）

画素数：横 1024×縦 600

スピーカー：

音声実用最大出力 (JEITA) : 0.8 W + 0.8 W

ヘッドホン出力：

出力端子：ステレオミニジャック (Ø 3.5 mm、16 ~ 32 Ω 推奨)

端子数：1 系統

内蔵無線 LAN モジュール**規格：**

IEEE802.11ac / IEEE802.11n / IEEE802.11a*/

IEEE802.11g / IEEE802.11b 準拠、

ARIB STD-T71 (5 GHz 帯)、ARIB STD-T66 (2.4 GHz 帯) (5 GHz 帯は屋内使用
限定)

セキュリティ：

暗号化方式：TKIP / AES、認証方式：PSK

WEP (64 bit / 128 bit)

※ 従来の 11a (J52) のみの対応機器とは接続できません。

DECT 部**無線通信方式：**

1.9 GHz、TDMA-WB

見通し通信距離：

約 100 m (ドアホン親機との見通し距離)

通話方式 (ドアホン通話)：

音声交互自動切替方式

仕様

充電台部

電源：DC 12 V (DC IN 端子)

AC アダプター：

入力：AC 100 V、50/60 Hz

消費電力：40 VA

出力：DC 12 V、1.2 A

外形寸法：

幅 88 mm × 高さ 34 mm × 奥行き 97 mm (突起部含む)

質量：約 80 g

許容周囲温度：5 °C～35 °C

許容相対湿度：10 %～80 %RH (結露なきこと)

商標文について

著作権など

- ・著作物を無断で複製、放送、公開演奏、レンタルすることは法律により禁じられています。
- ・TiVo、G ガイド、G-GUIDE、および G ガイドロゴは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。G ガイドは、米国 TiVo Corporation および／またはその関連会社のライセンスに基づいて生産しております。
米国 TiVo Corporation およびその関連会社は、G ガイドが供給する放送番組内容および番組スケジュール情報の精度に関しては、いかなる責任も負いません。また、G ガイドに関連する情報・機器・サービスの提供または使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ・電子番組表の表示機能に G ガイドを採用していますが、当社が G ガイドの電子番組表サービスを保証するものではありません。
- ・天災、システム障害、放送局側の都合による変更などの事由により、電子番組表サービスが使用できない場合があります。当社は電子番組表サービスの使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。
- ・HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴ は、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- ・HDAVI Control™ は商標です。
- ・「LINE」は LINE 株式会社の商標または登録商標です。
- ・QR コードは、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- ・商標「エコキュート」は関西電力（株）の登録商標です。
- ・「ECHONETLiteAIF」とエコーネットロゴマークはエコーネットコンソーシアムの商標です。
- ・日本語変換はオムロンソフトウェア（株）のモバイル Wnn を使用しています。
“Mobile Wnn” © OMRON SOFTWARE Co.,Ltd. 1999-2002 All Rights Reserved
- ・本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、以下に記載する行為にかかるお客様の個人的または非営利目的の使用を除いてはライセンスされておりません。
 - (i) 画像情報を AVC 規格に準拠して（以下、AVC ビデオ）記録すること。
 - (ii) 個人的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオ、または、ライセンスを受けた提供者から入手した AVC ビデオを再生すること。
 詳細については MPEG LA, LLC ホームページ (<http://www.mpeglal.com>) をご参照ください。
- ・本体がテレビ画面に表示する平成丸ゴシック体は、財団法人日本規格協会を中心に制作グループが共同開発したものです。許可なく複製することはできません。
- ・この製品に使用されているソフトウェアに関する情報は、下記をご参照ください。
 - ・本体のソフトウェアについて
モニターの「ホーム」画面を表示し、「設定」→「取扱説明書」→「ソフトウェアに関するお知らせ」
 - ・モニターのソフトウェアについて

モニターの「ホーム」画面を表示し、「設定」→「その他の設定」→「システム情報表示」→「ソフト情報表示」

- メールやデータ放送のポイントなどのデジタル放送に関する情報は、本体が記憶します。万一、本体の不都合によって、これらの情報が消失した場合、復元は不可能です。その内容の補償についてはご容赦ください。
- この取扱説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の登録商標または商標です。
- 本機は2019年5月現在のデジタル放送規格の運用条件（著作権保護内容）に基づいて設計されています。
- あなたが録画・録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。
- シーン／見どころ情報は、情報提供元より提供された番組関連情報を元に表示しています。当社は、シーン／見どころ情報について、表示結果としての完全性、正確性、網羅性、的確性、十分性、その他あらゆる意味での完成度について、一切保証を行うものではありません。シーン／見どころ情報の正確性、的確性、完成度などに起因した場合は関連して生じたお客様の損失・損害について、当社は一切責任を負わないものとします。
- 天災、システム障害などの事由により、シーン／見どころ情報が表示できない場合があります。当社は、シーン／見どころ情報の使用に関わるいかなる損害、損失に対しても責任を負いません。



音のエチケット

楽しい音楽も時と場所によっては気になるものです。適度の音量にして隣り近所へ配慮しましょう。特に静かな夜間には窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるのも一つの方法です。



音のエチケット
シンボルマーク

放送やネットワークのサービス事業者が提供する以下のサービス内容は、サービス提供会社の都合により、予告なく変更や終了することがあります。サービスの変更や終了にかかるいかなる損害、損失に対しても当社は責任を負いません。

- 番組表表示や、1ヶ月の番組表、注目番組などの電子番組表サービス
- 宅外リモート接続機能
- インターネットメニュー画面の機能
- その他の放送・ネットワーク事業者が提供するサービス

商標文について

ソフトウェアに関するお知らせ

この製品はオープンソフトウェアをソフトウェア部品として利用しています。それらの利用規定に従い、以下に必要事項を表示します。

本製品は、以下の種類のソフトウェアから構成されています。

- (1) パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社（パナソニック）が
独自に開発したソフトウェア
- (2) 第三者が保有しており、パナソニックにライセンスされたソフトウェア
- (3) GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.0 (GPL V2.0) に基づきライセンスされた
ソフトウェア
- (4) GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version2.1 (LGPL V2.1) に基づきラ
イセンスされたソフトウェア
- (5) GPL V2.0、LGPL V2.1 以外の条件に基づきライセンスされたオープンソースsoft
ウェア

上記(3)～(5)に分類されるソフトウェアは、これら単体で有用であることを期待して頒布
されますが、「商品性」または「特定の目的についての適合性」についての默示の保証をし
ないことを含め、一切の保証はなされません。

詳細は、本製品のソフト情報表示画面から所定の操作により表示されるライセンス条件をご
参照ください。

パナソニックは、本製品の発売から少なくとも3年間、以下の問い合わせ窓口にご連絡いた
だいた方に対し、実費にて、GPL V2.0、LGPL V2.1、またはソースコードの開示義務を
課すその他の条件に基づきライセンスされたソフトウェアに対応する完全かつ機械読取り可
能なソースコードを、それぞれの著作権者の情報と併せて提供します。

問い合わせ窓口：oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

また、これらソースコードおよび著作権者の情報は、以下のウェブサイトからも自由に無料
で入手することができます。

<https://panasonic.net/cns/oss/>

This product incorporates the following software:

- (1) the software developed independently by or for Panasonic Entertainment &
Communication Co., Ltd. (Panasonic),
- (2) the software owned by third party and licensed to Panasonic,
- (3) the software licensed under the GNU General Public License, Version 2.0
(GPL V2.0),
- (4) the software licensed under the GNU LESSER General Public License,
Version 2.1 (LGPL V2.1), and/or
- (5) open source software other than the software licensed under the GPL V2.0
and/or LGPL V2.1.

The software categorized as (3) - (5) are distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY, without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. Please refer to the detailed terms and conditions thereof shown in the Player Settings menu.

At least three (3) years from delivery of this product, Panasonic will give to any third party who contacts us at the contact information provided below, for a charge no more than our cost of physically performing source code distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code covered under GPL V2.0, LGPL V2.1 or the other licenses with the obligation to do so, as well as the respective copyright notice thereof.

Contact Information:

oss-cd-request@gg.jp.panasonic.com

The source code and the copyright notice are also available for free in our website below.

<https://panasonic.net/cns/oss/>

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it.

(Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Library General Public License instead.)

You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps:

- (1) copyright the software, and
- (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all."

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

O. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The ""Program"", below, refers to any such program or work, and a ""work based on the Program"" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term ""modification"".) Each licensee is addressed as ""you"".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and

disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.
- c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it.

For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License."

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and ""any later version"", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation."

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM ""AS IS"" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS
GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2.1, February 1999

Copyright (C) 1991, 1999 Free Software Foundation, Inc.
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed."

"[This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.]

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are intended to guarantee your freedom to share and change free software--to make sure the software is free for all its users.

This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages--typically libraries--of the Free Software Foundation and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below.

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it.

For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. If you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can relink them with the library after making changes to the library and recompiling it. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method:

- (1) we copyright the library, and
- (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder. Therefore, we insist that any patent license obtained for a version of the library must be consistent with the full freedom of use specified in this license.

Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License, applies to certain designated libraries, and is quite different from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs.

When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits its criteria of freedom. The Lesser General Public License permits more lax criteria for linking other code with the library."

" We call this license the ""Lesser"" General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License. It also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. However, the Lesser license provides advantages in certain special circumstances.

For example, on rare occasions, there may be a special need to encourage the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard. To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License."

" In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system.

Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow. Pay close attention to the difference between a ""work based on the library"" and a ""work that uses the library"". The former contains code derived from the library, whereas the latter must be combined with the library in order to run.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

O. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called ""this License""). Each licensee is addressed as ""you"".

A ""library"" means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables.

The ""Library"", below, refers to any such software library or work which has been distributed under these terms. A ""work based on the Library"" means either the Library or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Library or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated straightforwardly into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term ""modification"".)

""Source code"" for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library in a tool for writing it). Whether that is true depends on what the Library does and what the program that uses the Library does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and distribute a copy of this License along with the Library.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Library or any portion of it, thus forming a work based on the Library, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

- a) The modified work must itself be a software library.
- b) You must cause the files modified to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.
- c) You must cause the whole of the work to be licensed at no charge to all third parties under the terms of this License.

d) If a facility in the modified Library refers to a function or a table of data to be supplied by an application program that uses the facility, other than as an argument passed when the facility is invoked, then you must make a good faith effort to ensure that, in the event an application does not supply such function or table, the facility still operates, and performs whatever part of its purpose remains meaningful.

(For example, a function in a library to compute square roots has a purpose that is entirely well-defined independent of the application. Therefore, Subsection 2d requires that any application-supplied function or table used by this function must be optional: if the application does not supply it, the square root function must still compute square roots.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Library, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Library.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library (or with a work based on the Library) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may opt to apply the terms of the ordinary GNU General Public License instead of this License to a given copy of the Library. To do this, you must alter all the notices that refer to this License, so that they refer to the ordinary GNU General Public License, version 2, instead of to this License. (If a newer version than version 2 of the ordinary GNU General Public License has appeared, then you can specify that version instead if you wish.) Do not make any other change in these notices.

Once this change is made in a given copy, it is irreversible for that copy, so the ordinary GNU General Public License applies to all subsequent copies and derivative works made from that copy.

This option is useful when you wish to copy part of the code of the Library into a program that is not a library.

4. You may copy and distribute the Library (or a portion or derivative of it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you accompany it with the complete corresponding

machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange.

If distribution of object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place satisfies the requirement to distribute the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

5. A program that contains no derivative of any portion of the Library, but is designed to work with the Library by being compiled or linked with it, is called a ""work that uses the Library"". Such a work, in isolation, is not a derivative work of the Library, and therefore falls outside the scope of this License.

However, linking a ""work that uses the Library"" with the Library creates an executable that is a derivative of the Library (because it contains portions of the Library), rather than a ""work that uses the library"". The executable is therefore covered by this License. Section 6 states terms for distribution of such executables.

When a ""work that uses the Library"" uses material from a header file that is part of the Library, the object code for the work may be a derivative work of the Library even though the source code is not. Whether this is true is especially significant if the work can be linked without the Library, or if the work is itself a library. The threshold for this to be true is not precisely defined by law.

If such an object file uses only numerical parameters, data structure layouts and accessors, and small macros and small inline functions (ten lines or less in length), then the use of the object file is unrestricted, regardless of whether it is legally a derivative work. (Executables containing this object code plus portions of the Library will still fall under Section 6.)

Otherwise, if the work is a derivative of the Library, you may distribute the object code for the work under the terms of Section 6. Any executables containing that work also fall under Section 6, whether or not they are linked directly with the Library itself."

" 6. As an exception to the Sections above, you may also combine or link a ""work that uses the Library"" with the Library to produce a work containing portions of the Library, and distribute that work under terms of your choice, provided that the terms permit modification of the work for the customer's own use and reverse engineering for debugging such modifications.

You must give prominent notice with each copy of the work that the Library is used in it and that the Library and its use are covered by this License. You must supply a copy of this License. If the work during execution displays copyright notices, you must include the copyright notice for the Library among them, as well as a reference directing the user to the copy of this License. Also, you must do one of these things:

- a) Accompany the work with the complete corresponding machine-readable source code for the Library including whatever changes were used in the work (which must be distributed under Sections 1 and 2 above); and, if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable "work that uses the Library", as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library. (It is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)
- b) Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.
- c) Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.
- d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.
- e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the "work that uses the Library" must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-by-side in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

- a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.
- b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

8. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

11. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution

system which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the Lesser General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Library specifies a version number of this License which applies to it and ""any later version"", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

14. If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

15. BECAUSE THE LIBRARY IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE LIBRARY, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE LIBRARY ""AS IS"" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE LIBRARY IS WITH YOU. SHOULD THE

LIBRARY PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

16. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE LIBRARY AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE LIBRARY (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE LIBRARY TO OPERATE WITH ANY OTHER SOFTWARE), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

*** thttpd ***

Copyright (c) 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS ""AS IS"" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*** nkf ***

Network Kanji Filter Version 2.0.7 (2006-06-13)
 Copyright (C) 1987, FUJITSU LTD. (I.Ichikawa), 2000 S. Kono, COW
 Copyright (C) 2002-2006 Kono, Furukawa, Naruse, mastodon

***** OpenSSL *****

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project.
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (<http://www.openssl.org/>)"
4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.
5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.
6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment: "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS'' AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OpenSSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE)

ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com)
All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com).

The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are adhered to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, Ihash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: ""This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)"" The word 'cryptographic' can be left out if the routines from the library being used are not cryptographic related :-).
4. If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: ""This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)""

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED

WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

*** Curl ***

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder."

*** libpng ***

This copy of the libpng notices is provided for your convenience. In case of any discrepancy between this copy and the notices in the file png.h that is included in the libpng distribution, the latter shall prevail.

COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE:

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.

This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.2.6, August 15, 2004, through 1.5.13, September 27, 2012, are Copyright (c) 2004, 2006-2012 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.2.5 with the following individual added to the list of Contributing Authors

Cosmin Truta

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000, through 1.2.5 - October 3, 2002, are Copyright (c) 2000-2002 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Gilles Vollant

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998, 1999 Glenn Randers-Pehrson, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996, 1997 Andreas Dilger Distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey

Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995, 1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

A "png_get_copyright" function is available, for convenient use in "about" boxes and the like:

```
printf("%s",png_get_copyright(NULL));
```

Also, the PNG logo (in PNG format, of course) is supplied in the files ""pngbar.png"" and ""pngbar.jpg (88x31) and ""pngnow.png"" (98x31).

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative.

Glenn Randers-Pehrson
glenrrp at users.sourceforge.net
July 9, 2011

*** JPEG ***

the software based in part on the work of the Independent JPEG Group.

*** FreeType ***

the software developed by the FreeType Project.

*** XFree86-1.1 ***

Copyright (C) 1994-2003 The XFree86 Project, Inc.
All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the ""Software""), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE XFREE86 PROJECT BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of the XFree86 Project shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization from the XFree86 Project.

*** zlib ***

Copyright (C) 1995-2013 Jean-loup Gailly and Mark Adler"

" This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

Jean-loup Gailly Mark Adler
 jloup@gzip.org
 madler@alumni.caltech.edu"

Mozilla Public License Version 2.0

1. Definitions

1.1. "Contributor"

means each individual or legal entity that creates, contributes to the creation of, or owns Covered Software.

1.2. "Contributor Version"

means the combination of the Contributions of others (if any) used by a Contributor and that particular Contributor's Contribution.

1.3. "Contribution"

means Covered Software of a particular Contributor.

1.4. "Covered Software"

means Source Code Form to which the initial Contributor has attached the notice in Exhibit A, the Executable Form of such Source Code Form, and Modifications of such Source Code Form, in each case including portions thereof.

1.5. "Incompatible With Secondary Licenses"

means

a. that the initial Contributor has attached the notice described in Exhibit B to the Covered Software; or

b.that the Covered Software was made available under the terms of version 1.1 or earlier of the License, but not also under the terms of a Secondary License.

1.6. “Executable Form”

means any form of the work other than Source Code Form.

1.7. “Larger Work”

means a work that combines Covered Software with other material, in a separate file or files, that is not Covered Software.

1.8. “License”

means this document.

1.9. “Licensable”

means having the right to grant, to the maximum extent possible, whether at the time of the initial grant or subsequently, any and all of the rights conveyed by this License.

1.10. “Modifications”

means any of the following:

a.any file in Source Code Form that results from an addition to, deletion from, or modification of the contents of Covered Software; or

b.any new file in Source Code Form that contains any Covered Software.

1.11. “Patent Claims” of a Contributor

means any patent claim(s), including without limitation, method, process, and apparatus claims, in any patent Licensable by such Contributor that would be infringed, but for the grant of the License, by the making, using, selling, offering for sale, having made, import, or transfer of either its Contributions or its Contributor Version.

1.12. “Secondary License”

means either the GNU General Public License, Version 2.0, the GNU Lesser General Public License, Version 2.1, the GNU Affero General Public License, Version 3.0, or any later versions of those licenses.

1.13. “Source Code Form”

means the form of the work preferred for making modifications.

1.14. “You” (or “Your”)

means an individual or a legal entity exercising rights under this License. For legal entities, “You” includes any entity that controls, is controlled by, or is under common control with You. For purposes of this definition, “control” means (a) the power, direct or indirect, to cause the direction or management of such entity, whether by contract or otherwise, or (b) ownership of more than fifty percent (50%) of the outstanding shares or beneficial ownership of such entity.

2. License Grants and Conditions

2.1. Grants

Each Contributor hereby grants You a world-wide, royalty-free, non-exclusive license:

- a.under intellectual property rights (other than patent or trademark) Licensable by such Contributor to use, reproduce, make available, modify, display, perform, distribute, and otherwise exploit its Contributions, either on an unmodified basis, with Modifications, or as part of a Larger Work; and
- b.under Patent Claims of such Contributor to make, use, sell, offer for sale, have made, import, and otherwise transfer either its Contributions or its Contributor Version.

2.2. Effective Date

The licenses granted in Section 2.1 with respect to any Contribution become effective for each Contribution on the date the Contributor first distributes such Contribution.

2.3. Limitations on Grant Scope

The licenses granted in this Section 2 are the only rights granted under this License. No additional rights or licenses will be implied from the distribution or licensing of Covered Software under this License. Notwithstanding Section 2.1(b) above, no patent license is granted by a Contributor:

- a.for any code that a Contributor has removed from Covered Software; or
- b.for infringements caused by: (i) Your and any other third party's modifications of Covered Software, or (ii) the combination of its Contributions with other software (except as part of its Contributor Version); or
- c.under Patent Claims infringed by Covered Software in the absence of its Contributions.

This License does not grant any rights in the trademarks, service marks, or logos of any Contributor (except as may be necessary to comply with the notice requirements in Section 3.4).

2.4. Subsequent Licenses

No Contributor makes additional grants as a result of Your choice to distribute the Covered Software under a subsequent version of this License (see Section 10.2) or under the terms of a Secondary License (if permitted under the terms of Section 3.3).

2.5. Representation

Each Contributor represents that the Contributor believes its Contributions are its original creation(s) or it has sufficient rights to grant the rights to its Contributions conveyed by this License.

2.6. Fair Use

This License is not intended to limit any rights You have under applicable copyright doctrines of fair use, fair dealing, or other equivalents.

2.7. Conditions

Sections 3.1, 3.2, 3.3, and 3.4 are conditions of the licenses granted in Section 2.1.

3. Responsibilities

3.1. Distribution of Source Form

All distribution of Covered Software in Source Code Form, including any Modifications that You create or to which You contribute, must be under the terms of this License. You must inform recipients that the Source Code Form of the Covered Software is governed by the terms of this License, and how they can obtain a copy of this License. You may not attempt to alter or restrict the recipients' rights in the Source Code Form.

3.2. Distribution of Executable Form

If You distribute Covered Software in Executable Form then:

a.such Covered Software must also be made available in Source Code Form, as described in Section 3.1, and You must inform recipients of the Executable Form how they can obtain a copy of such Source Code Form by reasonable means in a timely manner, at a charge no more than the cost of distribution to the recipient; and

b.You may distribute such Executable Form under the terms of this License, or sublicense it under different terms, provided that the license for the Executable Form does not attempt to limit or alter the recipients' rights in the Source Code Form under this License.

3.3. Distribution of a Larger Work

You may create and distribute a Larger Work under terms of Your choice, provided that You also comply with the requirements of this License for the Covered Software. If the Larger Work is a combination of Covered Software with a work governed by one or more Secondary Licenses, and the Covered Software

is not Incompatible With Secondary Licenses, this License permits You to additionally distribute such Covered Software under the terms of such Secondary License(s), so that the recipient of the Larger Work may, at their option, further distribute the Covered Software under the terms of either this License or such Secondary License(s).

3.4. Notices

You may not remove or alter the substance of any license notices (including copyright notices, patent notices, disclaimers of warranty, or limitations of liability) contained within the Source Code Form of the Covered Software, except that You may alter any license notices to the extent required to remedy known factual inaccuracies.

3.5. Application of Additional Terms

You may choose to offer, and to charge a fee for, warranty, support, indemnity or liability obligations to one or more recipients of Covered Software. However, You may do so only on Your own behalf, and not on behalf of any Contributor. You must make it absolutely clear that any such warranty, support, indemnity, or liability obligation is offered by You alone, and You hereby agree to indemnify every Contributor for any liability incurred by such Contributor as a result of warranty, support, indemnity or liability terms You offer. You may include additional disclaimers of warranty and limitations of liability specific to any jurisdiction.

4. Inability to Comply Due to Statute or Regulation

If it is impossible for You to comply with any of the terms of this License with respect to some or all of the Covered Software due to statute, judicial order, or regulation then You must: (a) comply with the terms of this License to the maximum extent possible; and (b) describe the limitations and the code they affect. Such description must be placed in a text file included with all distributions of the Covered Software under this License. Except to the extent prohibited by statute or regulation, such description must be sufficiently detailed for a recipient of ordinary skill to be able to understand it.

5. Termination

5.1. The rights granted under this License will terminate automatically if You fail to comply with any of its terms. However, if You become compliant, then the rights granted under this License from a particular Contributor are reinstated (a) provisionally, unless and until such Contributor explicitly and finally terminates Your grants, and (b) on an ongoing basis, if such Contributor fails to notify You of the non-compliance by some reasonable means prior to 60 days after You have come back into compliance.

Moreover, Your grants from a particular Contributor are reinstated on an ongoing basis if such Contributor notifies You of the non-compliance by some reasonable means, this is the first time You have received notice of non-compliance with this License from such Contributor, and You become compliant prior to 30 days after Your receipt of the notice.

5.2. If You initiate litigation against any entity by asserting a patent infringement claim (excluding declaratory judgment actions, counter-claims, and cross-claims) alleging that a Contributor Version directly or indirectly infringes any patent, then the rights granted to You by any and all Contributors for the Covered Software under Section 2.1 of this License shall terminate.

5.3. In the event of termination under Sections 5.1 or 5.2 above, all end user license agreements (excluding distributors and resellers) which have been validly granted by You or Your distributors under this License prior to termination shall survive termination.

6. Disclaimer of Warranty

Covered Software is provided under this License on an “as is” basis, without warranty of any kind, either expressed, implied, or statutory, including, without limitation, warranties that the Covered Software is free of defects, merchantable, fit for a particular purpose or non-infringing.

The entire risk as to the quality and performance of the Covered Software is with You. Should any Covered Software prove defective in any respect, You (not any Contributor) assume the cost of any necessary servicing, repair, or correction. This disclaimer of warranty constitutes an essential part of this License. No use of any Covered Software is authorized under this License except under this disclaimer.

7. Limitation of Liability

Under no circumstances and under no legal theory, whether tort (including negligence), contract, or otherwise, shall any Contributor, or anyone who distributes Covered Software as permitted above, be liable to You for any direct, indirect, special, incidental, or consequential damages of any character including, without limitation, damages for lost profits, loss of goodwill, work stoppage, computer failure or malfunction, or any and all other commercial damages or losses, even if such party shall have been informed of the possibility of such damages. This limitation of liability shall not apply to liability for death or personal injury resulting from such party’s negligence to the extent applicable law prohibits such limitation. Some jurisdictions do not allow the exclusion or limitation of incidental or consequential damages, so this exclusion and limitation may not apply to You.

8. Litigation

Any litigation relating to this License may be brought only in the courts of a jurisdiction where the defendant maintains its principal place of business and such litigation shall be governed by laws of that jurisdiction, without reference to its conflict-of-law provisions. Nothing in this Section shall prevent a party's ability to bring cross-claims or counter-claims.

9. Miscellaneous

This License represents the complete agreement concerning the subject matter hereof. If any provision of this License is held to be unenforceable, such provision shall be reformed only to the extent necessary to make it enforceable. Any law or regulation which provides that the language of a contract shall be construed against the drafter shall not be used to construe this License against a Contributor.

10. Versions of the License

10.1. New Versions

Mozilla Foundation is the license steward. Except as provided in Section 10.3, no one other than the license steward has the right to modify or publish new versions of this License. Each version will be given a distinguishing version number.

10.2. Effect of New Versions

You may distribute the Covered Software under the terms of the version of the License under which You originally received the Covered Software, or under the terms of any subsequent version published by the license steward.

10.3. Modified Versions

If you create software not governed by this License, and you want to create a new license for such software, you may create and use a modified version of this License if you rename the license and remove any references to the name of the license steward (except to note that such modified license differs from this License).

10.4. Distributing Source Code Form that is Incompatible With Secondary Licenses

If You choose to distribute Source Code Form that is Incompatible With Secondary Licenses under the terms of this version of the License, the notice described in Exhibit B of this License must be attached.

Exhibit A - Source Code Form License Notice

This Source Code Form is subject to the terms of the Mozilla Public License, v. 2.0. If a copy of the MPL was not distributed with this file, You can obtain one at <https://mozilla.org/MPL/2.0/>.

If it is not possible or desirable to put the notice in a particular file, then You may include the notice in a location (such as a LICENSE file in a relevant directory) where a recipient would be likely to look for such a notice.

You may add additional accurate notices of copyright ownership.

Exhibit B - “Incompatible With Secondary Licenses” Notice

This Source Code Form is “Incompatible With Secondary Licenses”, as defined by the Mozilla Public License, v. 2.0.

*** libFLAC ***

libFLAC - Free Lossless Audio Codec library
Copyright (C) 2001,2002,2003,2004,2005,2006,2007
Josh Coalson

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of the Xiph.org Foundation nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE FOUNDATION OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE

USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*** Jansson v2.4 ***

Copyright (c) 2009-2012 Petri Lehtinen <petri@digip.org>

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the ""Software""), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

*** H.264/AVC Reference Software ***

Software Copyright Licensing Disclaimer

This software module was originally developed by contributors to the course of the development of ISO/IEC 14496-10 for reference purposes and its performance may not have been optimized.

This software module is an implementation of one or more tools as specified by ISO/IEC 14496-10. ISO/IEC gives users free license to this software module or modifications thereof. Those intending to use this software module in products are advised that its use may infringe existing patents. ISO/IEC have no liability for use of this software module or modifications thereof. The original contributors retain full rights to modify and use the code for their own purposes, and to assign or donate the code to third-parties.

This copyright notice must be included in allcopies or derivative works.
Copyright (c) ISO/IEC 2004, 2005, 2006, 2007, 2008.

*** netkit(ping) ***

Copyright (c) 1985, 1991 The Regents of the University of California.

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement:
This product includes software developed by the University of California, Berkeley and its contributors.
4. Neither the name of the University nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE REGENTS AND CONTRIBUTORS ``AS IS'' AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE REGENTS OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION)

HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*** fdk-aac ***

Software License for The Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android

Copyright 1995 - 2012 Fraunhofer-Gesellschaft
zur Förderung der angewandten Forschung e.V.

All rights reserved.

1. INTRODUCTION

The Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android ("FDK AAC Codec") is software that implements the MPEG Advanced Audio Coding ("AAC") encoding and decoding scheme for digital audio.

This FDK AAC Codec software is intended to be used on a wide variety of Android devices.

AAC's HE-AAC and HE-AAC v2 versions are regarded as today's most efficient general perceptual audio codecs. AAC-ELD is considered the best-performing full-bandwidth communications codec by independent studies and is widely deployed. AAC has been standardized by ISO and IEC as part of the MPEG specifications.

Patent licenses for necessary patent claims for the FDK AAC Codec (including those of Fraunhofer) may be obtained through Via Licensing (www.vialicensing.com) or through the respective patent owners individually for the purpose of encoding or decoding bit streams in products that are compliant with the ISO/IEC MPEG audio standards. Please note that most manufacturers of Android devices already license these patent claims through Via Licensing or directly from the patent owners, and therefore FDK AAC Codec software may already be covered under those patent licenses when it is used for those licensed purposes only.

Commercially-licensed AAC software libraries, including floating-point versions with enhanced sound quality, are also available from Fraunhofer. Users are encouraged to check the Fraunhofer website for additional applications information and documentation.

2. COPYRIGHT LICENSE

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted without payment of copyright license fees provided that you satisfy the following conditions:

You must retain the complete text of this software license in redistributions of the FDK AAC Codec or your modifications thereto in source code form.

You must retain the complete text of this software license in the documentation and/or other materials provided with redistributions of the FDK AAC Codec or your modifications thereto in binary form.

You must make available free of charge copies of the complete source code of the FDK AAC Codec and your modifications thereto to recipients of copies in binary form.

The name of Fraunhofer may not be used to endorse or promote products derived from this library without prior written permission.

You may not charge copyright license fees for anyone to use, copy or distribute the FDK AAC Codec software or your modifications thereto.

Your modified versions of the FDK AAC Codec must carry prominent notices stating that you changed the software and the date of any change. For modified versions of the FDK AAC Codec, the term Fraunhofer FDK AAC Codec Library for

Android must be replaced by the term Third-Party Modified Version of the Fraunhofer FDK AAC Codec Library for Android.

3. NO PATENT LICENSE

NO EXPRESS OR IMPLIED LICENSES TO ANY PATENT CLAIMS, including without limitation the patents of Fraunhofer, ARE GRANTED BY THIS SOFTWARE LICENSE. Fraunhofer provides no warranty of patent non-infringement with respect to this software.

You may use this FDK AAC Codec software or modifications thereto only for purposes that are authorized by appropriate patent licenses.

4. DISCLAIMER

This FDK AAC Codec software is provided by Fraunhofer on behalf of the copyright holders and contributors AS IS and WITHOUT ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, including but not limited to the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, including but not limited to procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits, or business interruption, however caused and on any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence), arising in any way out of the use of this software, even if advised of the possibility of such damage.

5. CONTACT INFORMATION

Fraunhofer Institute for Integrated Circuits IIS
Attention: Audio and Multimedia
Departments - FDK AAC LL
Am Wolfsmantel 33
91058 Erlangen, Germany

www.iis.fraunhofer.de/amm
amm-info@iis.fraunhofer.de

*** hostapd ***

Copyright (c) 2002-2015, Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license
(the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*** WPA Suplicant ***

Copyright (c) 2003-2015,
Jouni Malinen <j@w1.fi> and contributors
All Rights Reserved.

This program is licensed under the BSD license
(the one with advertisement clause removed).

If you are submitting changes to the project, please see CONTRIBUTIONS file for more instructions.

This software may be distributed, used, and modified under the terms of BSD license:

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyrigh notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name(s) of the above-listed copyright holder(s) nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT OWNER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

*** lua script, luasocket, luasec, luaf filesystem,
lua-md5, copas.lua, coxpcall.lua, urlcode.lua ***

Copyright (C) 1994-2012 Lua.org, PUC-Rio.
Copyright (C) 2004-2007 Diego Nehab
Copyright (C) 2006-2011 Bruno Silvestre, PUC-Rio
Copyright (C) 2005-2010 Kepler Project.
Copyright (C) 2003 PUC-Rio. All rights reserved.
Copyright (C) 2005-2010 Kepler Project.
Copyright (C) 2005 Kepler Project.
Copyright (C) 2003 Kepler Project.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

*** Curl ***

COPYRIGHT AND PERMISSION NOTICE

Copyright (c) 1996 - 2011, Daniel Stenberg, <daniel@haxx.se>.

All rights reserved.

Permission to use, copy, modify, and distribute this software for any purpose with or without fee is hereby granted, provided that the above copyright notice and this permission notice appear in all copies.

THE SOFTWARE IS PROVIDED ""AS IS"", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT OF THIRD PARTY RIGHTS. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

Except as contained in this notice, the name of a copyright holder shall not be used in advertising or otherwise to promote the sale, use or other dealings in this Software without prior written authorization of the copyright holder.

故障かな！？ / 困ったとき

修理を依頼される前に

修理を依頼される前に、下記の項目を確かめてください。これらの処置をしても直らないときや、下記の項目以外の症状は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

次のような場合は、故障ではありません。

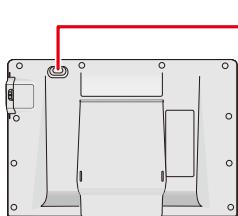
- ・ モニターの電源切／入時にスピーカーやヘッドホンから聞こえる音
- ・ モニター充電中に、AC アダプターの内部で音がする
- ・ モニターの液晶画面の 0.01% の画素欠けや常時点灯
- ・ 本体の電源切／入時の音
- ・ 本体が以下の状態のときに、HDD の動作音が聞こえる場合があります。
 - ・ 番組表データを受信中
 - ・ ソフトウェア更新中
 - ・ 録画中
 - ・ 録画モード変換時
 - ・ 「ビエラリンク録画待機」の「入」時
 - ・ 「お部屋ジャンプリンク」録画一覧番組の自動更新中
 - ・ 予約録画終了時または午前 4 時ごろ（1 週間に 1 回程度）の、本体の自動再起動時（本体全体の安定性維持のため、自動的に内部点検を行っています）
- ・ 無線の状態によっては、モニターでの視聴や再生中に映像や音声が途切れたり、停止する場合があります。

操作ができなくなったときは・・・

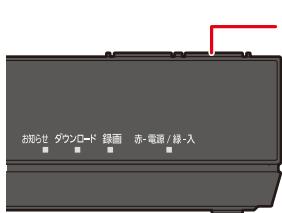
- 各種安全装置が働いていることがあります。

① [電源 \odot/I] を押し、電源を切る

- モニターが切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的に切れます。
(それでも切れない場合は、伸ばしたクリップなどをリセットボタン (P18) に差し込んで押す)



- 本体が切れない場合は、約 3 秒間押したままにすると強制的にリセットされます。
(それでもリセットされない場合は、電源コードをコンセントから抜き、約 1 分後再びコンセントに差し込む)



② [電源 \odot/I] を押し、電源を入れる

上記の操作を行っても操作できないときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

本体の診断について

故障と思われる症状が出たときは、下記の操作を行って機器を診断することができます。

- ・すべての故障を診断できるわけではありません。あらかじめご了承ください。

モニターで診断を行う場合

- ① 「ホーム」をタッチする
- ② 「設定」をタッチする
- ③ 「その他の設定」をタッチする
- ④ 「本体の診断」をタッチする
- ⑤ 「はい」をタッチする
 - ・診断を開始します。

本体と接続したテレビ画面で診断を行う場合

- ① 本体リモコン (P124) の  ホーム をタッチする
- ② 「全機能から選ぶ」を選び、 決定 をタッチする
- ③ 「設定する・その他の機能」を選び、 決定 をタッチする
- ④ 「メール／情報・診断コード」を選び、 決定 をタッチする
- ⑤ 「診断コード」を選び、 決定 をタッチする
- ⑥  黄 を5秒以上触れたままにする
- ⑦ 「はい」を選び、 決定 をタッチする
 - ・診断を開始します。

故障かな！？ / 困ったとき

モニター

操作ができない 本体との接続ができない

- ・本体の電源コードがつながっていますか。モニターを操作するには、本体の電源コードが接続されている必要があります。
- ・本体の「ネットワーク通信設定」を変更していませんか。その場合は、モニター側でもネットワークの設定が必要です。→ [ブロードバンドルーターを接続する \(P240\)](#)
- ・タッチパネルの操作は、指で触れてください。(爪の先で触れたり、手袋をはめた状態で触れたりすると反応しない場合があります)
- ・以下の場合は、水滴などの影響によりタッチパネルが反応しにくくなることがあります。その場合は、軽くふき取ってから操作してください。
 - ・タッチパネルがぬれた状態での操作
 - ・指が水や汗などでぬれた状態での操作
- ・金属物をタッチパネルに近づけると、タッチパネルの動作が不安定になる場合があります。その場合は、金属物をタッチパネルから離してモニターの電源を入れ直してください。
- ・「お部屋ジャンプリンク設定」の「機器一覧」([P232](#)) で、モニターのアクセス許可を取り消した場合、本体との接続ができなくなります。本体の【リンク】を押して、モニターと本体の接続をやり直してください。

自動的に電源が切れた

- ・「無信号電源オフ」([P99](#)) が働いている場合、自動的に電源が切れます。
- ・「自動電源オン／オフ（時刻指定）」([P99](#)) を設定している場合、指定した時刻になると自動的に電源が切れます。
- ・ソフトウェア更新の実行前に、自動的に電源が切れます。
- ・モニターの温度が上昇すると、安全のため自動的に電源が切れます。高温になる場所でのモニターの使用はしないでください。

自動的に電源が入った

- ・「自動電源オン／オフ（時刻指定）」([P99](#)) を設定している場合、指定した時刻になると自動的に電源が入ります。

充電しても使用できる時間が極端に短い

- ・モニターは電源「切」時でも、通信のため内蔵電池を消費しています。持ち運んでご利用時以外は充電台に置くようにしてください。
- ・電池の寿命です。電池の交換は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。電池が寿命の場合でも、モニターを充電台に置いて使用することはできます。

サブチャンネルが見られない

- ・モニターの「放送設定」の「選局対象」([P97](#)) を「すべて」に設定すると、本機で見ることができるチャンネルのすべてを選局します。

データ放送が見られない

- モニターではデータ放送は見られません。

ヘッドホンから音が出ない

- ノイズキャンセリング機能などを搭載した4極以上のプラグのヘッドホンを使用すると、音声が正常に出ない場合があります。

モニターを充電台に置いたとき、電源 / 充電ランプが赤色で点滅する

- モニターや充電台の充電端子にゴミや汚れがついている場合があります。乾いた布や綿棒などでふいて、ゴミや汚れを取り除いてください。

通信が安定しない

- モニターの[ステータス表示エリア \(P33\)](#)の無線電波状態のアイコンを2秒以上タッチすると、無線LANの再接続の実行画面を表示できます。
中継機が接続されている場合、再接続を行うことで通信の安定性が改善する場合があります。(ホーム画面でのみ操作可能)

故障かな！？ / 困ったとき

エコレポート

「電気の流れ」画面や「分岐回路」画面が表示されない

- ・使用電力などを計測する機器が登録されていない場合、エコレポート画面は表示されません。エネルギー計測ユニット（分電盤）を登録してください。

「電気の流れ」画面の使用電力や単価が正しく表示されない

発電機器が表示されない

- ・電気料金が正しく設定されていない場合、単価は表示されません。→ 電気料金を設定する (P108)
- ・ご自宅に太陽光発電システムやエネファーム、蓄電池の設備がない場合、画面には表示されません。
- ・電力が「-- kW」と表示される場合、エネルギー計測ユニットや太陽光発電システム、発電（放電）機器が正常に動作していません。（①が表示されます）設定メニューにしてエラー内容を確認してください。→ 機器からのお知らせ (P106)

「分岐回路」画面で分岐回路の名称が表示されない

- ・分岐回路名称が設定されていない場合、表示されません。名称を設定すると表示されるようになります。→ 分岐回路名称設定 (P94)

「分岐回路」画面で使用電力が表示されない

- ・使用電力が「-- kW」と表示される場合、機器が正常に動作していません。（①が表示されます）設定メニューにしてエラー内容を確認してください。→ 機器からのお知らせ (P106)
- ・機器の登録後、一度も使用していない場合は、表示されません。

グラフが表示されない

- ・エネルギー計測データの保存期間は1時間ごとのデータで35日、1日ごとのデータで450日（約15か月）、1か月ごとのデータで120か月（10年）です。保存期間を超えるグラフは表示されません。
- ・データ蓄積量が足りない場合、データがない期間のグラフは表示されません。

棒グラフが表示されない

グラフの表示単位（月表示にするなど）が選択できない

- ・グラフ名称（グラフに表示される内容）・表示単位（年・月・日）により、グラフの形状は異なる場合があります。また、日単位でグラフ表示できない場合があります。→ グラフの名称と表示情報について (P42)

故障かな！？ / 困ったとき

機器操作

機器操作画面で、「—」と表示される

調整メニューが表示されない

- 本機がサポートしていない機能をお使いの場合、機器操作画面には「—」と表示されます。
その機能は本機から操作できませんので、機器側で操作してください。
- 本機がサポートしていない機能の場合、調整メニューと操作ボタンは表示されません。

「エアコンタイマー」時にエアコンが運転を開始しない

「エアコンタイマー」時に部屋が適切な温度にならない

- エアコンタイマー機能の運転モードは4つあります。全部屋のエアコンが稼動するのは、「どこでも満足」「全館連続」を選んだ場合です。(初期設定は「いるところ満足」です) 運転モードは編集することができます。(新たに設定して、オリジナルとして保存することもできます) → [エアコン自動運転のスケジュールを編集する \(P54\)](#)
- 「節電」が「入」になっていますか。節電モードにすると、運転モードの設定にかかわらず、暖房は17℃、冷房は30℃に固定されます。
- 「セーブ運転設定」を設定すると、同時に始動するエアコンの台数が制限されます。→ [セーブ運転設定について \(P51\)](#)

①が表示されていないが、機器が正常に動作していない

- 機器側でエラーが起こっても、通知の有無やタイミングによっては①が表示されない場合があります。接続先の機器をご確認ください。

故障かな！？ / 困ったとき

ドアホン

モニターとドアホンがつながらない

- ・ [ステータス表示エリア \(P33\)](#) に ■× が表示されている場合は、ドアホンが登録されていますが、モニターと接続されていません。ドアホンの電源が入っているか、ドアホンに不具合がないかご確認ください。(詳しくは、ドアホンの取扱説明書をお読みください)
- ・ [ステータス表示エリア \(P33\)](#) にドアホンアイコンが表示されていない場合は、モニターにドアホンが登録されていません。[ドアホン登録 \(P96\)](#) を行ってください。

モニターからの音声がドアホン側に聞こえない

ドアホン側の音声が聞こえない

- ・ プレストーク通話になつていませんか。プレストーク通話にすると、「プレストーク」を押している間だけ、モニターの音声が外に聞こえます。[→ プレストーク通話にする \(P59\)](#)
- ・ ドアホン親機・子機からドアホン転送を受けた場合、ドアホン親機・子機側で通話を終了しないと、モニターとドアホンはつながりません。
- ・ ドアホンのマイクなどに不具合がないかご確認ください。(詳しくは、ドアホンの取扱説明書をお読みください)
- ・ モニターのスピーカーからの音量は、画面の音量「+」「-」で調整してください。
- ・ [マイク \(P18\)](#) の送話口内部に水が溜まって残っている場合、マイク性能が不足するときがあります。水が残っている場合は、モニターを振るなどして排水してください。

ドアホンからの着信があるのに、ポップアップ画面が表示されない

- ・ ドアホン通話中、呼び出し中、転送中はドアホン側に来客があつても、ポップアップ画面は表示されません。
- ・ モニターでドアホンを使用しているときは、センサーハンマーが検知してもポップアップ画面は表示されません。
- ・ 他のドアホン親機・子機で応答した場合、ポップアップ画面は消えます。
- ・ 「[ドアホン設定 \(P96\)](#)」で「センサーハンマー受信」が「切」の場合、センサーハンマーが人や動物などの動きを検知してもポップアップ画面は表示されません。

ドアホンや子機、センサーハンマーを追加したい

- ・ ドアホン親機側で登録してください。ドアホン親機に登録すると、自動的にモニターに接続されます。(モニターに接続できるのは、ドアホン：最大3台、子機：最大5台、センサーハンマー：最大4台までです。ただし接続するドアホン親機によって変わります) 詳しくは、ドアホンの取扱説明書をお読みください。

ドアホンの登録を解除したい

- ・ ドアホン親機側で減設してください。(詳しくは、ドアホンの取扱説明書をお読みください)

ドアホンからの着信を受けると、テレビの画面が乱れる

- ・ テレビでCS放送を視聴中にドアホンから着信があった場合、テレビの映像が乱れる場合があります。
モニターはテレビから離して設置してください。

雑音（ハウリング）が聞こえてドアホン通話できない

- 通話中の相手との距離が近すぎると、雑音（ハウリング）が聞こえます。少し離れた場所で通話してください。

ドアホン通話が途切れる、または、ほとんど聞こえない

- 自分または通話相手の周りで大きな音がしていると通話が途切れことがあります。プレストーク通話に切り替えると話しやすくなります。
- モニターがドアホン親機から離れすぎている、または間にコンクリート壁などの電波を通りにくい障害物がありませんか。ドアホン親機の近く、または障害物のない場所にモニターを移動させてください。

故障かな！？ / 困ったとき

機器からのお知らせ

設定アイコンに **!** が表示されている

- ・機器エラーや警告のお知らせ（未読）があると、**!** が表示されます。（**未** は表示されません）設定メニューから内容を確認してください。

目標・アドバイスが届かない

- ・「目標・アドバイス設定」(P94) の「アドバイス表示」が「切」になっている場合、目標・アドバイスは表示されません。
- ・1週間前の土曜日の使用電力量のデータがない場合は、週に1度の目標達成度のお知らせは配信されません。

お知らせが削除されている

お知らせを消去したい

- ・お知らせは「目標・アドバイス／シーン実行履歴」「機器エラー・警告」とも最大30件まで保存されます。それぞれ30件を超えると未読であっても古いものから削除されます。
- ・「機器エラー・警告」は消去をタッチして消去してください。
- ・「目標・アドバイス／シーン実行履歴」のお知らせを消去することはできません。

故障かな！？ / 困ったとき

電源（本体）

電源が入らない

- ・予約録画終了時や午前4時ごろの数分間は、電源ボタン以外の操作ができないときがあります。
- ・電源コードを差した直後は電源が入りません。しばらくお待ちください。

自動的に電源が切れた

- ・「自動電源〔切〕」(P224) やビエラリンク (HDMI) の電源オフ連動 (P204)、ビエラの「こまめにオフ」の機能が働いている場合、自動的に電源が切れます。

自動的に電源が入る

- ・ビエラリンク (HDMI) をお使いのときは、テレビから電源を入れたり予約をすると、本機の電源が自動的に入ります。

ビエラリンク (HDMI) が働かなくなつた

- ・本体の【電源 \cup/\downarrow 】を約3秒間押して電源を切り、テレビの主電源を切ったあと、HDMIケーブルを抜き差ししてください。

故障かな！？ / 困ったとき

テレビ画面や映像（本体）

本体を接続したら、テレビの映りが悪くなったり、または映らなくなったり

- ・アンテナケーブルの接続方法によっては、映りにくくなる場合があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- ・「アンテナ電源」(P214) を「入」にしているときは、テレビ側のアンテナ電源も「入」にしてください。
- ・「アンテナ出力」(P214) を「入」にしてください。「切」の場合、本体の電源「切」時にBS・110度CSアンテナ出力から信号を出力しないため、テレビなどでBS・110度CSデジタル放送を視聴できません。
- ・一度「アッテネーター」(P214) の設定を切り換えてみてください。

本体からの映像が映らない

テレビに「信号がありません。」が表示される

- ・本体の【電源 】を押し、電源を入れてください。
- ・HDMIケーブルが認識されていない場合があります。本体の電源が「切」の状態で、HDMIケーブルを抜き差ししたあと、もう一度本体の電源を入れてください。

アンテナレベルが改善して、テレビの映りが良くなっても、アンテナレベル不足の表示が消えない

- ・本体に接続したテレビでかんたん設置設定を行ってください。
→ [かんたん設置設定 \(P212\)](#)

テレビに映像が映らない

テレビに映った映像が乱れる

- ・接続やテレビ側の入力切り換えを確認してください。
- ・以下の場合、故障ではありません。
 - ・気象条件が悪いいためによる受信映像の乱れ
 - ・BS/CS放送の一時的な休止による受信障害
 - ・HDCP（不正コピー防止技術）非対応機器に接続した場合は映像が映りません。HDCP対応機器でも接続した機器（パソコンのディスプレーなど）によって正常な映像にならない、または映らない場合があります。（音声は出力されません）
- ・「Deep Color出力」(P231) もしくは「コンテンツタイプフラグ」(P231) を「切」にしてください。
- ・テレビによっては、再生中などの操作時の画面にノイズが出る場合があります。
接続するテレビのHDMI端子を他のHDMI端子に変更すると改善される場合があります。

表示していた画面が消える

- ・「テレビ画面の焼き付き低減機能」(P229) が「入」の場合、10分以上操作を行わないと、自動的に表示していた画面を切り替えます。

再生時の映像に残像が多い

- ・「ノイズ低減」(P182) の各項目を「0」にしてください。

故障かな！？ / 困ったとき

本体

本体が熱い

- ・ 本体使用中は温度が高くなりますが、性能・品質には問題ありません。本体の上下左右にスペースを空けてください。
本体を毛足の長いじゅうたんなどの上に設置すると、底面の吸気孔をふさぎ放熱が妨げられますので、設置しないでください。
温度が気になる場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

故障かな！？ / 困ったとき

画面表示

残量表示が使用した量と違う

- 記録の残量表示は実際より増減することがあります。

残量表示が画面によって異なる

- DR モード選択時の残量は、予約確認画面などでは、放送に合わせて 17 Mbps または 24 Mbps の転送レートで残量計算しますが、録画一覧画面などでは、24 Mbps の転送レートでのみ残量計算します。そのため、画面によっては、残量表示が異なる場合があります。

- 選択している録画モードによって、残量が異なります。

録画時にモニターで残量表示が確認できない

- 録画一覧の画面で確認してください。

故障かな！？ / 困ったとき

ネットワーク

接続機器との通信ができなくなった

- ・通信が混み合っている場合があるため、しばらく待って再度実行してください。
- ・ブロードバンドルーターのリセットを行ってみてください。

故障かな！？ / 困ったとき

テレビ番組の視聴

モニターでの視聴

映像が途切れる

- ・「無線電波状態」または「ネットワーク／無線状態」の「[原因と改善方法](#) (P100)」の画面で受信レベルが30以上が安定した受信状態の目安です。30未満の場合はモニターや本体の位置を調整すると改善される場合があります。また、受信レベルが30以上であっても映像伝送レベル*が30未満の場合は他の無線機器と干渉している可能性があります。無線設定を変更することで改善される場合があります。詳しくは「ネットワーク／無線状態」の「[原因と改善方法](#) (P100)」をご確認ください。

* 映像伝送レベルは視聴中のみ表示されます。(録画番組の再生中は表示されません) また、同じ環境でも地上デジタル放送とBS・110度CSデジタル放送では値に差があります。

デジタル放送

地上デジタル放送が受信できない

- 放送設定「放送受信設定」で「受信アンテナ設定」(P214) のアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。→ アンテナレベルを確認する (P217)

映像が不安定になったり、アンテナレベルが不足している場合、以下をお試しください。

- 「アッテネーター」の設定を切り換える
- ブースターをお使いの場合は、ブースターを外す
- 集合住宅の共聴システムやCATVの場合は、地上デジタル放送対応の有無を共聴システムの管理者やご契約のCATV会社にお問い合わせください。
- 受信環境に問題がある可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- チャンネル設定を行っていますか。以下を行ってください。
モニター → 放送受信設定 (P97) → マニュアルチャンネル設定 (P97)
本体 → かんたん設置設定 (P212) → チャンネル設定 (P213)

BS・110度CSデジタル放送が受信できない

映像や音声が出ない、または映りが悪くなった

- BS・110度CSデジタル放送に対応したアンテナやアンテナケーブル、分配器、分波器、ブースターなどを使用していますか。従来のBSアンテナでは受信できない場合があります。
- 放送設定「放送受信設定」で「受信アンテナ設定」(P214) のアンテナレベルが最大になるように、アンテナの向きを調整してください。→ アンテナレベルを確認する (P217)
- BS・110度CSデジタル放送は、雨や雷、雪などに弱く、一時的に映像や音声が止まり、画質、音質が少し悪くなる場合があります。天候が回復すれば、元の画質、音質に戻ります。
- 放送衛星のメンテナンスのため、一時的に放送が休止している場合があります。放送が開始されるまでお待ちください。
- アンテナへの電源供給が必要です。
 - 放送設定「放送受信設定」の「受信アンテナ設定」(P214) で「アンテナ電源」(P214) を「入」にしてください。
 - 分配器は全端子電流通過型をご使用ください。

故障かな！？ / 困ったとき

録画

放送中の番組録画 / 予約録画

録画できない

- 以下の場合、録画できません。本体前面の録画ランプが点滅します。
 - アンテナが抜けている、または電波が弱い
 - miniB-CAS カードが抜けている
 - HDD の残量がない

予約録画ができなかった

- HDD の残量が不足していたり、番組の予約が重なっていたりしませんか。予約内容を確認してください。

本体と接続したテレビで確認するとき

→ [予約内容の確認、取り消し、修正など \(P161\)](#)

モニターで確認するとき

→ [予約内容の確認・取り消し \(P72\)](#)

番組追従機能が働かない

- 時間指定予約では働きません。
- 放送開始時刻または終了時刻に 3 時間以上の変更があった番組には働きません。
- 毎週予約をした場合、番組表データの更新状態によっては、正しく働かない場合があります。

「契約期限が切っています。予約できません。(8902)」の表示が出て予約録画ができない

- 有料放送で契約が有効な miniB-CAS カードが挿入されているか確認してください。
- 契約にかかわらず期間限定でお試し視聴できる有料放送局があります。そういう放送局の場合、一度その放送局を視聴するとメッセージが消えて予約録画ができることがあります。

故障かな！？ / 困ったとき

再生

記録した番組の再生

録画した番組が見つからない

本体と接続したテレビで再生するとき

- 毎日・毎週予約や「カテゴリーまとめて予約」で録画した番組は、録画一覧（まとめ表示）では、 表示されます。まとめ番組を選び、 をタッチすると、録画した番組がすべて表示されます。
- 録画一覧で  をタッチし「全番組表示へ」を選択すると、まとめ表示が解除されます。
- 「最新録画番組」ラベルを選択すると、最新の録画番組から順に 18 番組までを全番組表示します。

モニターで再生するとき

- 再生画面で、「まとめ」ラベルをタッチすると、毎日・毎週予約で録画した番組が表示されます。（まとめられた番組には、ジャンルアイコンの横にまとめられた番組数が表示されます）「全番組」ラベルをタッチすると、まとめ表示が解除されて、全番組が表示されます。

映像が乱れたり、正しく再生されない

- 天候などにより電波の悪い状態で録画した番組を再生していませんか。
- 録画モードや、映像の横縦比などの異なるつなぎ目では、一瞬映像が乱れたり、黒い画面になる場合があります。

故障かな！？ / 困ったとき

お部屋ジャンプリンク

別室のテレビなどで見る（本体をサーバーとして使用する）

再生できない

- 接続や設定を確認してください。
- 初期設定「お部屋ジャンプリンク設定」の「機器一覧」(P232)で、再生する機器が「許可」になっていますか。
- 再生する機器によっては、録画中の番組や1.5～15倍録モードの番組は再生できません。
- 他社製の機器では使用できない場合があります。

再生できない、映像が途切れる（ルーター経由で無線接続時）

- 802.11acまたは802.11n(2.4GHz/5GHz同時使用可)の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5GHzでのご使用をお勧めします。2.4GHzで電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- 初期設定「無線／無線親機設定」(P233)の画面で「電波状態」のインジケーターが4つ以上（受信レベル30以上）点灯していることが、安定した受信状態の目安です。3つ以下、または通信の途切れなどが発生する場合は、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。それでも改善できない場合は有線で接続し、ネットワーク設定を再度行ってください。

別室の機器の映像を見る（モニターをクライアントとして使用する）

再生できない、音声が途切れる

- 接続した機器側でモニターや本体が登録されていますか。
- 結合などの編集をした番組を再生した場合、音声が出力されないことがあります。
- すべての映像を再生できるわけではありません。詳しくは接続した機器の説明書をご覧ください。

映像が途切れる

- 802.11ac または 802.11n (2.4 GHz/5 GHz 同時使用可) の無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）をお選びください。5 GHz でのご使用をお勧めします。2.4 GHz で電子レンジやコードレス電話機などを同時にご使用の場合、通信が途切れたりします。また、暗号化方式は「AES」にしてください。
- モニターの「ネットワーク／無線設定」の「ネットワーク／無線状態」(P100) で「受信レベル」が 30 以上であることが、安定した受信状態の目安です。通信の途切れなどが発生する場合は、本体や無線ブロードバンドルーター（アクセスポイント）の位置や角度を調節して通信状態が良くなるかお確かめください。➔ 「取扱説明書 基本操作編」

故障かな！？ / 困ったとき

音声

音声が切り換えられない

- ・接続機器の設定を確認してください。
- ・マルチ音声は、テレビやアンプ側で切り換えることができません。本体で切り換えてください。

用語解説

用語解説

ア～ワ行

エネファーム

- 家庭用燃料電池コーチェネレーションシステムの通称のこと。都市ガスなどから水素を取り出し、空気中の酸素と化学反応させて発電します。エネルギー効率がよく、環境性に優れた燃料電池です。

エネルギー計測ユニット（分電盤）

- 過電流や漏電時に自動的に電気を止めるブレーカーや計測器（発電量や分岐回路ごとの使用電力を計測）などから構成されています。計測データは宅内ネットワークを通じて本機に送られ、グラフなどで管理することができます。

オール電化

- 電力会社から電気を購入する際に、昼間は最も高く、深夜は最も低い電気料金に設定している契約プランを本機では「オール電化」としています（元々は宅内の家電製品をすべて電力で稼働させるようにするという意味です）。深夜の時間帯に蓄電池などに充電し、昼間は蓄電池の放電や太陽光発電で生じた電気を使用するなど、運用によって低料金で電気を使うことができます（プラン名称は電力会社により異なります）。

オンエアーダウンロード

- 本機の制御プログラムを最新のものに更新するための放送です。デジタル放送から送られてくる情報を取り込むことにより、自動的に制御プログラムを書き換えます。
- オンエアーダウンロードには、地上デジタル放送またはBSデジタル放送の受信環境が必要です。

従量制

- 電力会社から電気を購入する際に、時間帯にかかわらず、使った分だけ同じ単価で課金される通常の料金プランです。

深夜電力

- 電力会社から電気を購入する際に、電力需要の少ない深夜から朝にかけて、通常よりも低料金で電気を使うことができる契約プランを本機では「深夜電力」としています（プラン名称は電力会社により異なります）。

ダウンミックス

- サラウンドの音声を2チャンネルなどに混合することです。

蓄電池

- 充電を行うことにより電気を蓄え、放電することで繰り返し使用できる電池のことです。太陽光発電システムで生み出された電気や電力料金が安い時間帯に電力会社から購入した電気を蓄電しておき、電力需要の高い時間帯や停電時などに使うことができます。

地上デジタル放送

- UHF帯の電波を使って行う放送で、高品質の映像と音声が特長です。

防災アシスト

- ・気象情報や災害情報、避難情報などの個々の情報に対して災害に対応するためのアドバイスです。
「安心アラート」から確認してください。

マルチ音声

- ・1つの放送チャンネルに複数の音声が含まれています。
- ・マルチ音声の番組では、複数の音声（日本語や英語など）を切り換えて楽しむことができます。

英数字

AAC (Advanced Audio Coding) 【エーエーシー】

- ・デジタル放送で標準に定められたデジタル音声方式で、CD並みの音質データを約1/12まで圧縮できます。また、5.1チャンネルのサラウンド音声や多言語放送を行うこともできます。

B-CAS カード 【ビーキャスカード】

- ・デジタル放送を受信するために必要なカードです。
デジタル放送は、放送番組の著作権保護のため、原則としてコピー制御信号を加えて放送されています。その信号を有効に機能させるためにB-CASカードが必要です。
- ・本機でデジタル放送を受信するには、本体にminiB-CASカードを挿入してください。

BS デジタル放送 【ビーエステジタルホウソウ】

- ・放送衛星（Broadcasting Satellite）を使って行う放送で、ハイビジョン放送などが特長です。WOWOWなどの有料放送をご覧になるには、加入申し込みと契約が必要です。

CS デジタル放送 【シーエステジタルホウソウ】

- ・東経110度、124度、128度に位置する通信衛星（Communications Satellite）を用いた衛星放送サービスのことです。ニュース、映画、スポーツ、音楽などの専門チャンネルがあります。
- ・本機では東経110度に位置する通信衛星を使った110度CSデジタル放送を受信することができますが、放送事業者「スカパー！」への加入申し込みと契約が必要です。

Cookie 【クッキー】

- ・最初にウェブサイトにアクセスしたときに本機（ブラウザ）に送られるファイルのこと
で、ここに情報が書き込まれます。次にこのウェブサイトにアクセスすると、ユーザーに
合わせた画面が表示されるなど、ウェブサイト側がこの情報を利用してウェブサイトを運
営します。

DR モード 【ディーアールモード】

- ・デジタル放送をデジタル信号のまま記録する録画モードです。
- ・ハイビジョン画質やサラウンド音声をそのままの状態で、またマルチビュー放送、マルチ音声、字幕情報などを記録できます。

ECHONET Lite 【エコーネットライト】

- ・住宅に設置された家電機器やスマートメーター、太陽光発電システムなどを制御するための通信プロトコルのことです。

HDD（ハードディスクドライブ）【エイチディィーディー】

- ・パソコンなどで使われている大容量データ記憶装置の1つです。
表面に磁性体を塗った円盤（ディスク）を回転させ、磁気ヘッドを近づけて大量のデータの読み書きを高速で行います。

MAC アドレス【マックアドレス】

- ・家庭内ネットワークで接続されている機器を特定するための番号です。

MPEG-2【エムペグツー】

- ・カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG-2はデジタル放送やDVDなどに使われる圧縮方式です。

MPEG-4 AVC/H.264【エムペグフォー エーブイシー / エイチ .264】

- ・カラー動画を効率良く圧縮、展開する規格の1つです。
MPEG-4 AVC/H.264はハイビジョン映像の録画などに使われる圧縮方式です。

SSID（Service Set Identifier）【エスエスアイディー】

- ・無線LANで特定のネットワークを識別するための名前のことです。
このSSIDが双方の機器で一致した場合、通信可能になります。

5倍録モード・10倍録モード・15倍録モード

- ・デジタル放送の番組をハイビジョン画質で長時間記録できる録画モードです。
HDDの使用容量をDRモード時よりも減らすことができます。
- ・マルチ音声や字幕情報を記録できます。マルチビュー放送は1つだけ記録できます。

TQBS0358-5
230314_01

**パナソニック株式会社
パナソニック エンターテインメント & コミュニケーション株式会社**

〒570-0021 大阪府守口市八雲東町1丁目10番12号

© Panasonic Entertainment & Communication Co., Ltd. 2019

TQBS0358-5